

# 令和3年度市民アンケート調査 結果報告書

令和4年2月

盛岡市

# 目 次

I	事業の概要	1
II	調査結果と考察	
テーマ1	健康づくりについて	
問1	健康づくりや食事に関して心がけていること	3
問2	健康づくりや食事に関して心がけていることがない理由	6
問3	市主催の健康づくりや食育のイベント・教室への参加経験	7
問4	市主催のスポーツ教室や、地域のスポーツイベントへの参加経験	9
問5	食育について、市に期待すること	10
問6	スポーツを通じた健康づくりを進めるために期待する団体	13
問7	健康づくりに対して市から付与されるインセンティブ	16
テーマ2	芸術文化活動について	
問8	過去2年間で芸術文化活動に参加した経験	18
問9	芸術文化活動に気軽に参加するために必要な取組	21
問10	芸術文化活動に参加しなかった理由	23
問11	過去2年間で芸術文化活動を直接鑑賞した経験	26
問12	芸術文化活動をより鑑賞しやすくするために必要な取組	29
問13	過去2年間で芸術文化活動を直接鑑賞しなかった理由	32
問14	子どもが芸術文化に親しむため、市が注力すべき取組	35
テーマ3	交通手段について	
問15	民間路線バスの利用頻度	38
問16	民間路線バスを日頃利用する理由	40
問17	民間路線バスを日頃利用しない理由	43
問18	通勤・通学に利用する交通手段	46
問19	日頃の買い物に利用する交通手段	49
問20	定期的な通院に利用する交通手段	53
テーマ4	教育について	
問21	児童教育において重視すべきこと	57
問22	盛岡の子どもたちのよいと思われる点	61
問23	盛岡の子どもたちに身に付けさせたい点	66
問24	子どもに伝えたい盛岡のよさや誇り	71
問25	地域の教育力を高めるために必要な取組	75
テーマ5	盛岡市役所のデジタル化について	
問26	日常生活でインターネットを利用する時に使う端末	79
問27	デジタル化の進展を望む行政分野	82
問28	行政のデジタル化により期待すること	85
問29	マイナンバーカードに望む機能	89
問30	デジタル化の進展により生じる影響	93

# I 事業の概要

## 1 事業の目的

市民アンケート調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市民参画や協働によるまちづくり」を図るため毎年実施しています。

## 2 事業テーマ

- |                     |                             |    |
|---------------------|-----------------------------|----|
| (1) 健康づくりについて       | (担当：交流推進部スポーツ推進課, 保健所健康増進課) | 7問 |
| (2) 芸術文化活動について      | (担当：交流推進部文化国際課)             | 7問 |
| (3) 交通手段について        | (担当：建設部交通政策課)               | 6問 |
| (4) 教育について          | (担当：教育委員会事務局総務課)            | 5問 |
| (5) 盛岡市役所のデジタル化について | (担当：総務部情報企画課)               | 5問 |

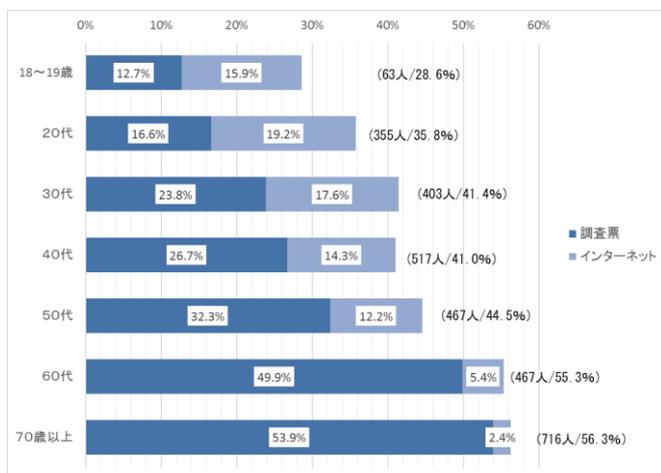
## 3 事業の設計

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| (1) 実施方法  | アンケート方式による調査              |
| (2) 調査地域  | 盛岡市全域                     |
| (3) 調査対象者 | 満18歳以上の市民                 |
| (4) 標本数   | 3,000人                    |
| (5) 抽出方法  | 住民票ファイル(令和3年6月30日)から無作為抽出 |
| (6) 調査方法  | 郵送による配布・回収(インターネット回答を併用)  |
| (7) 調査期間  | 令和3年8月16日～8月31日           |

## 4 調査の回収結果

- |           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| (1) 対象者数  | 3,000人                              |
| (2) 有効回収数 | 1,400人(内訳…調査票：1,077人, インターネット：323人) |
| (3) 有効回収率 | 46.7%                               |

### 【年代別回収率と回答媒体の内訳】



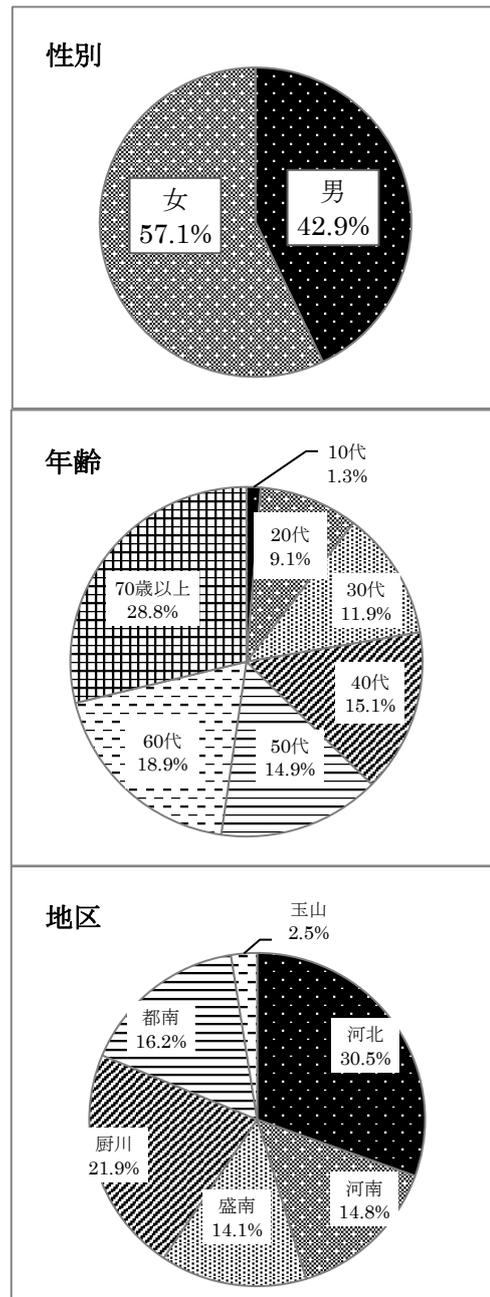
全体の有効回収率は令和2年度実施の同調査の43.1%より3.6ポイント高くなった。回答のうち、インターネットでの回答率は23.1%で、同調査の19.7%より3.4ポイント高くなった。

回収数が昨年度比108%となり、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により自粛傾向があり、お盆時期の外出機会が減少し在宅時間が増えたことにより、アンケートの回答が増加したものと思慮される。

( ) 内の数は、その年代の対象者の人数及び回答率

## 5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	1,400
<b>【性別】</b>	
男 性	601
女 性	799
<b>【年代別】</b>	
18 歳 ~ 19 歳	18
20 歳 ~ 29 歳	127
30 歳 ~ 39 歳	167
40 歳 ~ 49 歳	212
50 歳 ~ 59 歳	208
60 歳 ~ 69 歳	265
70 歳 以 上	403
<b>【地区別】</b>	
河 北	427
河 南	207
盛 南	198
厨 川	306
都 南	227
玉 山	35



### 【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城, 仁王, 上田, 緑が丘, 松園, 山岸, 上米内
2	河南	城南, 加賀野, 中野, 杜陵, 大慈寺, 築川
3	盛南	仙北, 本宮, 太田, 繫
4	厨川	西厨川, 土淵, 東厨川, 青山, みたけ, 北厨川
5	都南	見前, 飯岡, 乙部
6	玉山	好摩, 巻堀姫神, 洪民, 玉山藪川

## 6 留意事項について

- (1) 比率はすべて百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は延べ回答数に対する百分率ではなく回答者数を100とした場合の百分率です。したがって、合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、その設問の回答者の実数で、比率算出の基礎になります。
- (4) 「重複回答」は、複数回答の設問内で矛盾する選択肢を選んだものを示します。

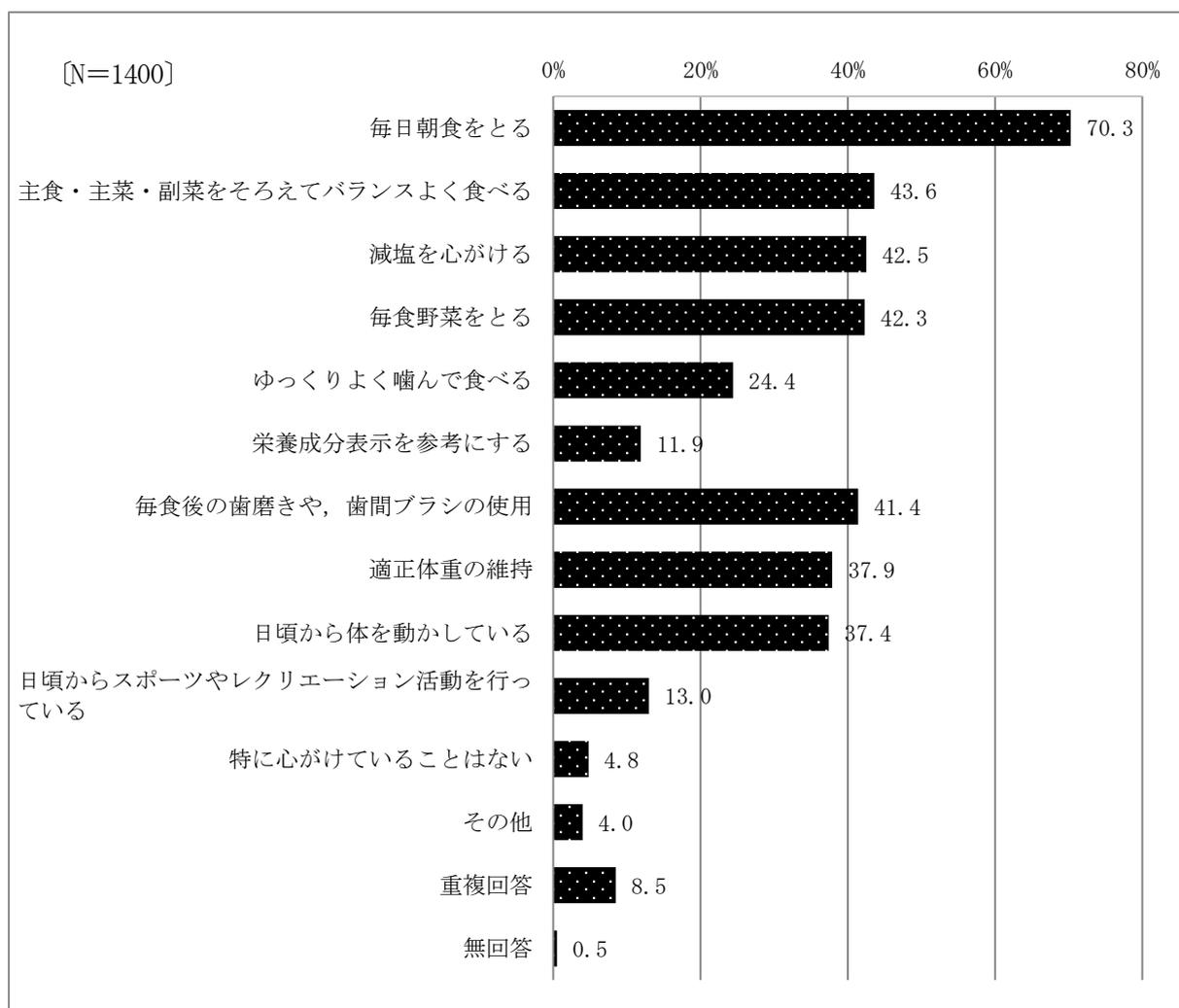
## Ⅱ 調査結果と考察

《テーマ1 健康づくりについて》

**問1** あなたは自身の健康づくりや食事に関して心がけていることはありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 毎日朝食をとる
- 2 主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べる
- 3 減塩を心がける
- 4 毎食野菜をとる
- 5 ゆっくりよく噛んで食べる
- 6 栄養成分表示を参考にする
- 7 毎食後の歯磨きや、歯間ブラシの使用
- 8 適正体重の維持
- 9 日頃から体を動かしている（散歩などの軽運動やエレベータを使わないなど）
- 10 日頃からスポーツやレクリエーション活動を行っている
- 11 特に心がけていることはない
- 12 その他

【全体】

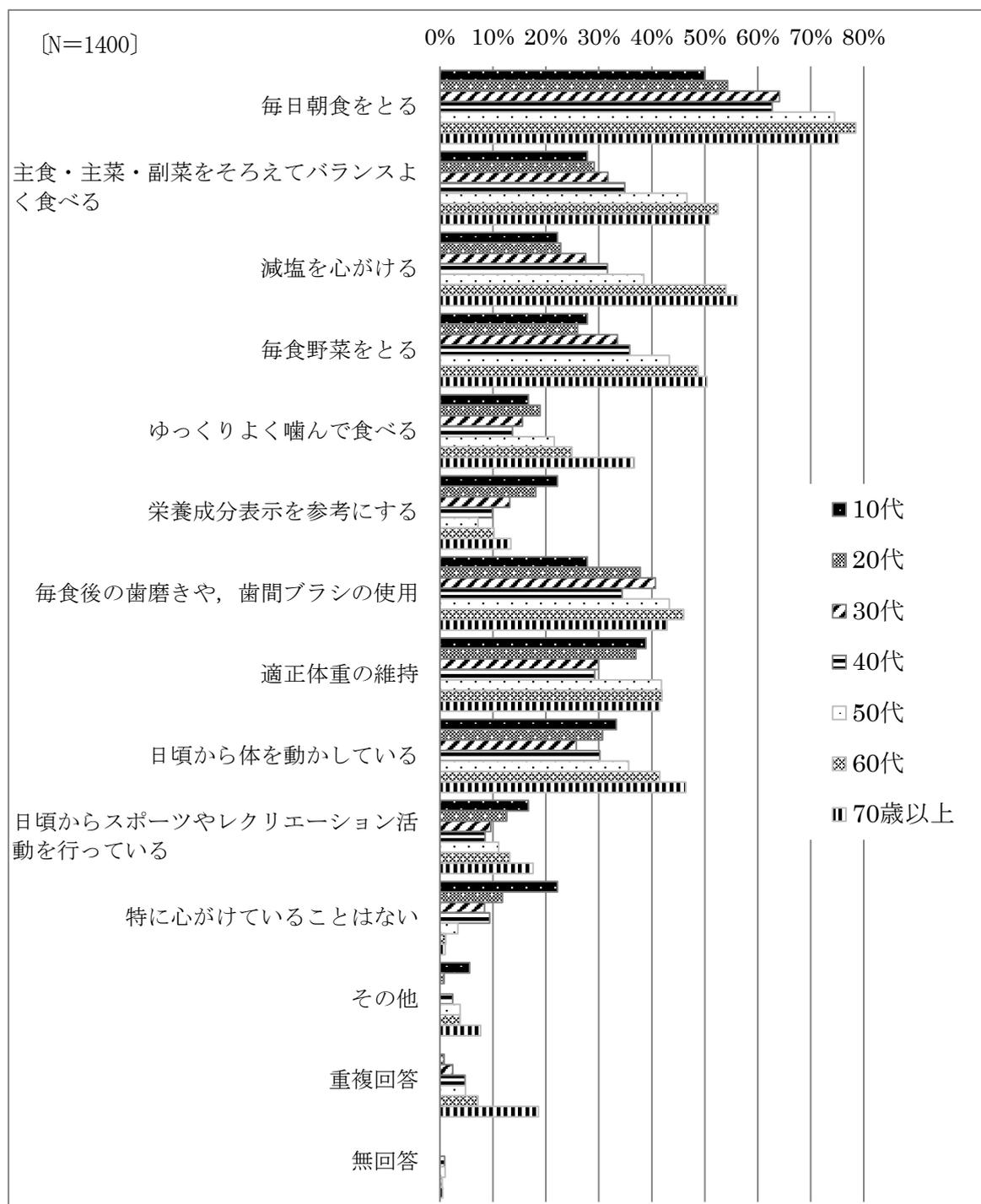


毎日朝食をとる人の割合は7割を超えたが、栄養バランスや減塩を心がけている人の割合は半数以下に留まった。健康教育の場で、食事リズムの大切さや取り入れやすいバランス食の提案を更に推進する。

スポーツに関する選択肢については、日頃から体を動かしている、スポーツやレクリエーション活動を

行っていると回答した人の合計は50.4%となった。スポーツ推進計画では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65.0%以上とすることを目標に掲げていることから、スポーツが市民の日常生活の中に自然に取り込まれていくような仕組みづくりに取り組む。

### 【年代別】



「日頃から体を動かしている」及び「日頃からスポーツやレクリエーション活動を行っている」と回答した割合が、20代から30代にかけて低い傾向となっている。

働く世代における運動の実施率が低いという課題を示す結果であり、忙しい中においても、市民の日常生活の中に自然に取り込まれていくような仕組みづくりが必要な状況にある。

食事に関する選択肢を選ぶ割合については、10～20代が他の年代と比較して低く、年代が上がるにつれて高くなる傾向があった。このことから、若いうちからの食育への取組と、健康づくりに取り組めるような環境や仕組みづくりが必要と考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

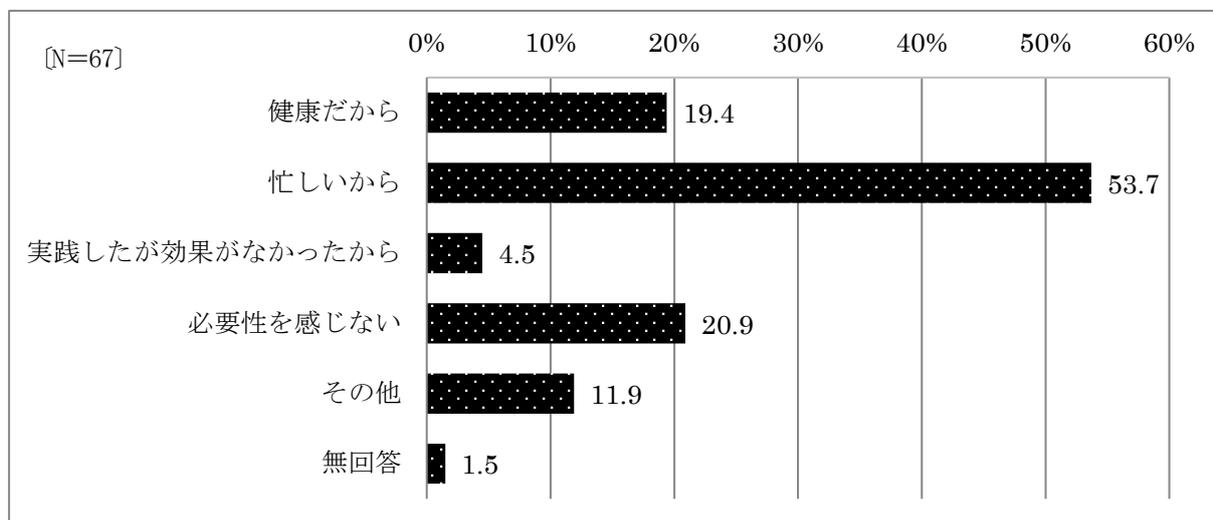
			毎日朝食をとる	主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べる	減塩を心がける	毎食野菜をとる	ゆつくりよく噛んで食べる	栄養成分表示を参考にする	毎食後の歯磨きや、歯間ブラシの使用	適正体重の維持	日頃から体を動かしている	日頃からスポーツやクリエーション活動を行っている	特に心がけていることはない	その他	重複回答	無回答
	全体	1400	984	610	595	592	341	166	579	531	523	182	67	56	119	7
地区	河北	427	303	195	196	185	107	62	172	167	169	53	26	21	37	3
	河南	207	146	95	81	96	47	24	88	72	82	26	10	8	18	1
	盛南	198	140	83	73	78	42	15	85	76	68	26	6	4	18	1
	厨川	306	209	131	129	125	74	38	126	123	120	41	14	12	25	1
	都南	227	157	91	10	92	64	26	96	81	75	31	11	11	17	1
	玉山	35	29	15	16	16	7	1	12	12	9	5	0	0	4	0
性別	男	601	415	235	232	213	130	59	206	225	232	91	36	20	50	3
	女	799	569	375	363	379	211	107	373	306	291	91	31	36	69	4
年齢	18～19歳	18	9	5	4	5	3	4	5	7	6	3	4	1	0	0
	20～29歳	127	69	37	29	33	24	23	48	47	39	16	15	1	1	0
	30～39歳	167	107	53	46	56	26	22	68	50	43	16	14	0	4	0
	40～49歳	212	133	74	67	76	29	21	73	62	64	18	20	5	10	2
	50～59歳	208	155	97	80	90	45	15	90	87	74	23	7	8	10	2
	60～69歳	265	208	139	143	129	66	27	122	111	110	35	3	10	19	1
	70歳以上	403	303	205	226	203	148	54	173	167	187	71	4	31	75	2

**問2** 【問1で 11 特に関心を持っていることはない を回答した方にお聞きします。】

その理由について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1 健康だから          | 4 必要性を感じない |
| 2 忙しいから          | 5 その他      |
| 3 実践したが効果がなかったから |            |

**【全体】**



「忙しいから」が53.7%と最も高い結果となった。スポーツ推進計画では、「成人の週1回以上のスポーツ実施率を65.0%以上」とすることを目指しており、忙しい中においても、市民の日常生活の中に自然に取り込まれていくような仕組みづくりを進めるとともに、現在健康な人や、必要性を感じない人に対しても、スポーツや運動の効果について情報提供する。

**【「その他」に記載された内容について】**

面倒、疲れるなど、生活習慣の改善に対してハードルの高さを感じられる回答が多く見受けられた。このことから、まずは手軽に取り組める健康情報の普及啓発と、外食産業などと連携した栄養成分表示の推奨などの仕組みづくりが必要と考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

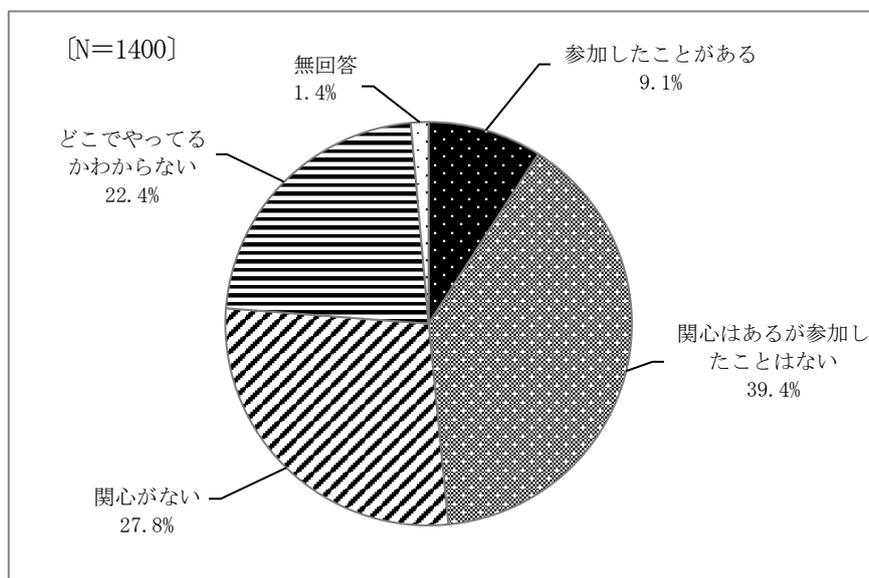
			健康だから	忙しいから	実践したが効果がなかったから	必要性を感じない	その他	無回答
	全体	67	13	36	3	14	8	10
地区	河北	26	4	15	2	5	3	35
	河南	10	3	4	1	2	1	16
	盛南	6	0	5	0	1	0	14
	厨川	14	3	6	0	3	3	23
	都南	11	3	6	0	3	1	16
	玉山	0	0	0	0	0	0	4
性別	男	36	9	19	1	8	3	47
	女	31	4	17	2	6	5	61
年齢	18～19歳	4	2	1	0	0	0	0
	20～29歳	15	5	7	0	4	0	1
	30～39歳	14	2	5	1	6	3	4
	40～49歳	20	2	15	1	1	3	10
	50～59歳	7	2	5	1	0	0	9
	60～69歳	3	0	2	0	2	0	18
	70歳以上	4	0	1	0	1	2	66

**問3** 市が主催する健康づくりや食育（※）に関する教室やイベントに参加したことがありますか。  
 当てはまるもの1つに○を付けてください。

※ 「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。

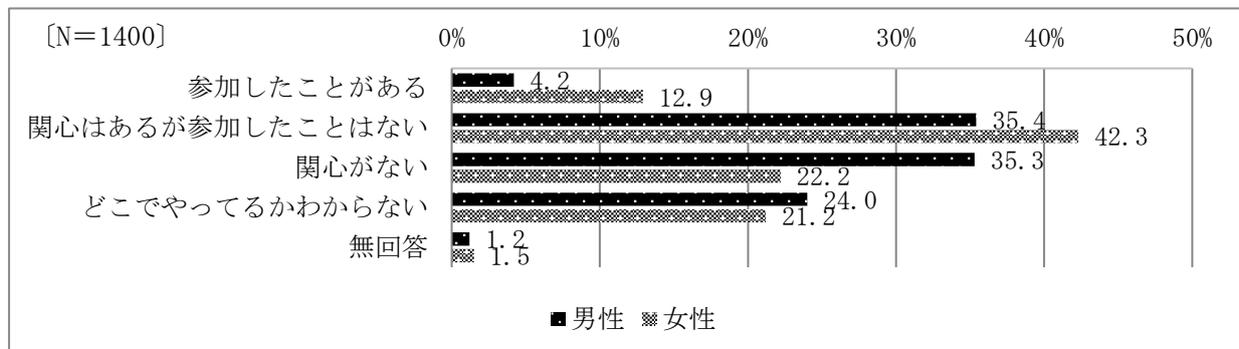
- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 参加したことがある       | 3 関心がない          |
| 2 関心はあるが参加したことはない | 4 どこでやっているかわからない |

【全体】



「関心はあるが参加したことがない」が最も高く、「参加したことがある」が最も低かった。関心はあるが参加しない人が多いことから、魅力ある内容を検討するとともに、SNS を更に活用し、教室やイベントのPRに力を入れていく。

**【性別】**



女性の参加率が高い反面、男性は関心のない割合が高かった。今後は男性にも関心を持ってもらえるような、教室のイベント等を検討する。

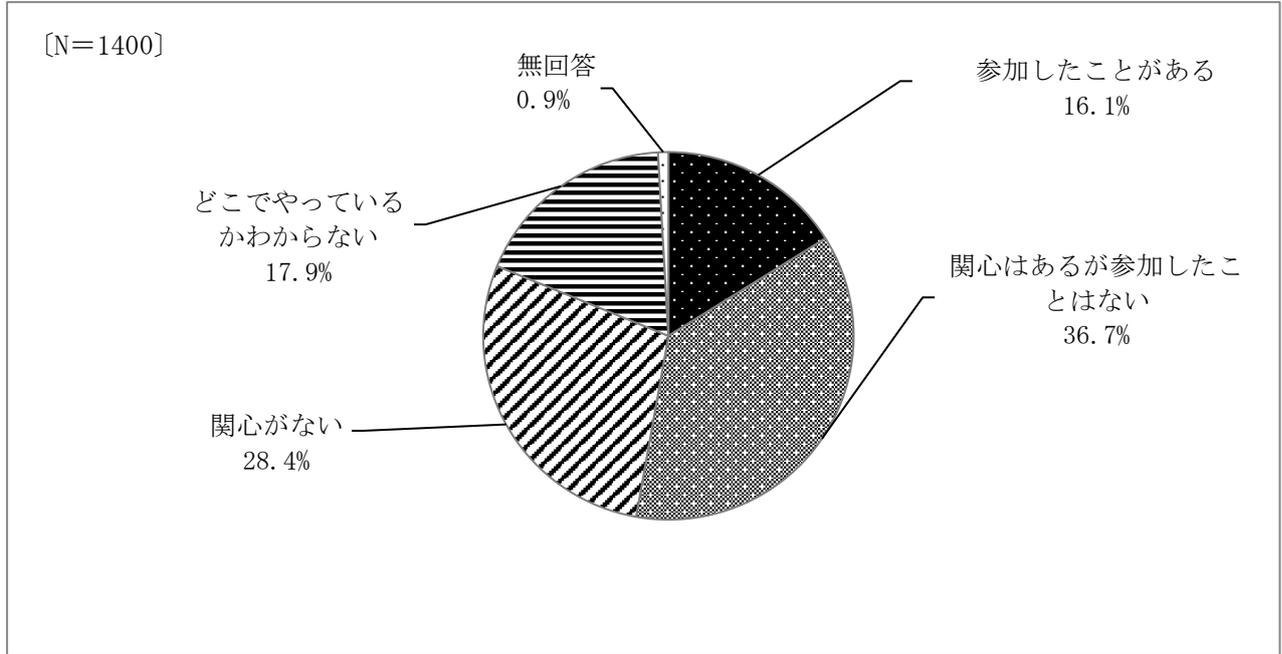
**【性別、年代別、地区別の回答数】**

		参加したことがある	関心はあるが参加したことはない	関心がない	どこでやってるかわからない	無回答	
	全体	1400	128	551	389	313	19
地区	河北	427	41	157	122	102	5
	河南	207	17	89	55	40	6
	盛南	198	19	75	55	46	3
	厨川	306	24	127	78	75	2
	都南	227	21	87	70	46	3
	玉山	35	6	16	9	4	0
性別	男	601	25	213	212	144	7
	女	799	103	338	177	169	12
年齢	18～19歳	18	1	4	6	7	0
	20～29歳	127	4	19	59	45	0
	30～39歳	167	4	47	66	50	0
	40～49歳	212	5	78	72	56	1
	50～59歳	208	11	75	59	60	3
	60～69歳	265	26	129	57	48	5
	70歳以上	403	77	199	70	47	10

**問4** 市が主催するスポーツ教室や地域のスポーツ・レクリエーション交流イベントなどへ参加したことがありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

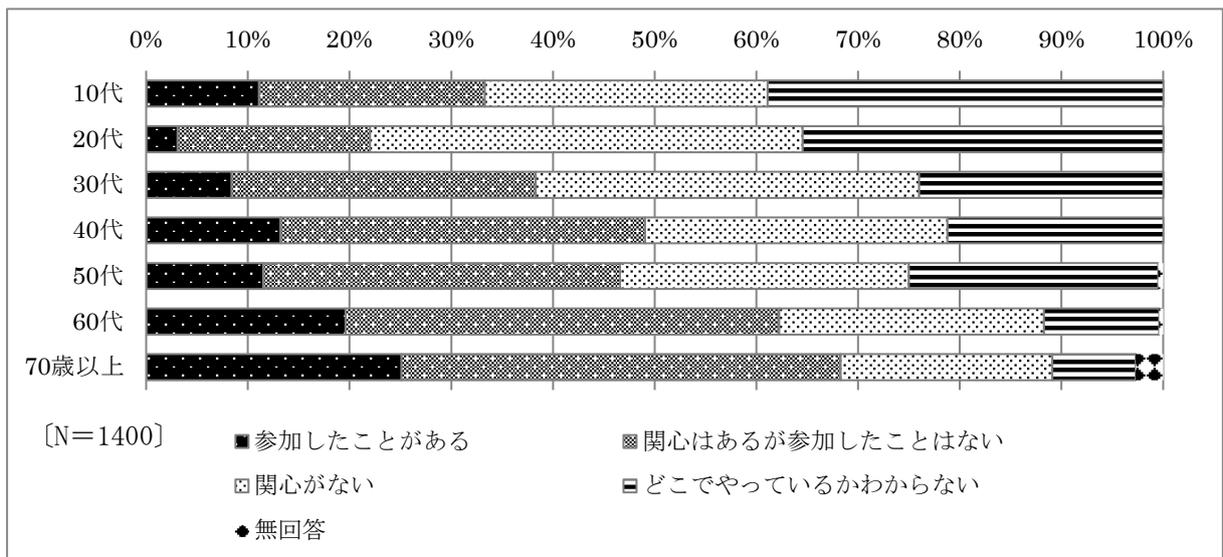
- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 参加したことがある       | 3 関心がない          |
| 2 関心はあるが参加したことはない | 4 どこでやっているかわからない |

**【全体】**



「関心があるが参加したことはない」が36.7%で一番高かったが、「関心がない」が28.4%と続いた。関心があるが参加したことはない人や、どこでやっているかわからない人に対して、効果的な運動機会の提供と情報発信に努めるとともに、関心がない人に対しては、運動の実施意欲を高めるような施策を検討する。

**【年代別】**



各年代における主な回答傾向を見てみると、10代から20代は、「どこでやっているかわからない」、20代から30代までは「関心がない」、40代から70代までは「関心はあるが参加したことはない」の回答が多くなる傾向が見られた。また、「参加したことがある」は60代以上が44.7%を占めた。

各世代の傾向に合わせ、効果的な運動機会の提供と情報発信が必要な状況である。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			参加したことがある	関心はあるが参加したことはない	関心がない	どこでやっているかわからない	無回答
	全体	1400	225	514	397	251	13
地区	河北	427	66	157	126	76	2
	河南	207	24	97	51	31	4
	盛南	198	33	67	55	42	1
	厨川	306	49	110	86	59	2
	都南	227	43	71	69	40	4
	玉山	35	10	12	10	3	0
性別	男	601	73	220	189	117	2
	女	799	152	294	208	134	11
年齢	18～19歳	18	2	4	5	7	0
	20～29歳	127	4	24	54	45	0
	30～39歳	167	14	50	63	40	0
	40～49歳	212	28	76	63	45	0
	50～59歳	208	24	73	59	51	1
	60～69歳	265	52	113	69	30	1
	70歳以上	403	101	174	84	33	11

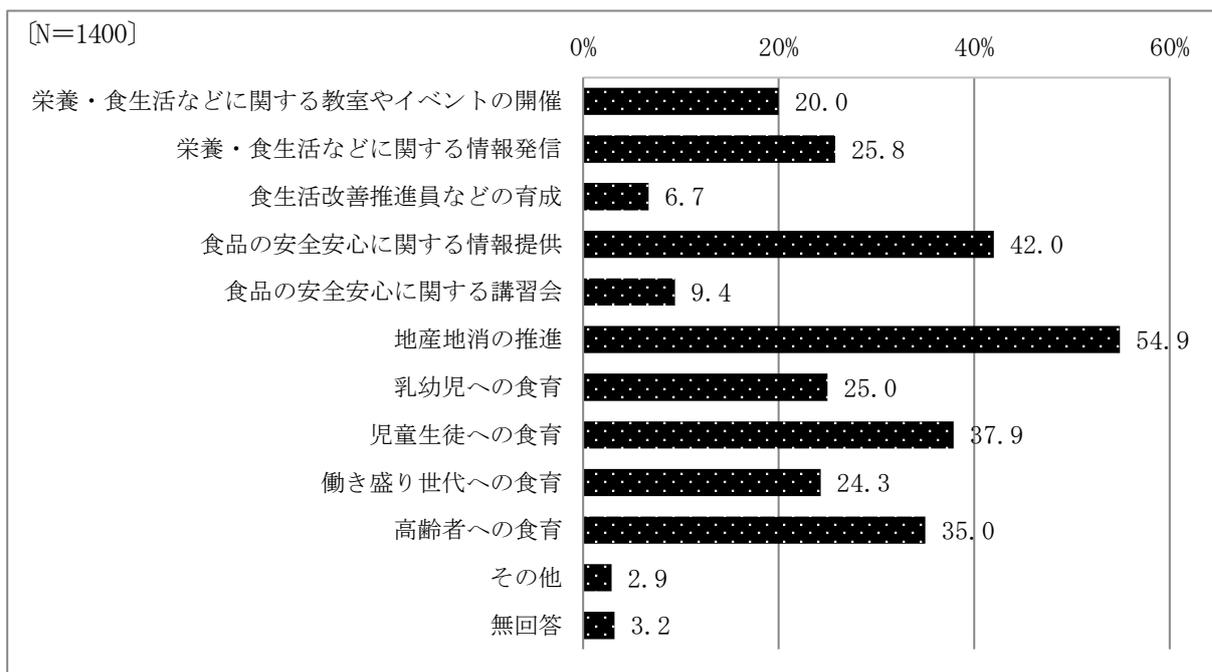
問5 食育について、市の取組に期待することは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| 1 栄養・食生活などに関する教室やイベントの開催       | 6 地産地消の推進        |
| 2 栄養・食生活などに関する情報発信（ホームページやSNS） | 7 乳幼児への食育        |
| 3 食生活改善推進員（※1）などの育成            | 8 児童生徒への食育       |
| 4 食品の安全安心に関する情報提供              | 9 働き盛り世代（※2）への食育 |
| 5 食品の安全安心に関する講習会               | 10 高齢者への食育       |
|                                | 11 その他           |

※1 食を通じて地域の健康づくりに貢献する、食生活改善推進員団体連絡協議会（ボランティア団体）の会員のこと。

※2 青年期（19～39歳）と壮年期（40～64歳）の世代を指す。

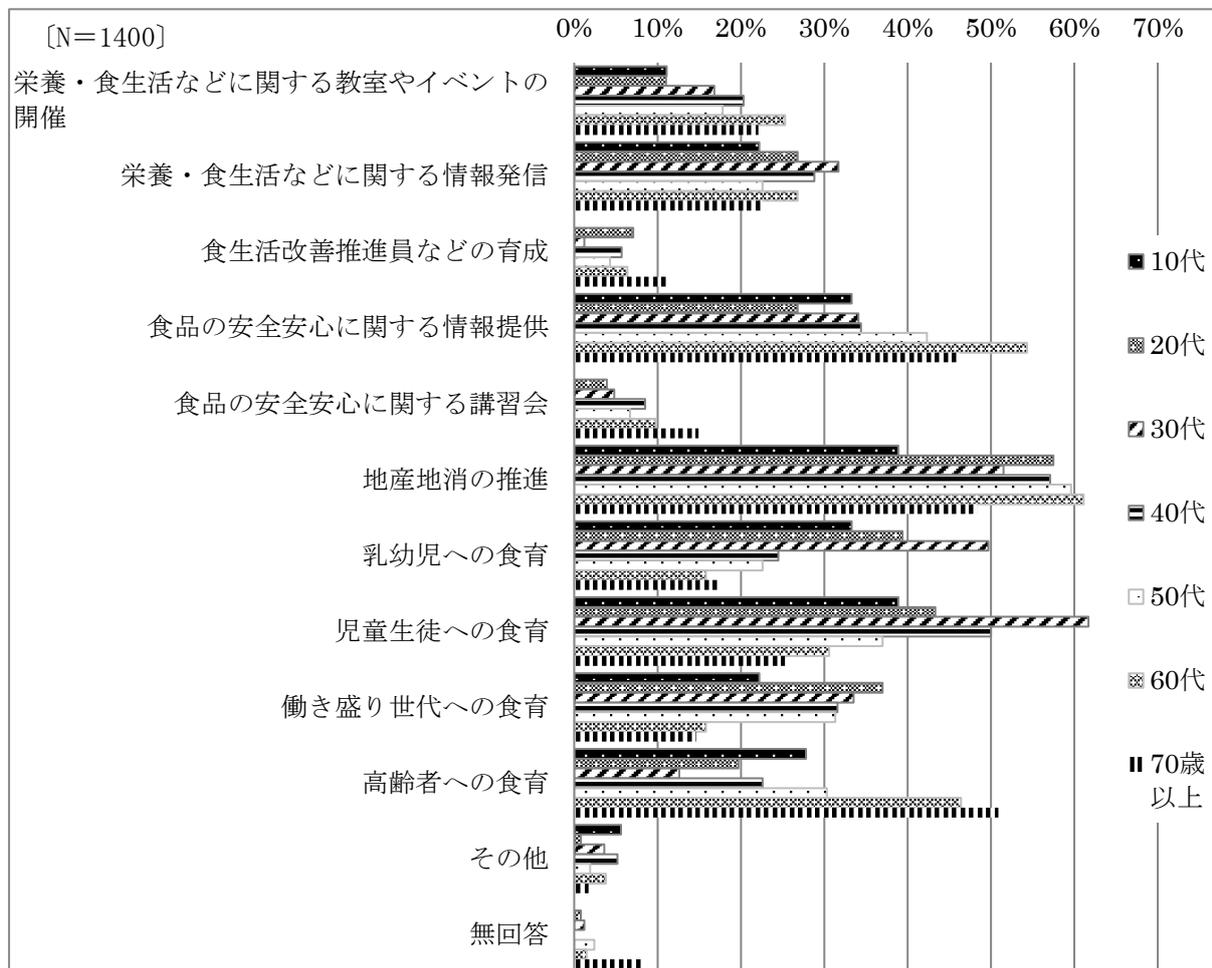
【全体】



「地産地消の推進」が54.9%と最も高く、次いで「食品の安全安心に関する情報提供」が42.0%であった。また、食育に関しては、「児童生徒への食育」が37.9%、次いで「高齢者への食育」が35.0%という結果だった。

このことから、地域の安全安心な食材についての情報発信と、世代に合わせた食育事業を展開する。

【年代別】



若い世代は乳幼児や児童など、子どもの食育への期待が高く、高齢者は自身に関する食育への期待が高かった。一方で働き盛り世代への食育の項目については、その世代が占める割合が低く、今後は働き盛り世代自身が食育へ関心を持てるような内容の検討が必要と考えられる。

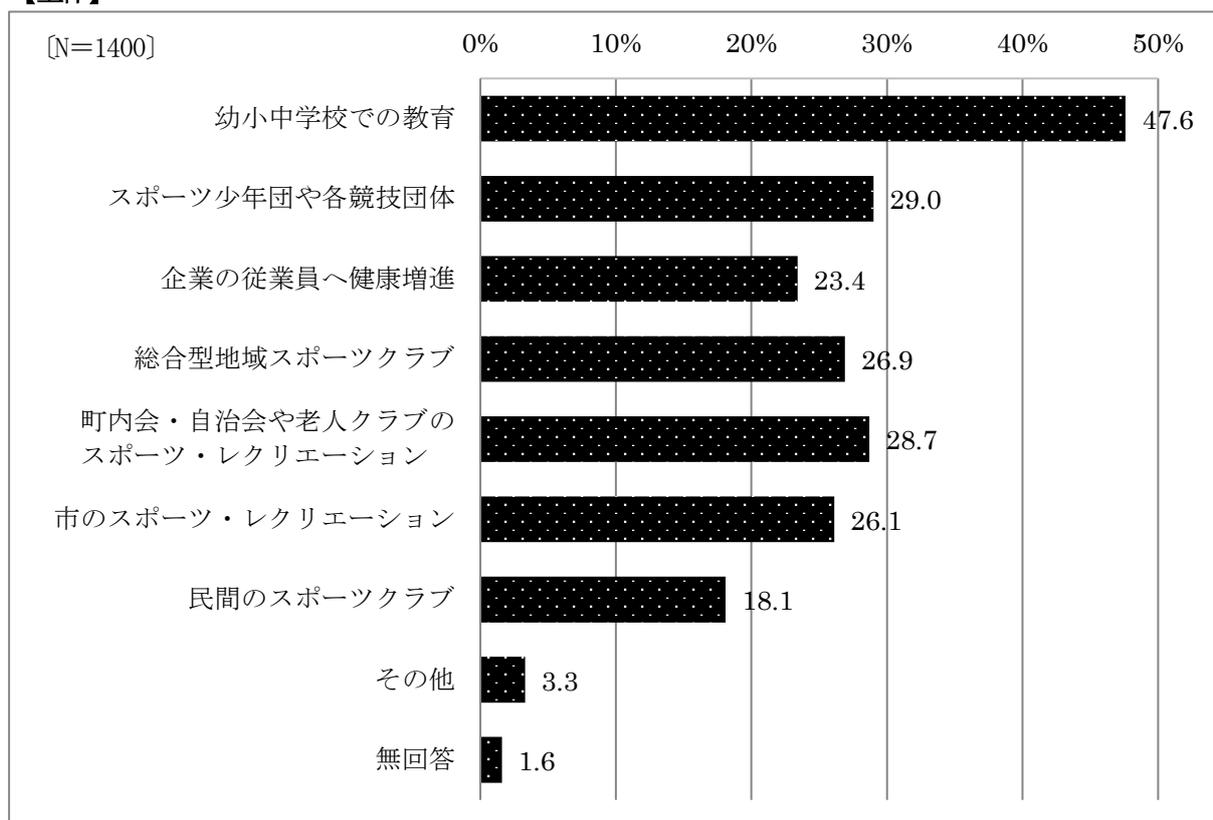
【性別、年代別、地区別の回答数】

			栄養・食生活などに関する教室やイベントの開催	栄養・食生活などに関する情報発信	食生活改善推進員などの育成	食品の安全安心に関する情報提供	食品の安全安心に関する講習会	地産地消の推進	乳幼児への食育	児童生徒への食育	働き盛り世代への食育	高齢者への食育	その他	無回答
	全体	1400	280	361	94	58	131	768	350	531	340	490	40	45
地区	河北	427	81	114	29	18	37	246	119	169	114	155	9	17
	河南	207	42	54	14	83	21	117	52	85	52	71	10	7
	盛南	198	43	36	10	76	16	105	47	83	43	66	4	8
	厨川	306	54	86	21	14	34	161	74	104	75	120	13	8
	都南	227	53	60	19	92	21	118	52	80	47	66	3	5
	玉山	35	7	11	1	11	2	21	6	10	9	12	1	0
性別	男	601	86	138	32	25	47	323	126	216	128	182	15	21
	女	799	194	223	62	33	84	445	224	315	212	308	25	24
年齢	18～19歳	18	2	4	0	6	0	7	6	7	4	5	1	0
	20～29歳	127	14	34	9	34	5	73	50	55	47	25	1	1
	30～39歳	167	28	53	2	57	8	86	83	103	56	21	6	2
	40～49歳	212	43	61	12	73	18	121	52	106	67	48	11	0
	50～59歳	208	37	47	9	88	14	124	47	77	65	63	4	5
	60～69歳	265	67	71	17	144	26	162	42	81	42	123	10	4
	70歳以上	403	89	91	45	186	60	195	70	102	59	205	7	33

**問6** スポーツを通じた健康づくりを進めるために、どんな団体の活動に期待しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

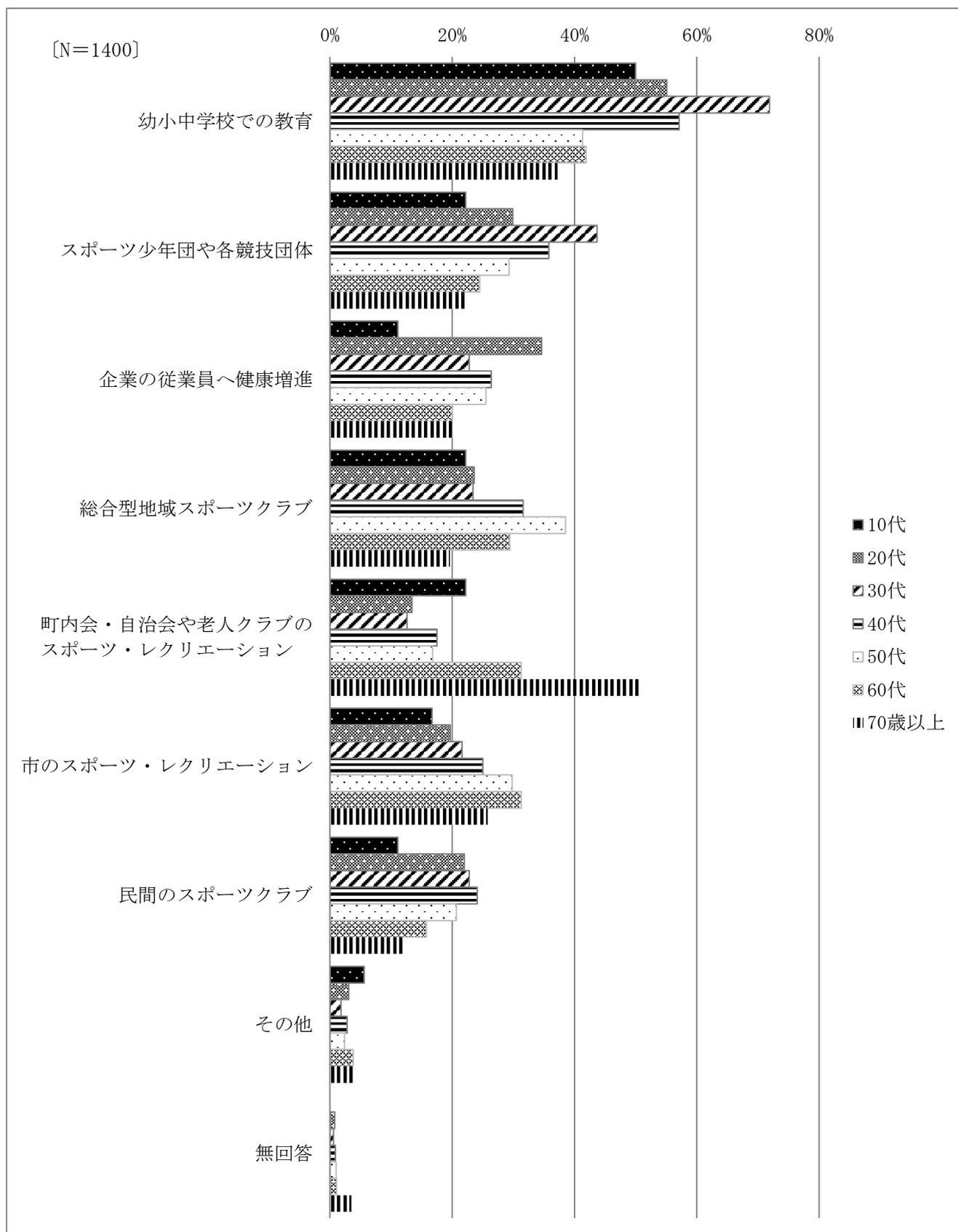
- 1 幼小中学校での教育
- 2 スポーツ少年団や各競技団体
- 3 企業の従業員への健康増進
- 4 総合型地域スポーツクラブ
- 5 町内会・自治会や老人クラブのスポーツ・レクリエーション
- 6 市のスポーツ・レクリエーション
- 7 民間のスポーツクラブ
- 8 その他

**【全体】**



「幼小中学校での教育」が47.6%で一番高く、次に「スポーツ少年団や各競技団体」が29.0%、「町内会・自治会や老人クラブのスポーツ・レクリエーション」が28.7%と続いた。子どもの頃のスポーツ体験の充実のほか、地域で気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションの場の充実を検討する。

【年代別】



30代では「幼小中学校での教育」と「スポーツ少年団や各競技団体」への期待が最も高い。また、40代では「民間のスポーツクラブ」、50代では「総合型地域スポーツクラブ」、60代では「町内会・自治会や老人クラブのスポーツ・レクリエーション」と「市のスポーツ・レクリエーション」が高くなるなど、各世代とも身近で参加しやすい組織に期待を寄せていることから、それぞれの特徴に応じたアプローチを進める。

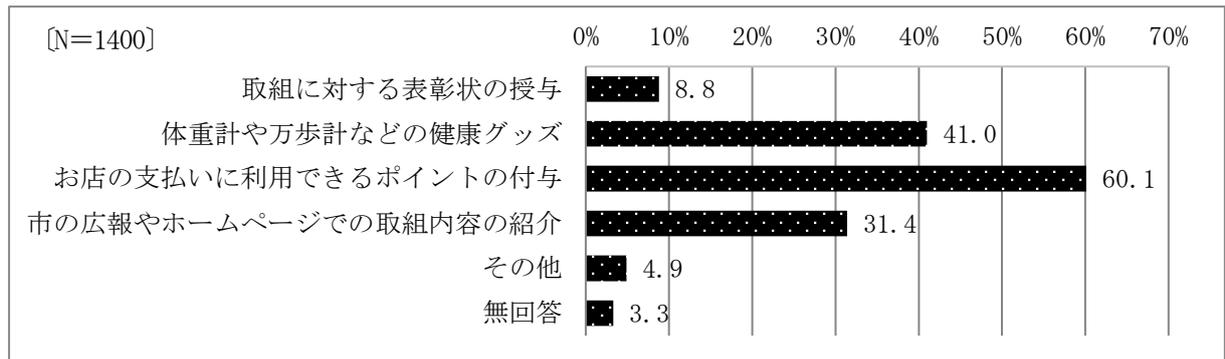
【性別，年代別，地区別の回答数】

			幼小中学校での教育	スポーツ少年団や各競技団体	企業の従業員へ健康増進	総合型地域スポーツクラブ	町内会・自治会や老人クラブのスポーツ・レクリエーション	市のスポーツ・リクリエーション	民間のスポーツクラブ	その他	無回答
	全体	1400	667	406	327	377	402	366	253	46	23
地区	河北	427	203	115	101	120	127	128	80	14	0
	河南	207	97	67	50	56	52	56	37	8	0
	盛南	198	98	52	40	45	53	55	33	7	2
	厨川	306	155	88	71	88	97	73	53	12	7
	都南	227	101	72	56	56	56	51	45	4	13
	玉山	35	13	12	9	12	17	3	5	1	1
性別	男	601	282	199	130	164	158	162	114	21	7
	女	799	385	207	197	213	244	204	139	25	16
年齢	18～19歳	18	9	4	2	4	4	3	2	1	0
	20～29歳	127	70	38	44	30	17	25	28	4	1
	30～39歳	167	120	73	38	39	21	36	38	3	1
	40～49歳	212	121	76	56	67	37	53	51	6	2
	50～59歳	208	86	61	53	80	35	62	43	5	2
	60～69歳	265	111	65	53	78	83	83	42	10	3
	70歳以上	403	150	89	81	79	205	104	49	17	14

**問7** 健康づくりの取組を市民に継続してもらうため、市からインセンティブ（奨励や報奨）が得られるとしたら、どのようなものが良いと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

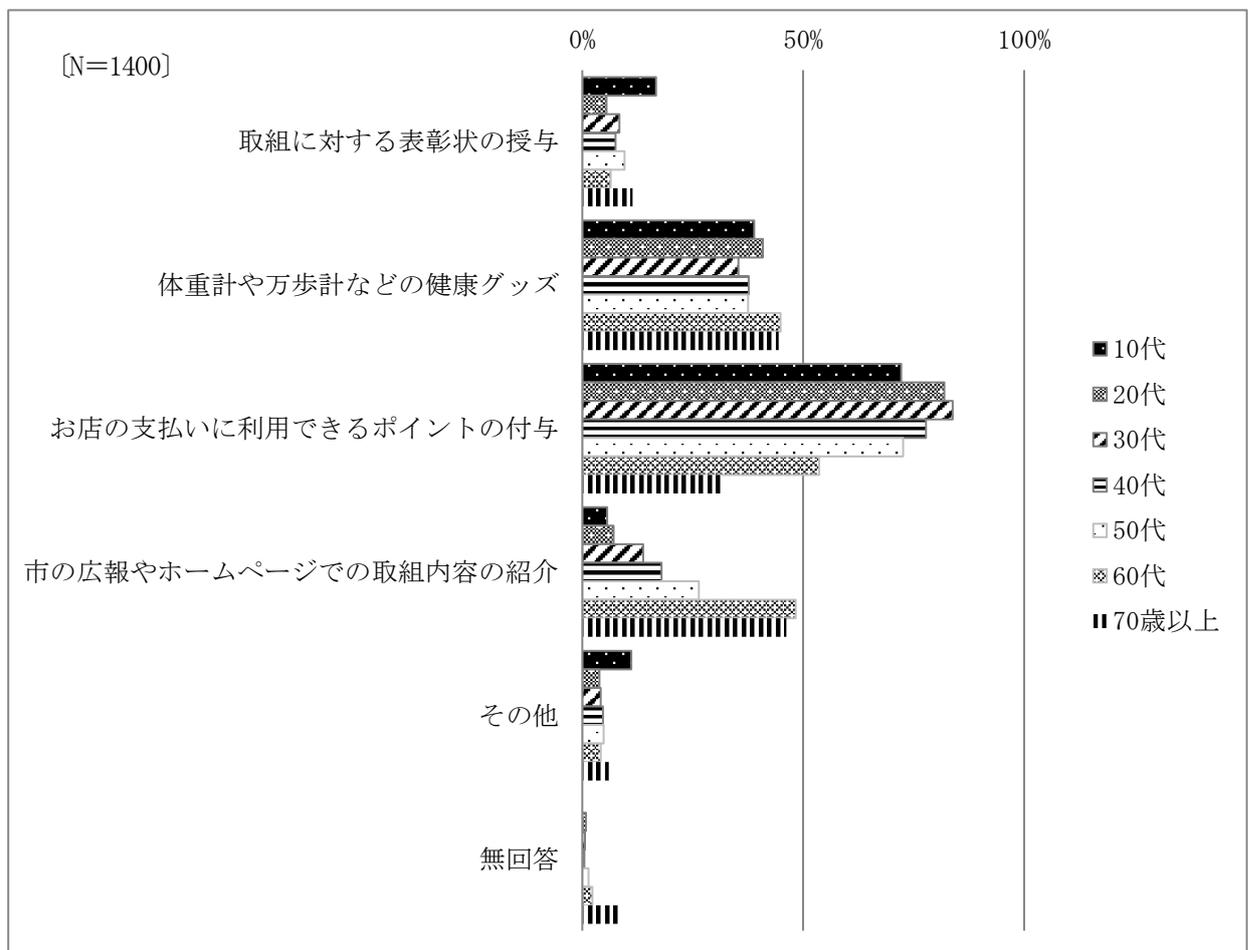
- 1 取組に対する表彰状の授与
- 2 体重計や万歩計などの健康グッズ
- 3 お店の支払いに利用できるポイントの付与
- 4 市の広報やホームページでの取組内容の紹介
- 5 その他

**【全体】**



「お店の支払いに利用できるポイントの付与」など、生活での利益につながるインセンティブが期待される傾向にある。体重・血圧の記録やウォーキングを毎日続けたり、健康教室に参加したりすることなどに対してインセンティブを付与することや、広報もりおかでの事例紹介など、楽しみながら健康づくりの推進につなげられるような仕組みを検討する。

**【年代別】**



「お店の支払いに利用できるポイントの付与」は年代が上がるにつれて希望者が減少し、「市の広報やホームページでの取組内容の紹介」は年代が上がるに連れて希望者が増加している。各世代における生活や行動のスタイルにより、希望する内容が異なるものと推測され、複数のアプローチが必要と考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

			取組に対する表彰状の授与	体重計や万歩計などの健康グッズ	お店の支払いに利用できるポイントの付与	市の広報やホームページでの取組内容の紹介	その他	無回答
	全体	1400	123	574	842	440	69	46
地区	河北	427	40	171	233	144	26	16
	河南	207	22	89	125	59	8	11
	盛南	198	14	74	121	56	11	7
	厨川	306	30	139	193	99	15	3
	都南	227	13	93	147	70	7	8
	玉山	35	4	8	23	12	2	1
性別	男	601	69	233	355	190	30	16
	女	799	54	341	487	250	39	30
年齢	18～19歳	18	3	7	13	1	2	0
	20～29歳	127	7	52	104	9	5	1
	30～39歳	167	14	59	140	23	7	1
	40～49歳	212	16	80	165	38	10	1
	50～59歳	208	20	78	151	55	10	3
	60～69歳	265	17	119	142	128	11	6
	70歳以上	403	46	179	127	186	24	34

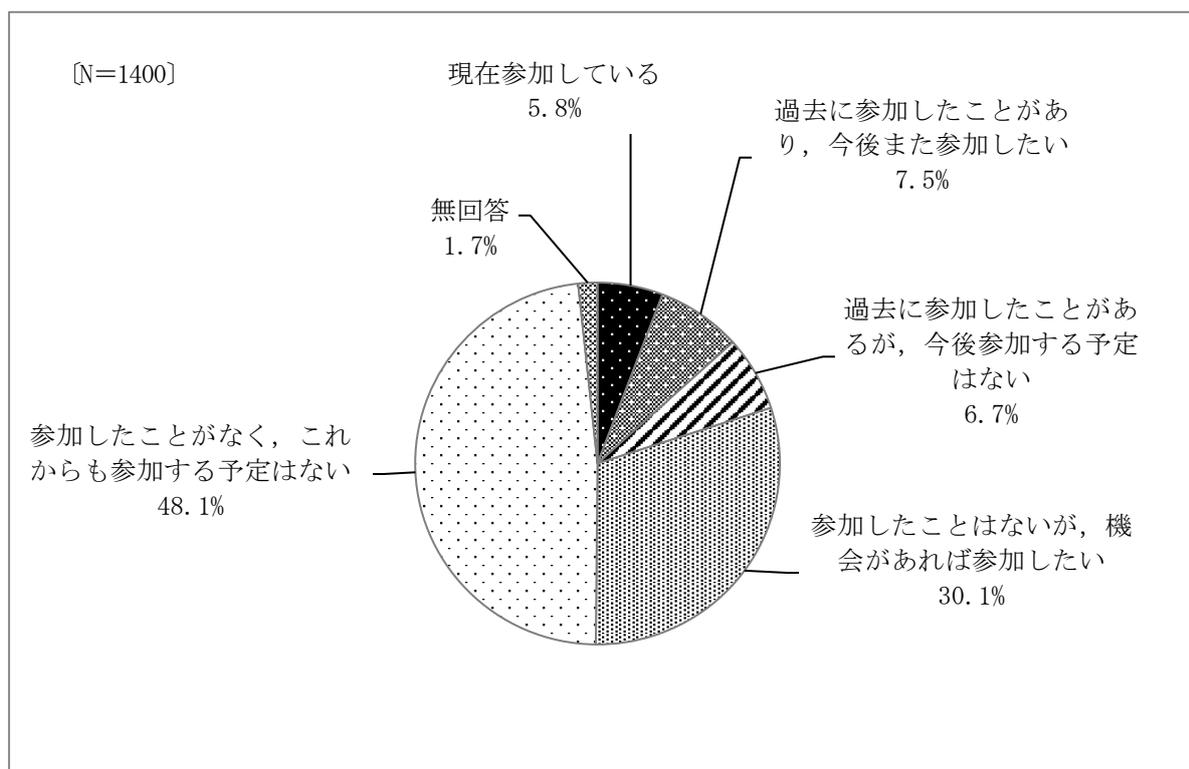
《テーマ2 芸術文化活動について》

**問8** この2年間に自身で芸術文化活動に参加（※）したことがありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

※ 創作や出演、習い事、体験活動への参加のこと（鑑賞は含まない）。

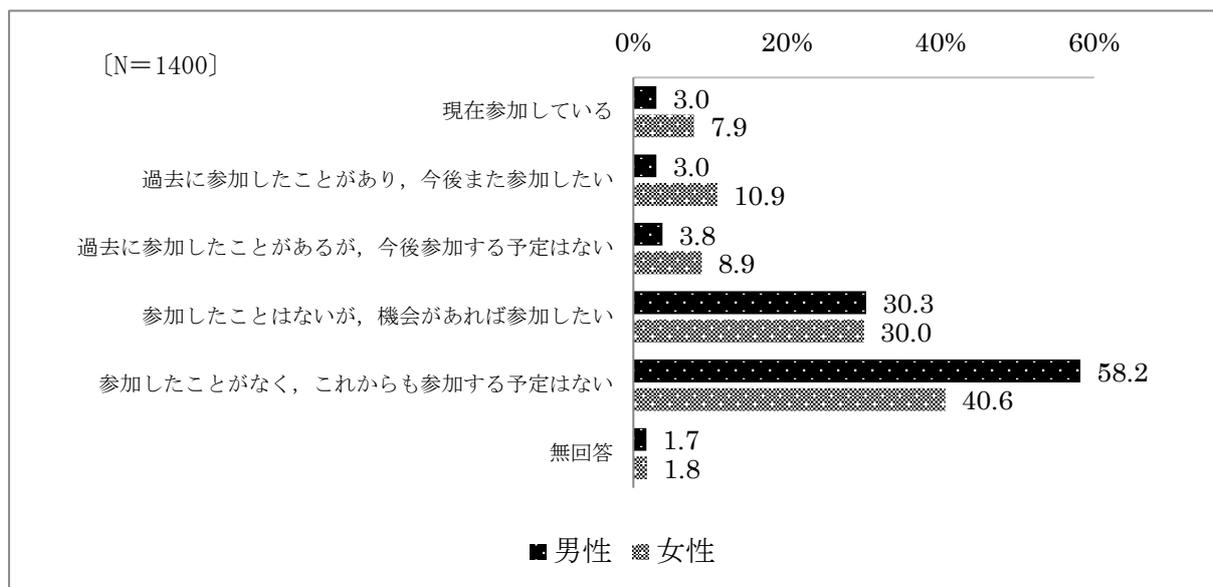
- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがあります、今後また参加したい
- 3 過去に参加したことがあるが、今後参加する予定はない
- 4 参加したことはないが、機会があれば参加したい
- 5 参加したことがなく、これからも参加する予定はない

**【全体】**



「参加したことはないが、機会があれば参加したい」及び「参加したことがなく、これからも参加する予定はない」と回答した人の合計が78.2%と多数を占めている。芸術文化活動に関心のある人や活動してみたい人が参加しやすいような初心者向けの体験活動や講座などの参加機会を提供することや、どのような活動を求めているか、ニーズを把握するなど、参加しやすい活動機会の提供を検討する。

【性別】



男女共に「参加したことがなく、これからも参加する予定はない」と答えた人の割合が高く、特に男性では 58.2%と6割近い回答であった。また、男性に比べ女性のほうが芸術文化活動に参加した人が多く、今後もまた活動したいと回答した人の割合も高い結果であった。こういった活動を求めているのかを調査していくとともに、男性も活動に参加しやすく、継続的に参加できるような活動機会の提供を検討する必要がある。

【性別，年代別，地区別の回答数】

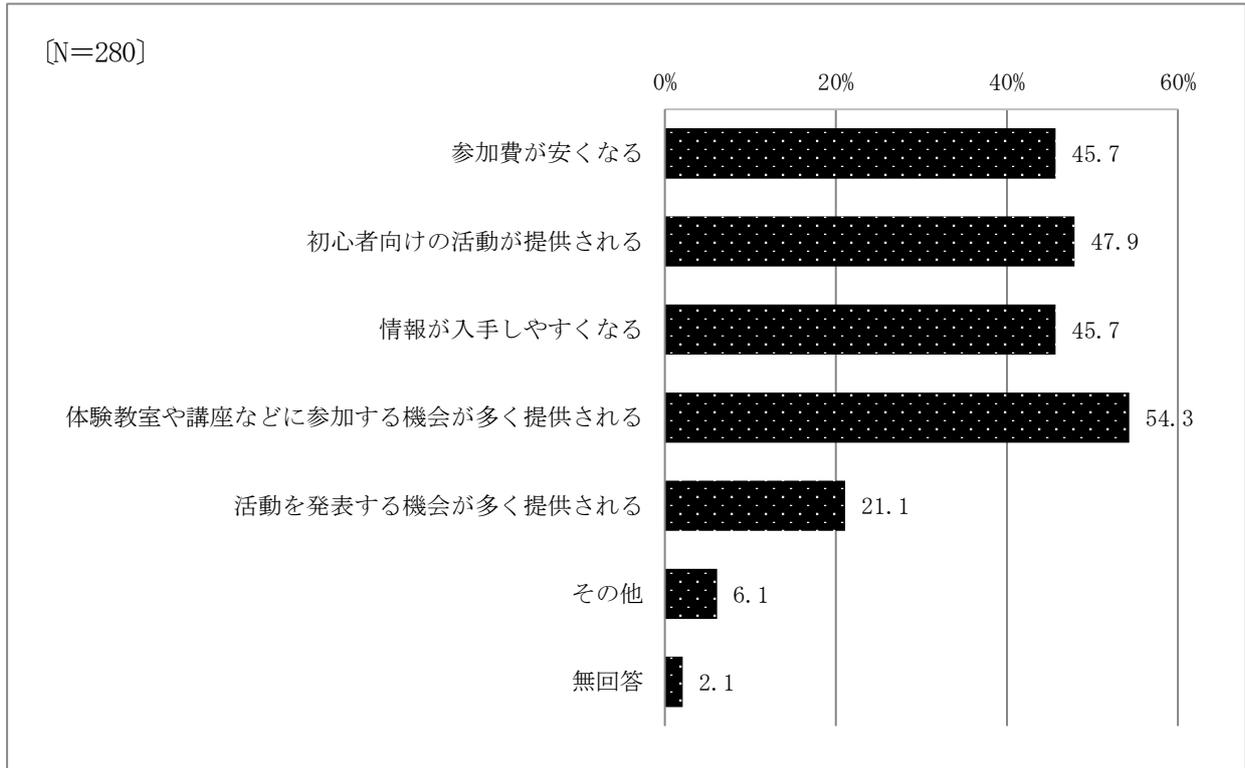
			現在参加している	過去に参加したことがあり、今後また参加したい	過去に参加したことがあるが、今後参加する予定はない	参加したことはないが、機会があれば参加したい	参加したことがなく、これからも参加する予定はない	無回答
	全体	1400	81	105	94	422	674	24
地区	河北	427	28	32	36	125	197	9
	河南	207	15	15	11	61	100	5
	盛南	198	4	12	16	66	98	2
	厨川	306	19	22	12	90	158	5
	都南	227	12	20	13	74	105	3
	玉山	35	3	4	6	6	16	0
性別	男	601	18	18	23	182	350	10
	女	799	63	87	71	240	324	14
年齢	18～19歳	18	3	1	0	5	9	0
	20～29歳	127	5	11	3	36	72	0
	30～39歳	167	5	18	6	51	87	0
	40～49歳	212	3	12	8	88	101	0
	50～59歳	208	11	14	5	77	98	3
	60～69歳	265	21	20	19	83	117	5
	70歳以上	403	33	29	53	82	190	16

**問9** 【問8で1～3を回答した方にお聞きします。】

芸術文化活動に気軽に参加するために、今後さらに取組が必要だと思うことについて、当てはまるもの**全て**に○を付けてください。

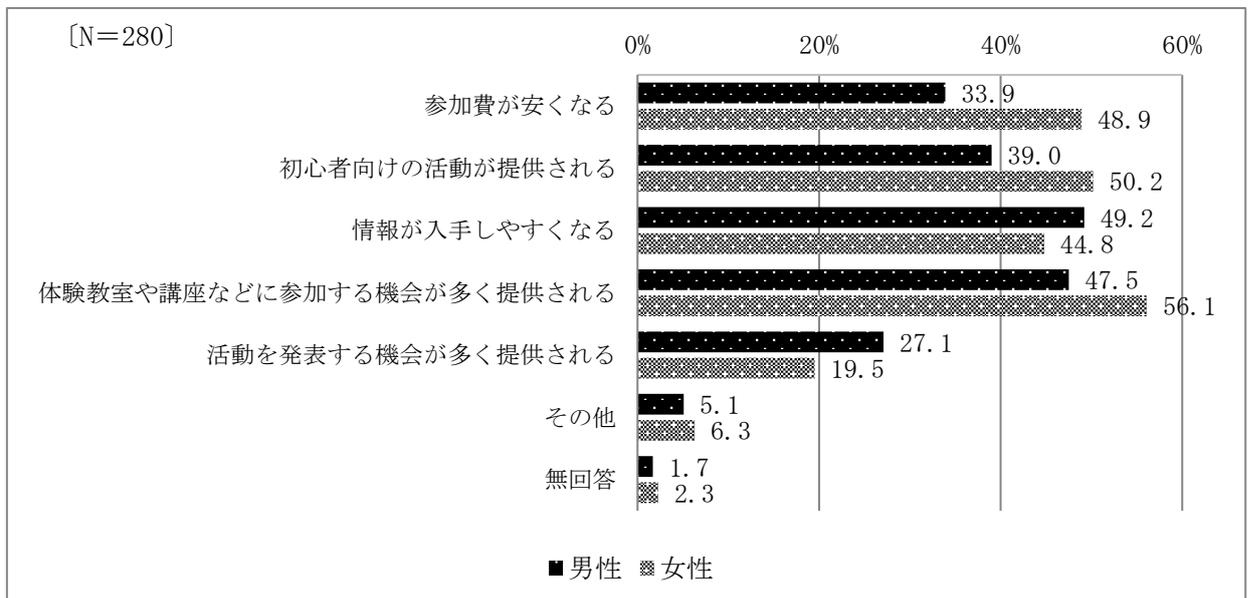
- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1 参加費用が安くなる      | 4 体験教室や講座などに参加する機会が多く提供される |
| 2 初心者向けの活動が提供される | 5 活動を発表する機会が多く提供される        |
| 3 情報が入手しやすくなる    | 6 その他                      |

**【全体】**



体験教室や講座などに参加する機会の増加や、初心者向けの活動、参加費が安価な活動などが求められていることが分かる。初心者や、普段活動していない人が気軽に参加できるような取組を検討する。

**【性別】**



女性は、男性に比べて、体験教室や講座などに参加する機会が多く提供されることや、初心者向けの活動が提供されること、参加費が安くなることを望んでいることが分かる。一方、男性は、女性に比べて活動の成果を発表する場を望んでいることが分かる。

このことから、それぞれの性別の傾向を踏まえた体験活動や講座を企画することで、参加者の満足度向上と、参加者数の増加が見込まれると考えられる。

**【性別，年代別，地区別の回答数】**

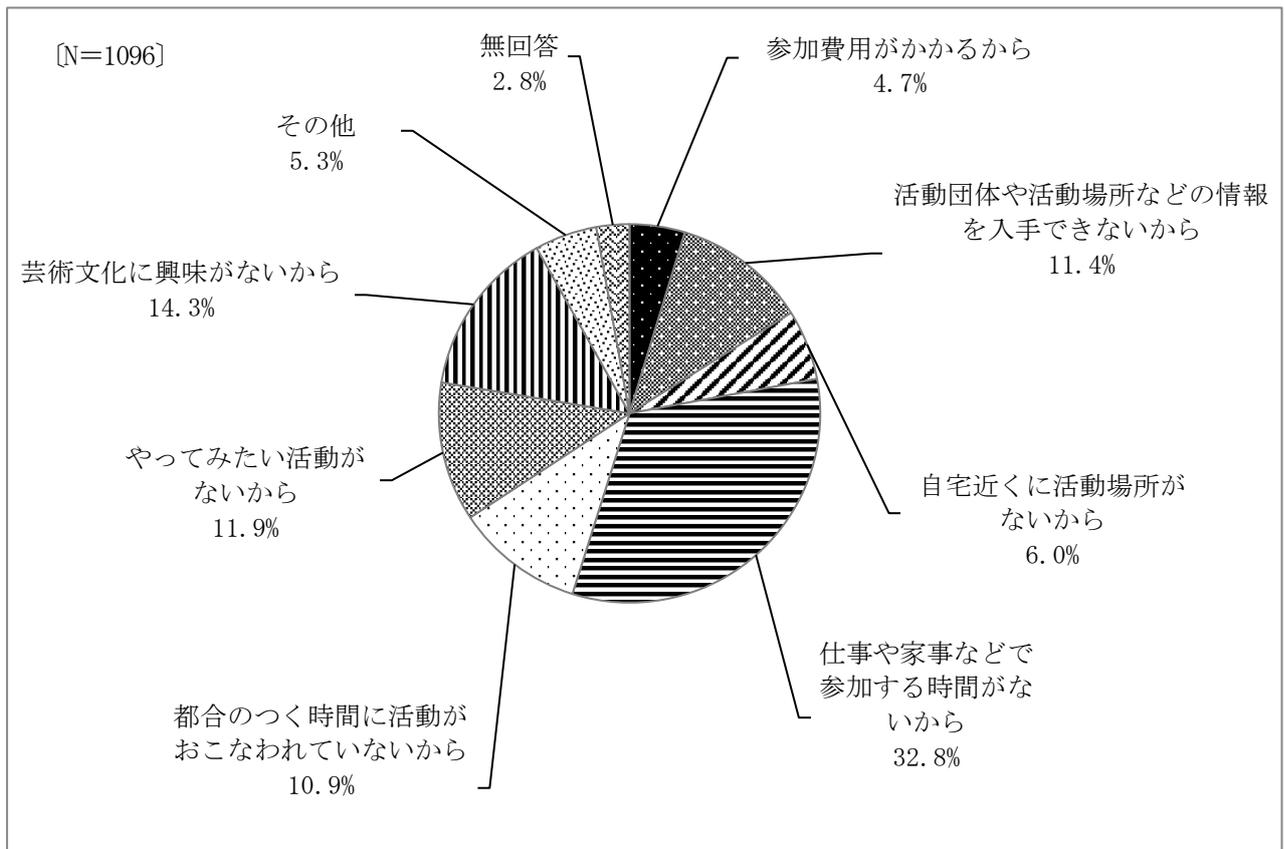
			参加費が安くなる	初心者向けの活動が提供される	情報が入手しやすくなる	体験教室や講座などに参加する機会が多く提供される	活動を発表する機会が多く提供される	その他	無回答
	全体	280	128	134	128	152	59	17	6
地区	河北	96	44	48	37	60	20	7	2
	河南	41	20	19	21	17	10	4	1
	盛南	32	10	12	14	19	4	3	0
	厨川	53	30	30	28	31	10	2	0
	都南	45	19	19	23	19	11	1	2
	玉山	13	5	6	5	6	4	0	1
性別	男	59	20	23	29	28	16	3	1
	女	221	108	111	99	124	43	14	5
年齢	18～19歳	4	1	1	3	3	1	0	0
	20～29歳	19	13	7	16	8	7	0	0
	30～39歳	29	12	16	14	15	4	2	0
	40～49歳	23	11	10	12	15	2	1	1
	50～59歳	30	15	17	11	19	4	2	0
	60～69歳	60	31	29	26	36	11	4	2
	70歳以上	115	45	54	46	56	30	8	3

**問10 【問8で4又は5を回答した方にお聞きします。】**

芸術文化活動に参加しなかった理由について、当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1 参加費用がかかるから              | 5 都合のつく時間に活動が行われていないから |
| 2 活動団体や活動場所などの情報を入手できないから | 6 やってみたい活動がないから        |
| 3 自宅近くに活動場所がないから          | 7 芸術文化に興味がないから         |
| 4 仕事や家事などで参加する時間がないから     | 8 その他                  |

**【全体】**



多くの人が、活動するための時間の確保が困難であると推察される。活動に参加しやすい時間の調査や気軽に参加できる活動機会の提供、活動団体などの情報の周知を図るなど、芸術文化活動に参加しやすい環境づくりを検討する。

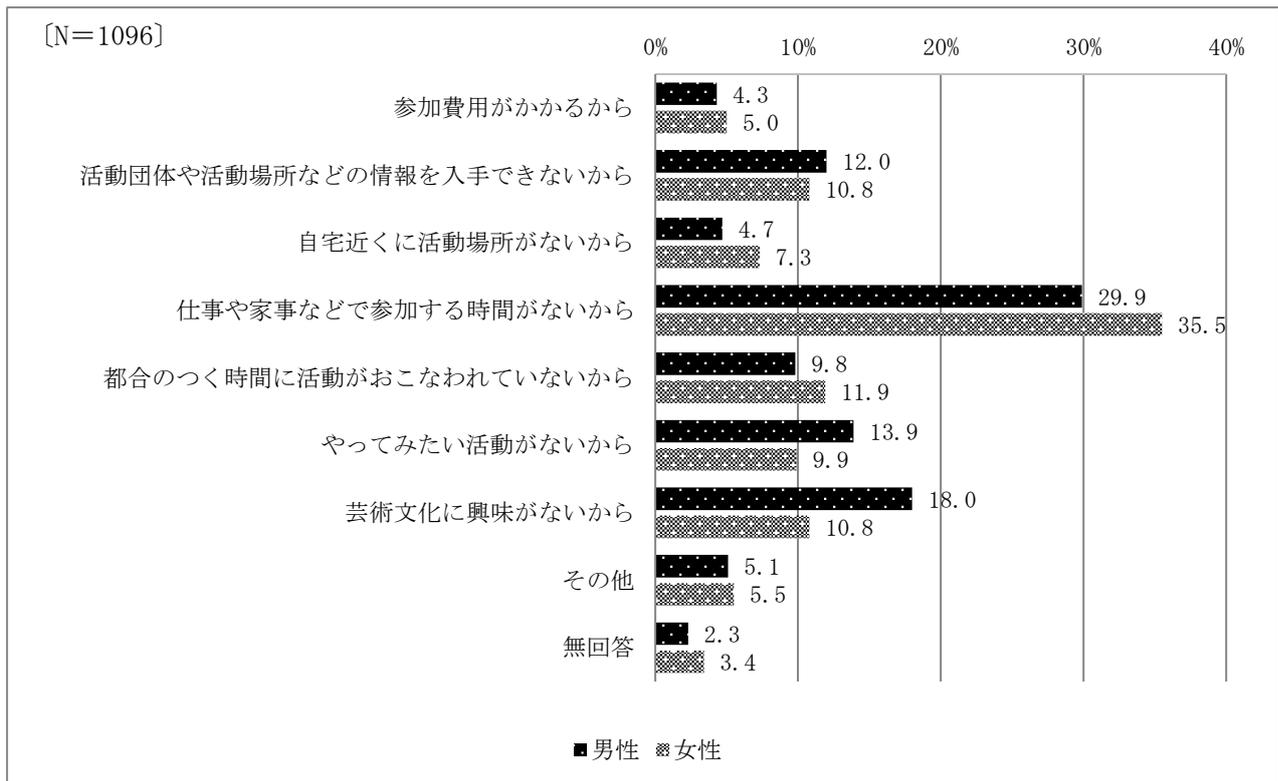
また、情報を入手できない人への対応として、芸術文化ポータルサイト（※）や機関誌等を活用するなど、手軽に情報が入手しやすい周知方法を検討する必要がある。また、「やってみたい活動がないから」と答えた人もいるため、こういった活動への参加を望んでいるのか、ニーズを把握する必要がある。

※芸術文化ポータルサイト

市民、芸術家及び芸術文化活動団体、行政が相互に交流を図ることができるウェブサイトとして、令和4年2月4日に仮公開（一部メニューのみ）し、令和4年2月28日には本公開を予定している。

活動団体のイベント情報や活動状況の紹介、市所蔵美術品の紹介など、芸術文化に関する情報を集約し、発信するためのウェブサイト。

【性別】



男性も女性も活動するための時間の確保が困難であると推察される。気軽に参加できる活動機会の提供や、活動団体などの情報の周知を図るなど、男性・女性のそれぞれの視点で、どういった活動への参加を望んでいるのか、ニーズを把握し、芸術文化活動に参加しやすい環境づくりを検討する。

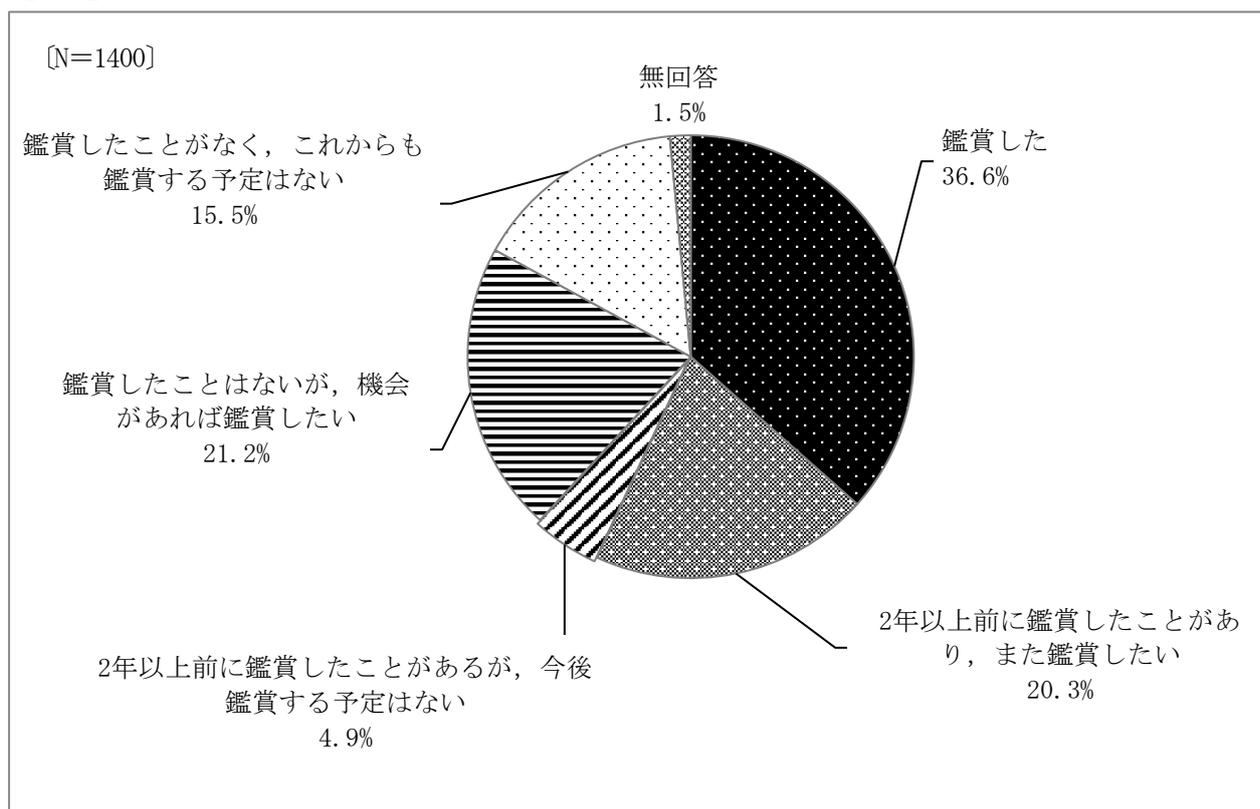
【性別、年代別、地区別の回答数】

			参加費用がかかるから	活動団体や活動場所などの情報を入手できないから	自宅近くに活動場所がないから	仕事や家事などで参加する時間がないから	都合のつく時間に活動がおこなわれていないから	やってみたい活動がないから	芸術文化に興味がないから	その他	無回答
	全体	1096	51	125	66	359	119	130	157	58	31
地区	河北	322	19	38	16	96	31	46	45	22	9
	河南	161	7	22	10	54	23	16	16	8	5
	盛南	164	4	17	12	60	19	10	25	9	8
	厨川	248	13	27	13	77	26	36	44	8	4
	都南	179	7	20	14	63	18	21	23	8	5
	玉山	22	1	1	1	9	2	1	4	3	0
性別	男	532	23	64	25	159	52	74	96	27	12
	女	564	28	61	41	200	67	56	61	31	19
年齢	18～19歳	14	0	3	0	5	0	1	5	0	0
	20～29歳	108	5	17	3	33	9	16	22	3	0
	30～39歳	138	4	15	5	53	16	13	27	2	3
	40～49歳	189	12	19	5	72	30	25	18	6	2
	50～59歳	175	5	17	6	62	24	22	33	4	2
	60～69歳	200	12	24	18	79	16	20	20	6	5
	70歳以上	272	13	30	29	55	24	33	32	37	19

**問 11** この2年間にコンサートや美術展、歴史的文化財の鑑賞など芸術文化に関するイベントに足を運んで直接鑑賞をしたことがありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

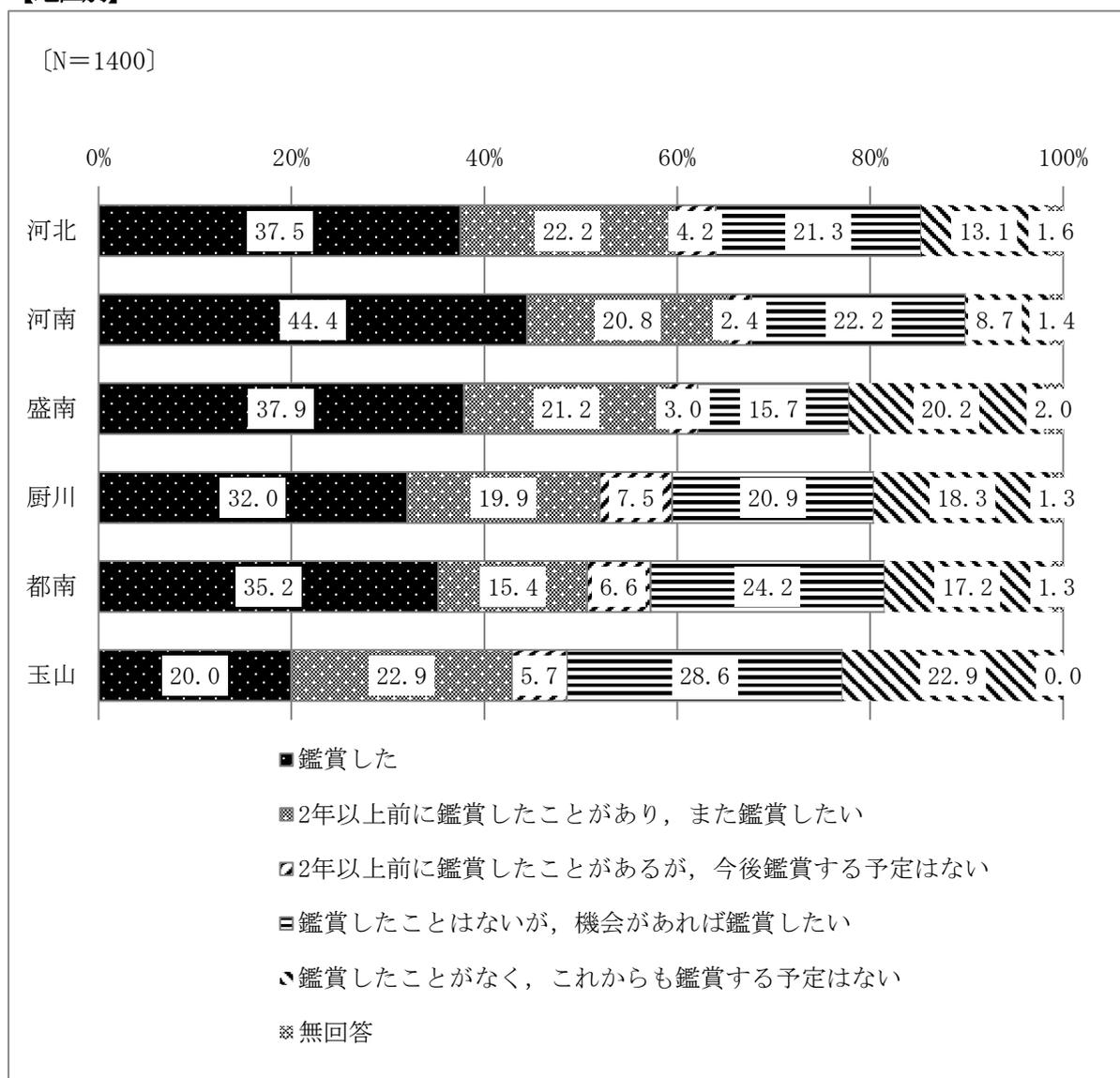
- 1 鑑賞した
- 2 2年以上前に鑑賞したことがあります、また鑑賞したい
- 3 2年以上前に鑑賞したことがあるが、今後鑑賞する予定はない
- 4 鑑賞したことはないが、機会があれば鑑賞したい
- 5 鑑賞したことがなく、これからも鑑賞する予定はない

**【全体】**



「鑑賞した」が36.6%と最も高く、次いで「鑑賞したことはないが、機会があれば鑑賞したい」「2年以上前に鑑賞したことがあります、また鑑賞したい」となっており、合計で8割近い人が鑑賞に前向きな傾向であった。継続的な鑑賞機会を提供するとともにニーズを把握することに努め、それを踏まえたイベント等の検討をする必要がある。

【地区別】



玉山地区では他地区と比べ、「鑑賞した」と答えた人が少なく、「鑑賞したことはないが、機会があれば鑑賞したい」の割合が最も高くなっている。他地区と比べて、鑑賞できる場や、そこへ向かうための交通手段が少ないことも影響していると考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

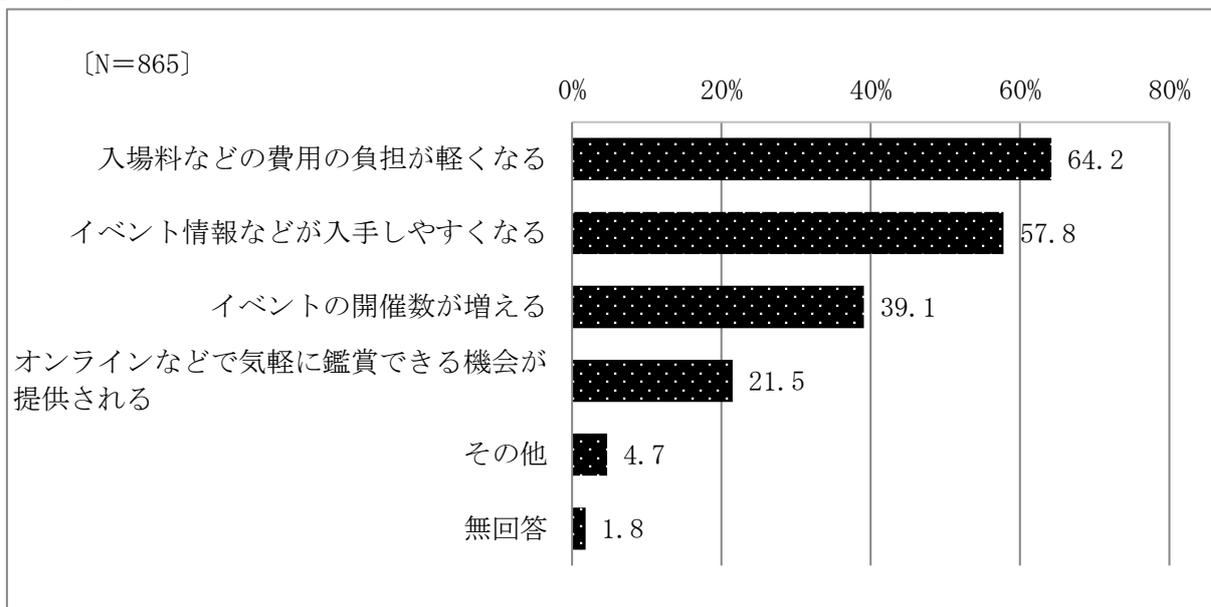
			鑑賞した	2年以上前に鑑賞したことがあるが、また鑑賞したい	2年以上前に鑑賞したことがあるが、今後鑑賞する予定はない	鑑賞したことはないが、機会があれば鑑賞したい	鑑賞したことがなく、これからも鑑賞する予定はない	無回答
	全体	1400	512	284	69	297	217	21
地区	河北	427	160	95	18	91	56	7
	河南	207	92	43	5	46	18	3
	盛南	198	75	42	6	31	40	4
	厨川	306	98	61	23	64	56	4
	都南	227	80	35	15	55	39	3
	玉山	35	7	8	2	10	8	0
性別	男	601	182	99	24	147	140	9
	女	799	330	185	45	150	77	12
年齢	18～19歳	18	8	3	0	3	4	0
	20～29歳	127	42	21	10	29	25	0
	30～39歳	167	65	33	5	42	22	0
	40～49歳	212	89	45	6	45	26	1
	50～59歳	208	85	43	8	44	26	2
	60～69歳	265	104	51	13	69	27	1
	70歳以上	403	119	88	27	65	87	17

**問12** 【問11で1～3を回答した方にお聞きします。】

芸術文化のイベントなどをより鑑賞しやすくするために、今後さらに取組が必要だと思うことについて、当てはまるもの**全て**に○を付けてください。

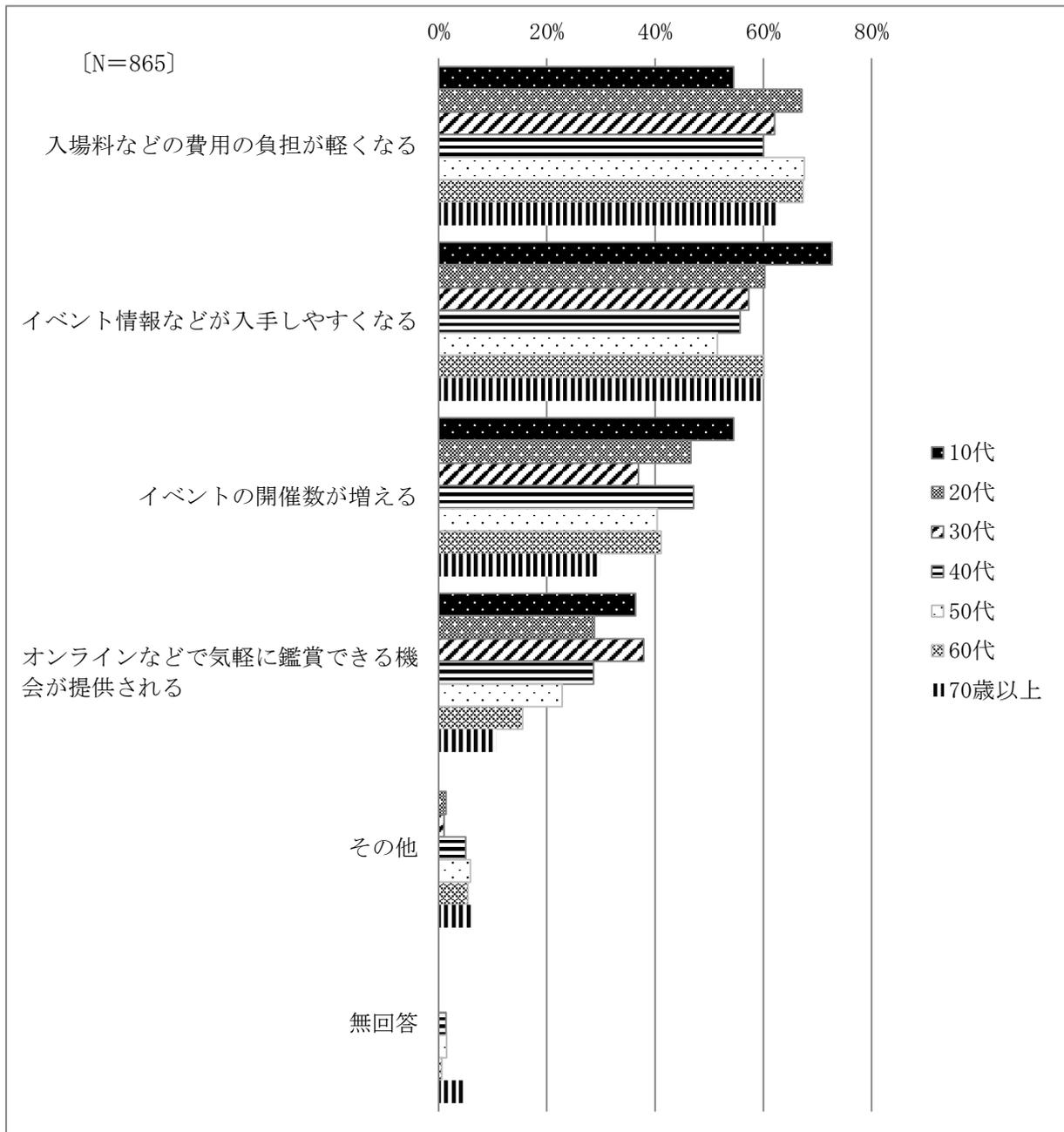
- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1 入場料などの費用の負担が軽くなる  | 4 オンラインなどで気軽に鑑賞できる機会が提供される |
| 2 イベント情報などが入手しやすくなる | 5 その他                      |
| 3 イベントの開催数が増える      |                            |

**【全体】**



費用負担の軽減や、イベント情報を入手しやすい環境が求められていることから、実施する事業内容及び費用の検討、また従来の周知方法に加え、芸術文化ポータルサイトを活用し、スマートフォン等で気軽に情報が入手できるような仕組みづくりに取り組む。

【年代別】



30代では「オンラインなどで気軽に鑑賞できる機会が提供される」と回答した割合が他の年代に比べ高く、場所を選ばず気軽に鑑賞できる機会が求められている。芸術文化ポータルサイトを活用し、市の所蔵美術品の紹介などを行い、気軽に鑑賞できる機会を検討する。

【性別, 年代別, 地区別の回答数】

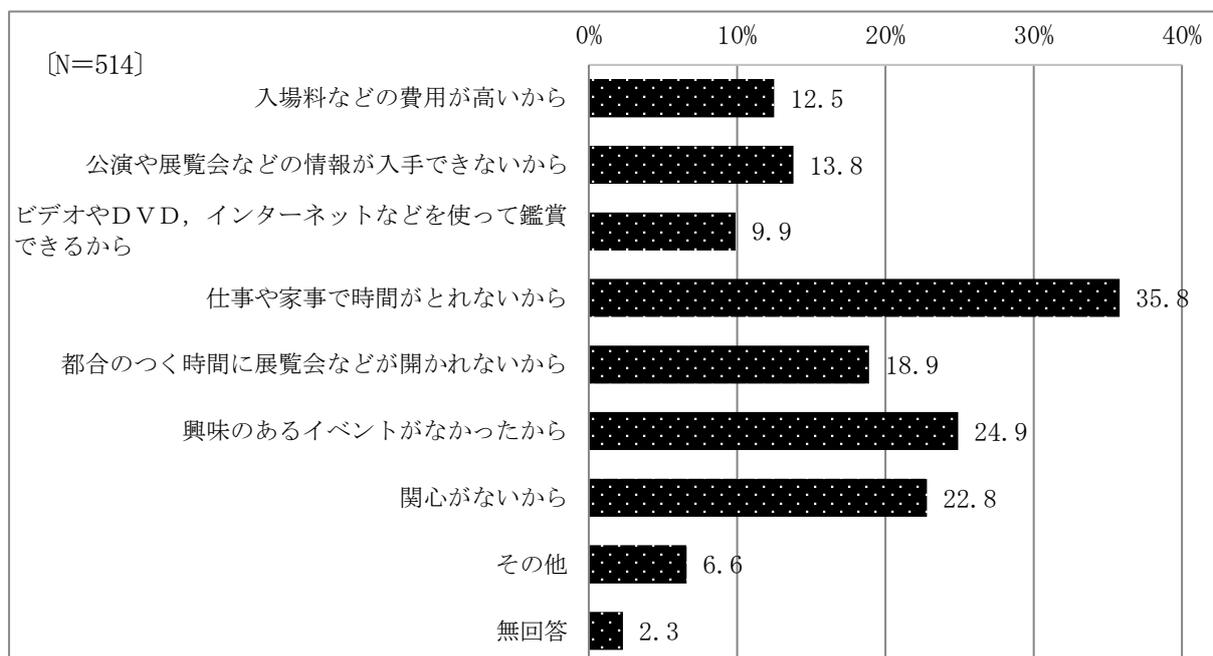
			入場料などの費用の負担が軽くなる	イベント情報などが入手しやすくなる	イベントの開催数が増える	オンラインなどで気軽に鑑賞できる機会が提供される	その他	無回答
	全体	865	555	500	338	186	41	16
地区	河北	273	183	153	113	64	20	2
	河南	140	85	80	51	35	7	3
	盛南	123	76	68	47	21	4	3
	厨川	182	118	115	77	39	5	5
	都南	130	81	76	44	24	4	3
	玉山	17	12	8	6	3	1	0
性別	男	305	193	170	109	60	13	3
	女	560	362	330	229	126	28	13
年齢	18～19歳	11	6	8	6	4	0	0
	20～29歳	73	49	44	34	21	1	0
	30～39歳	103	64	59	38	39	1	0
	40～49歳	140	84	78	66	40	7	2
	50～59歳	136	92	70	55	31	8	2
	60～69歳	168	113	101	69	26	9	1
	70歳以上	234	147	140	70	25	15	11

**問13** 【問11で4又は5を回答した方にお聞きします。】

鑑賞をしなかった理由について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

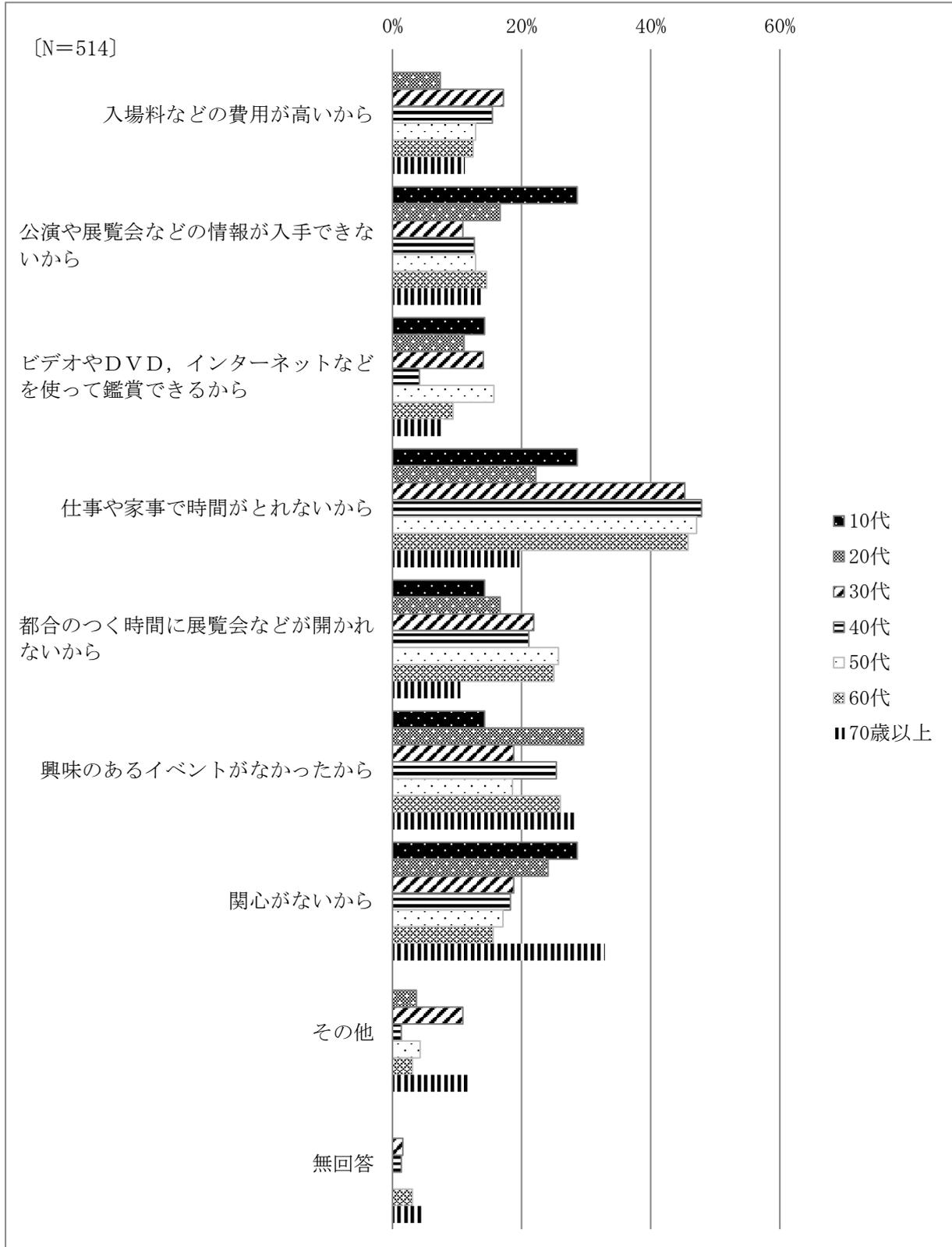
- 1 入場料などの費用が高いから
- 2 公演や展覧会などの情報が入手できないから
- 3 ビデオやDVD，インターネットなどを使って鑑賞できるから
- 4 仕事や家事で時間がとれないから
- 5 都合のつく時間に公演や展覧会などが開かれていないから
- 6 興味のあるイベントがなかったから
- 7 関心がないから
- 8 その他

**【全体】**



「仕事や家事で時間がとれないから」が35.8%と最も高く、鑑賞するために時間がとれない状況であった。時間がなくても気軽に鑑賞できる機会を提供する方法や、様々なニーズに合わせたイベントの企画や周知方法等を検討する。

【年代別】



30～60代では「仕事や家事で時間がとれないから」と回答した人が40%を超えている。時間がとれない中でも参加しやすい時間帯のイベントやオンライン配信など、場所を選ばない鑑賞機会の提供方法を検討する。

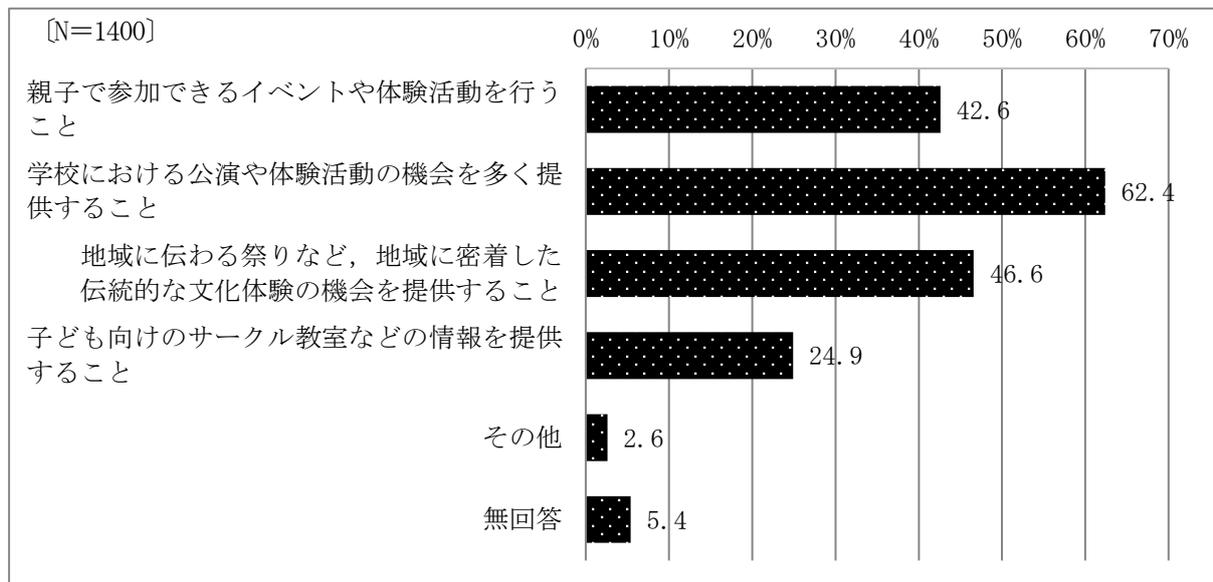
【性別, 年代別, 地区別の回答数】

			入場料などの費用が高いから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	ビデオやDVD, インターネットなどを使って鑑賞できるから	仕事や家事で時間がとれないから	都合のつく時間に展覧会などが開かれないから	興味のあるイベントがなかったから	関心がないから	その他	無回答
	全体	514	64	71	51	184	97	128	117	34	12
地区	河北	147	16	18	9	55	29	37	34	9	3
	河南	64	4	9	7	23	10	15	9	5	3
	盛南	71	12	9	10	30	13	13	17	2	2
	厨川	120	15	21	14	37	26	32	33	6	2
	都南	94	13	12	11	35	14	26	20	8	2
	玉山	18	4	2	0	4	5	5	4	4	0
性別	男	287	31	38	26	95	46	77	82	17	5
	女	227	33	33	25	89	51	51	35	17	7
年齢	18～19歳	7	0	2	1	2	1	1	2	0	0
	20～29歳	54	4	9	6	12	9	16	13	2	0
	30～39歳	64	11	7	9	29	14	12	12	7	1
	40～49歳	71	11	9	3	34	15	18	13	1	1
	50～59歳	70	9	9	11	33	18	13	12	3	0
	60～69歳	96	12	14	9	44	24	25	15	3	3
	70歳以上	152	17	21	12	30	16	43	50	18	7

**問 14** 子どもが芸術文化に親しむために、市が力を入れて取り組むべきだと思うことについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

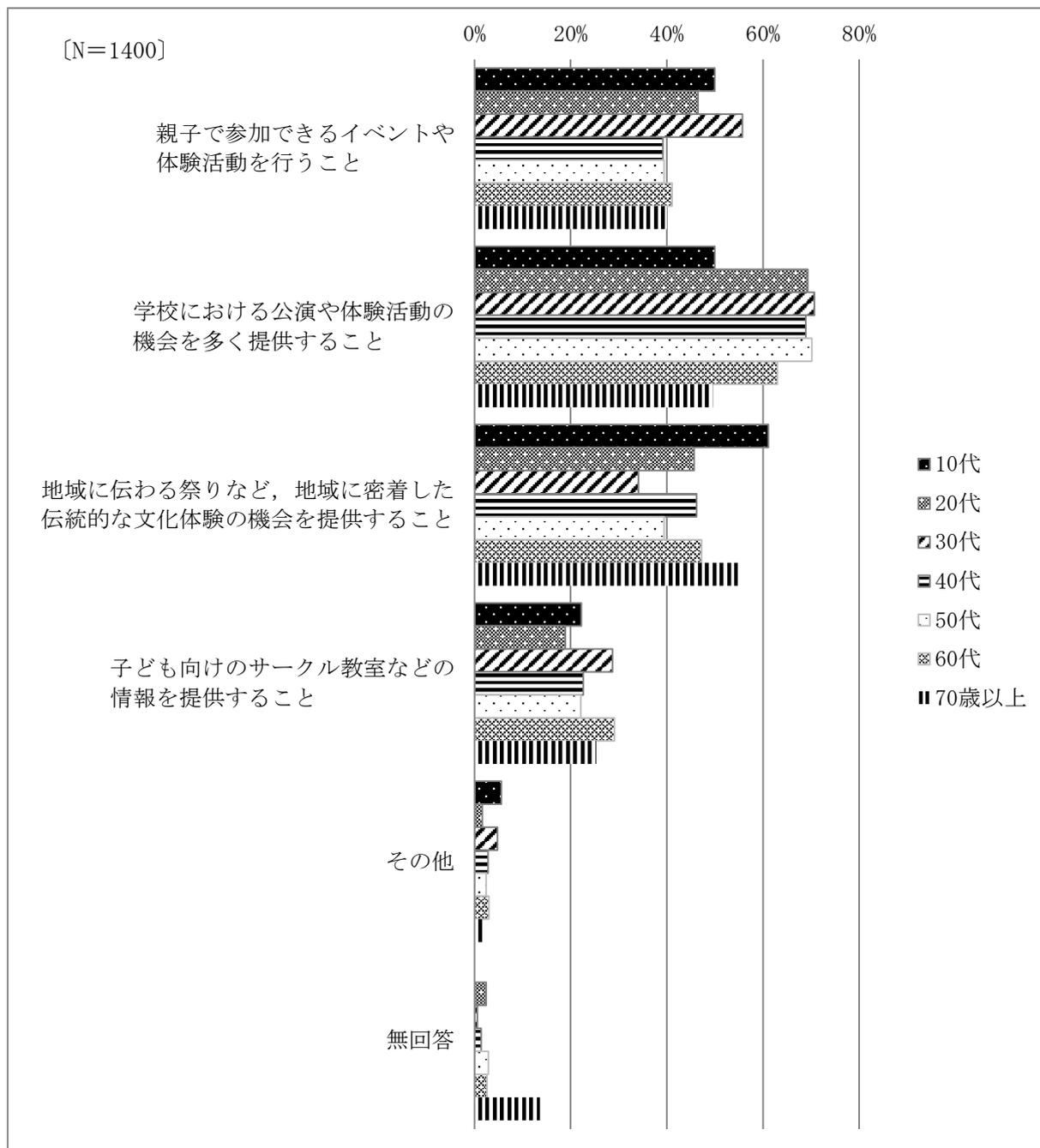
- 1 親子で参加できるイベントや体験活動を行うこと
- 2 学校における公演や体験活動の機会を多く提供すること
- 3 地域に伝わる祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を提供すること
- 4 子ども向けのサークル教室などの情報を提供すること
- 5 その他

**【全体】**



「学校における公演や体験活動機会を多く提供すること」が62.4%と最も高い結果となった。また、「その他」の回答には、休日でも子どもが部活動等で時間がとれないといった意見や、学校行事に組み込むべき、家庭で芸術文化の素地を作るため、親も一緒に芸術文化に親しむ機会の提供が必要という意見があった。親と子どもが一緒に体験できるような取組が必要と考えられる。

【年代別】



10代では、「地域に密着した伝統的な文化体験の機会の提供すること」が61.1%と最も高く、20～60代では「学校における公演や体験活動の機会を多く提供すること」の回答の割合が最も高かった。学校行事と合わせて、芸術文化に触れる機会を提供すること、地域に密着した伝統的な文化体験を通じて、地域の魅力の再発見の機会や担い手の確保につなげていく必要があると考える。

【性別，年代別，地区別の回答数】

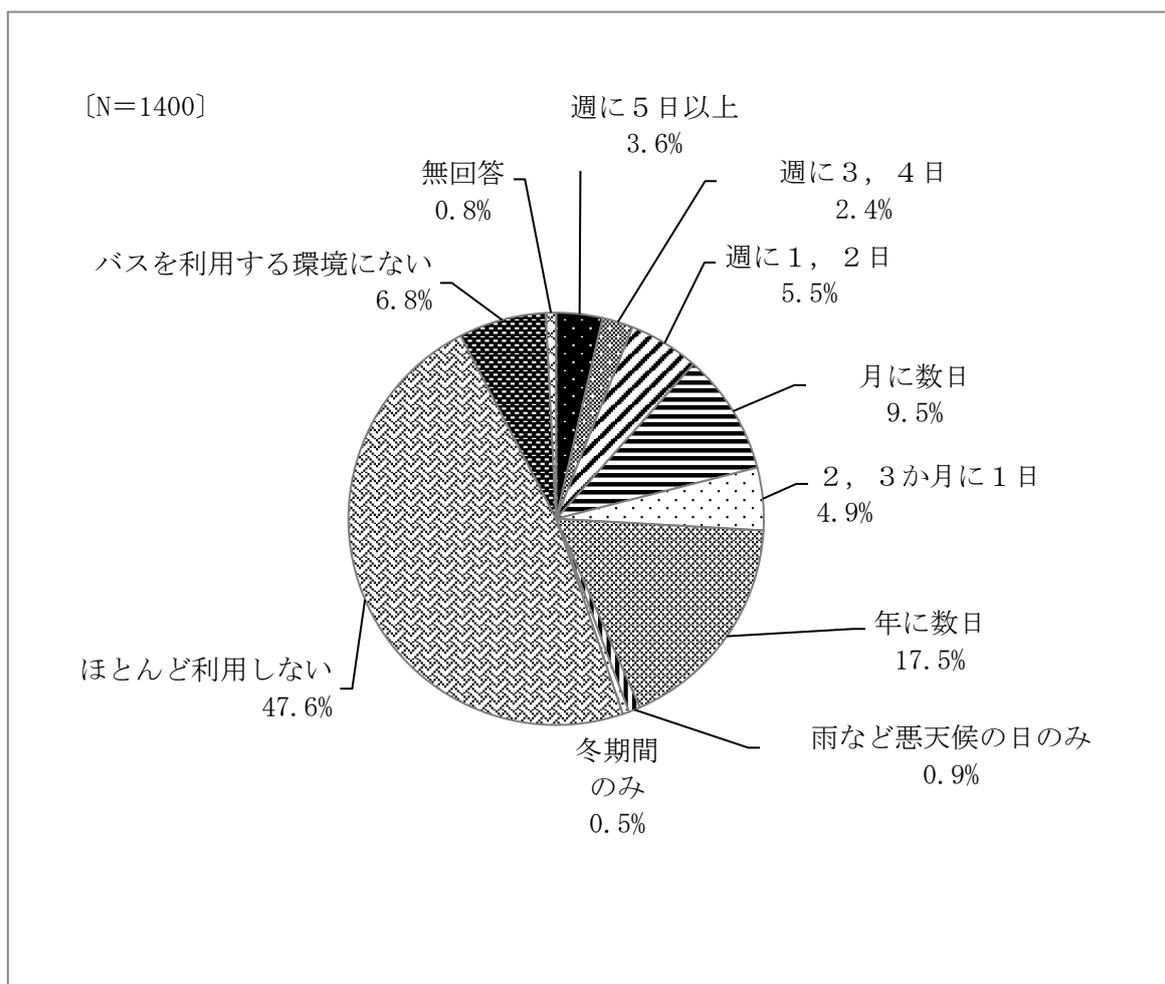
			親子で参加できるイベントや体験活動を行うこと	学校における公演や体験活動の機会を多く提供すること	文化体験の機会を提供すること	地域に伝わる祭りなど，地域に密着した伝統的な文化体験の機会を提供すること	子ども向けのサークル教室などの情報を提供すること	その他	無回答
	全体	1400	596	874	652	349	37	75	
地区	河北	427	185	267	203	119	13	25	
	河南	207	85	125	109	52	6	12	
	盛南	198	72	125	79	48	7	12	
	厨川	306	142	197	141	79	8	15	
	都南	227	96	137	98	45	3	11	
	玉山	35	16	23	22	6	0	0	
性別	男	601	232	351	287	142	13	27	
	女	799	364	523	365	207	24	48	
年齢	18～19歳	18	9	9	11	4	1	0	
	20～29歳	127	59	88	58	24	2	3	
	30～39歳	167	93	118	57	48	8	1	
	40～49歳	212	83	146	98	48	6	3	
	50～59歳	208	82	146	82	46	5	6	
	60～69歳	265	109	167	125	77	8	7	
	70歳以上	403	161	200	221	102	7	55	

《テーマ3 交通手段について》

**問15** 民間の路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、JRバス）をどの程度利用していますか。  
当てはまるもの1つに○を付けてください。

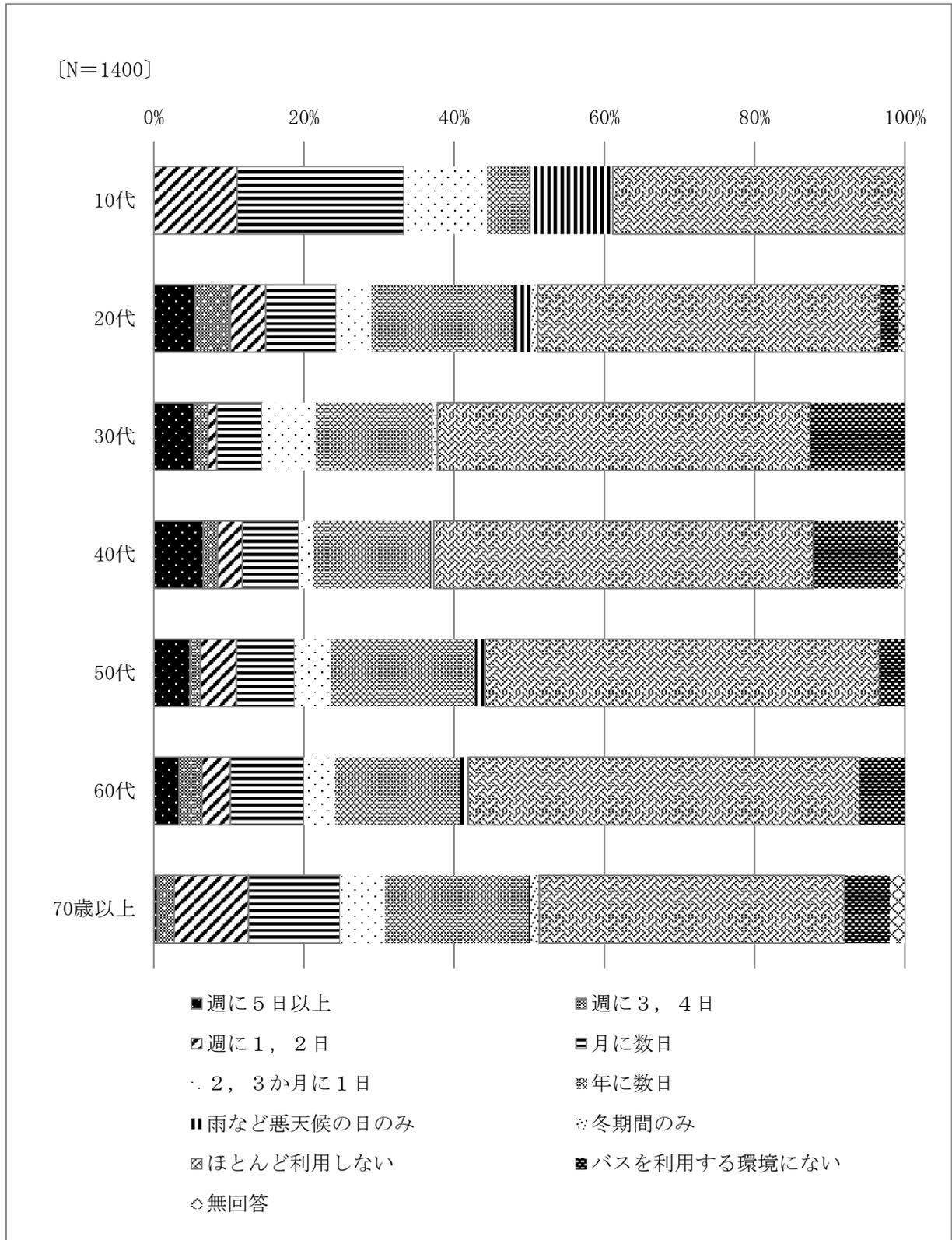
1 週に5日以上	6 年に数日
2 週に3, 4日	7 雨など悪天候の日のみ
3 週に1, 2日	8 冬期間のみ
4 月に数日	9 ほとんど利用しない
5 2, 3か月に1日	10 バスを利用する環境がない

**【全体】**



昭和48年度から平成20年度まで減少傾向であったバス利用者数は、近年増加傾向にある。コロナ禍で、密な環境となりがちなバス利用を敬遠しているという声もある中、約20%の人が月に数日以上バスを利用していることが分かった。バスの利便性向上のため、交通系ICカード対応の車両を増やすことを目指すとともに、70歳以上の高齢者の足となるまちなか・おでかけバスをはじめとした施策についても継続的に推進する。

【年代別】



週に1日以上バスを利用する人については、年代別では大きな差はみられなかった。

「ほとんど利用しない」が70歳以上においては40.7%と他の年代と比較して低くなっており、70歳以上を対象に実施している「まちなか・おでかけパス」事業の効果によるものと推察される。

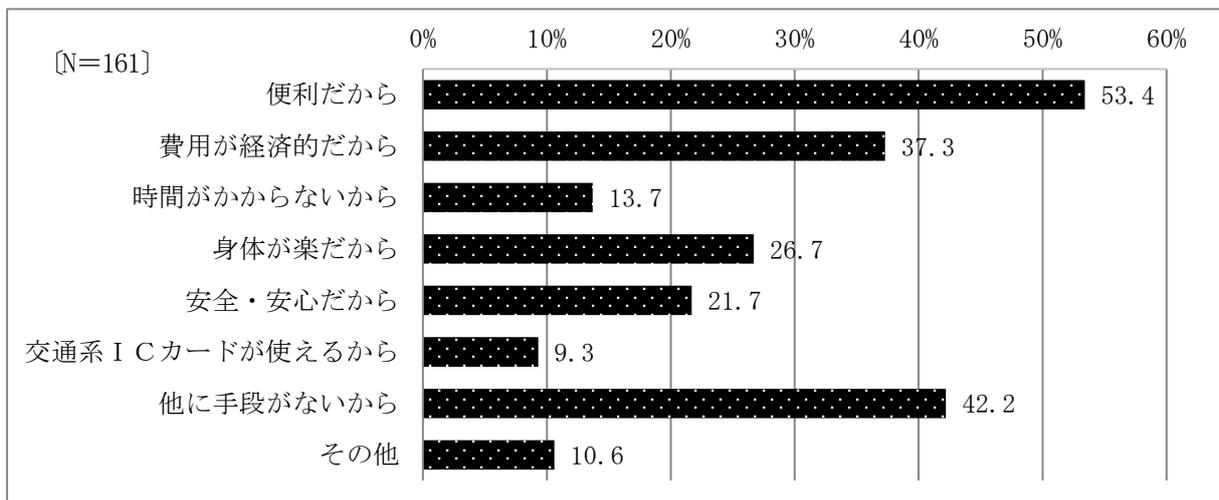
【性別、年代別、地区別の回答数】

			週に5日以上	週に3, 4日	週に1, 2日	月に数日	2, 3か月に1日	年に数日	雨など悪天候の日のみ	冬期間のみ	ほとんど利用しない	バスを利用する環境にない	無回答
	全体	1400	51	33	77	133	69	245	13	7	666	95	11
地区	河北	427	19	11	29	48	21	84	7	1	189	16	2
	河南	207	9	3	18	28	13	34	3	2	78	17	2
	盛南	198	4	5	3	11	11	39	2	0	107	14	2
	厨川	306	15	10	17	34	13	52	0	3	142	18	2
	都南	227	4	4	8	10	9	33	1	1	132	22	3
	玉山	35	0	0	2	2	2	3	0	0	18	8	0
性別	男	601	21	9	22	43	30	101	7	4	317	43	4
	女	799	30	24	55	90	39	144	6	3	349	52	7
年齢	18~19歳	18	0	0	2	4	2	1	2	0	7	0	0
	20~29歳	127	7	6	6	12	6	24	3	1	58	3	1
	30~39歳	167	9	3	2	10	12	26	0	1	83	21	0
	40~49歳	212	14	4	7	16	4	33	1	0	107	24	2
	50~59歳	208	10	3	10	16	10	40	3	0	109	7	0
	60~69歳	265	9	8	10	26	11	44	3	0	138	16	0
	70歳以上	403	2	9	40	49	24	77	1	5	164	24	8

問16【問15で1~3を回答した方にお聞きします。】この回答を選んだ理由をお聞かせください。  
 当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1 便利だから      | 5 安全・安心だから         |
| 2 費用が経済的だから  | 6 交通系 I Cカードが使えるから |
| 3 時間がかからないから | 7 他に手段がないから        |
| 4 身体が楽だから    | 8 その他              |

【全体】



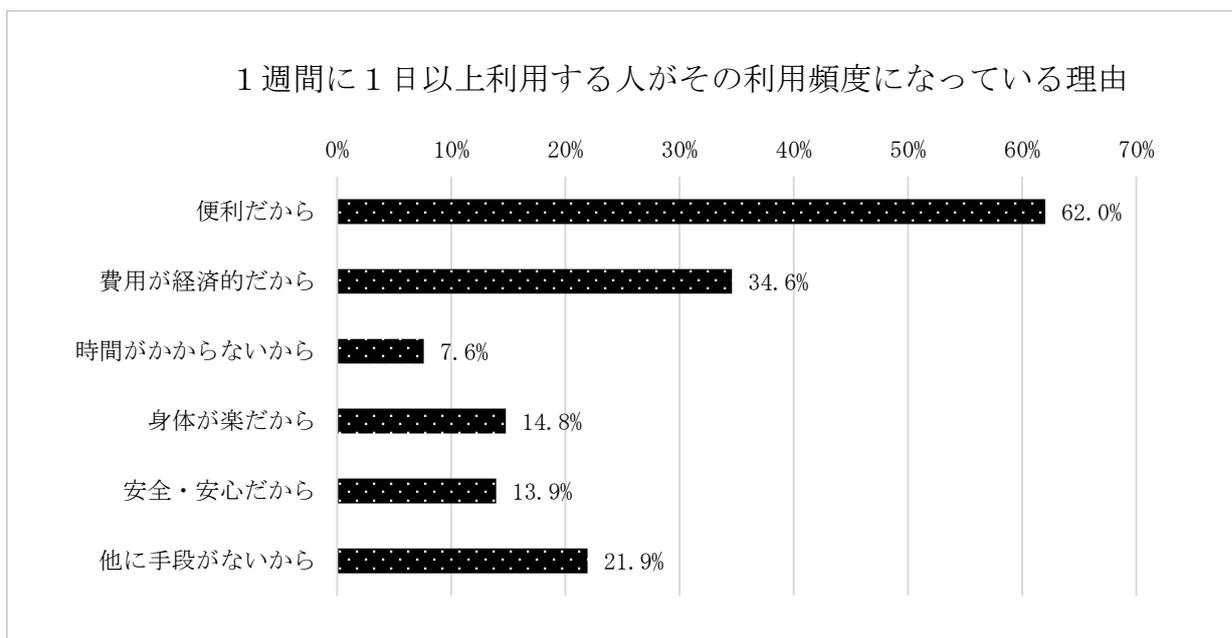
「便利だから」の回答が53.4%となっている一方、「他の手段がないから」の回答が42.2%に達している。公共交通機関としての手段がバスしかない人の割合が高い状況となっている。

平成30年度「公共交通に関する移動に対する市民アンケート調査」では、1週間に1日以上利用する人がその利用頻度になっている理由として、「便利だから」と回答している割合が62.0%となっている。

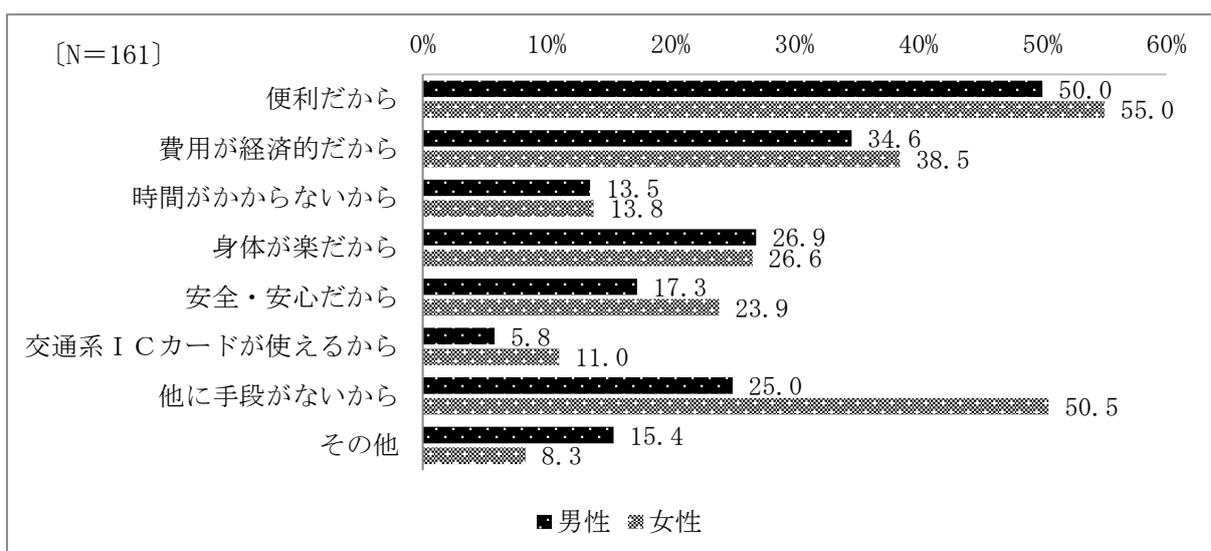
平成30年度のアンケートとは、設問及び選択肢の違いがあることから単純比較はできないものの、今回のアンケートでも日常的にバスを利用している人は、バスに利便性を感じるという肯定的な理由が多いことに変化はないが、平成30年度アンケートと比べて、「他に手段がないから」という消極的な理由での回答が増えている。

今後、消極的な理由でバスを利用している人に対しても、より利便性を感じてもらえるように交通系ICカードの導入推進やバスロケーションシステムの更新整備、バス停上屋の整備などの事業を推進し、誰もが利用しやすい交通環境の構築に取り組んでいく。

【参考】平成30年度「公共交通に関する移動に対する市民アンケート調査」



【性別】



「他の手段がないから」の回答が、女性が50.5%、男性が25.0%と大きな差となっている。今後、公共交通網の形成や再編、サービスの拡充などの取組を進め、自動車交通からの転換による新たな利用や利用回数の増加により公共交通の利用拡大を図る必要がある。

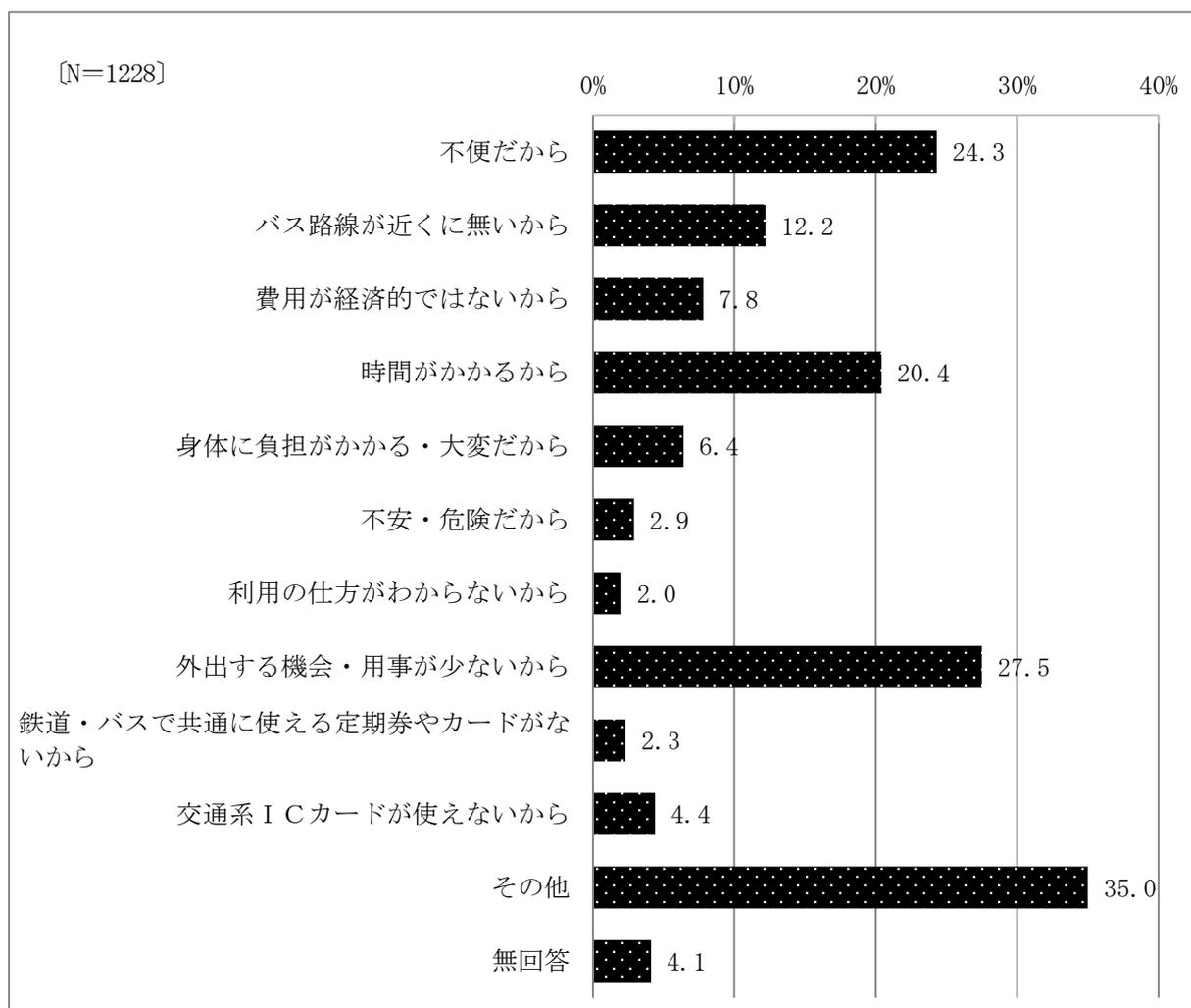
【性別, 年代別, 地区別の回答数】

			便利だから	費用が経済的だから	時間がかからないから	身体が楽だから	安全・安心だから	交通系ICカードが使えるから	他に手段がないから	その他	無回答
	全体	161	86	60	22	43	35	15	68	17	0
地区	河北	59	27	20	7	18	13	7	22	6	0
	河南	30	18	13	7	7	7	3	16	2	0
	盛南	12	7	3	2	3	2	1	2	2	0
	厨川	42	22	18	5	13	10	2	19	5	0
	都南	16	10	5	1	2	3	1	8	2	0
	玉山	2	2	1	0	0	0	1	1	0	0
性別	男	52	26	18	7	14	9	3	13	8	0
	女	109	60	42	15	29	26	12	55	9	0
年齢	18～19歳	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0
	20～29歳	19	7	4	1	4	0	0	14	2	0
	30～39歳	14	5	3	3	4	1	1	6	1	0
	40～49歳	25	13	10	7	7	4	1	10	3	0
	50～59歳	23	11	6	2	6	3	1	8	5	0
	60～69歳	27	16	10	4	11	8	3	7	3	0
	70歳以上	51	32	27	5	11	19	9	22	3	0

**問 17** 【問 15 で 4～10 を回答した方にお聞きします。】 この回答を選んだ理由をお聞かせください。  
 当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1 不便だから           | 7 利用の仕方が分からないから            |
| 2 バス路線が近くに無いから    | 8 外出する機会・用事が少ないから          |
| 3 費用が経済的ではないから    | 9 鉄道・バスで共通に使える定期券やカードがないから |
| 4 時間がかかるから        | 10 交通系 I Cカードが使えないから       |
| 5 身体に負担がかかる・大変だから | 11 その他                     |
| 6 不安・危険だから        |                            |

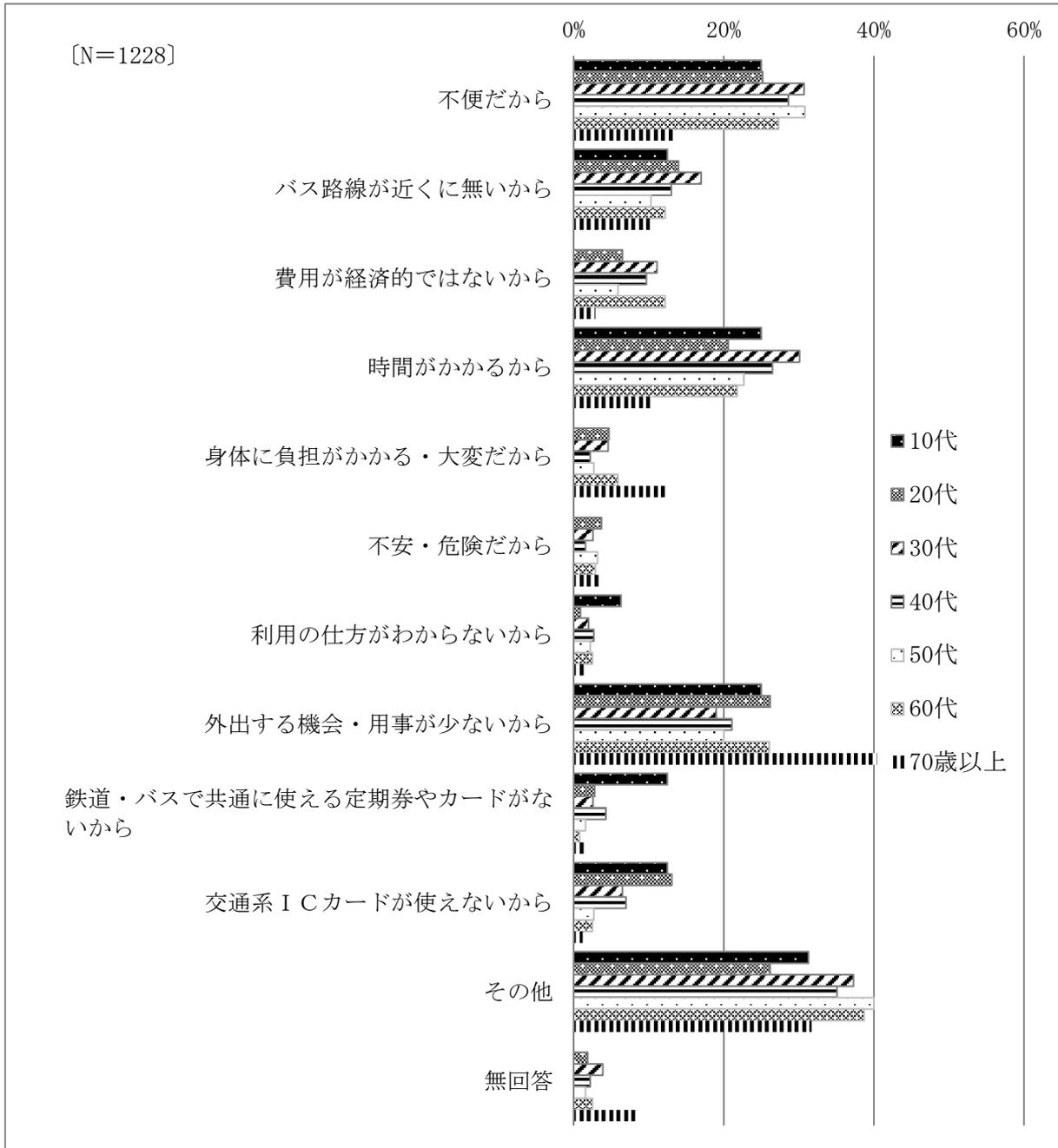
**【全体】**



「その他」の回答が 35.0%と一番高くなっており、具体的な記述として自家用車の利用を挙げている人が多い。続いて「外出する機会・用事が少ないから」との回答が 27.5%、「不便だから」との回答が 24.3%となっている。

公共交通の利用拡大を図るためには、公共交通の満足度の向上や利便性を高めることが必要であることから、路線バス運行の効率化や見直し・再編、サービスの拡充、利用環境整備などに取り組んでいく。

【年代別】



70歳以上で、「身体に負担がかかる・大変だから」が12.5%となっており、他の年代を大きく上回っている。問19、問20の70歳代以上の回答では、普段の買い物や、定期的な通院に利用している交通手段は他の年代と比較してタクシーの利用が多くなっている。このことは、高齢による肉体的・体力的な理由から、バスの乗り降りやバス停までの移動に不便を感じていること等が原因にあると推察される。

盛岡市地域公共交通網形成計画の取組施策として位置付けられている「高齢者の移動への支援」の観点からも、「盛岡市ノンステップバス等導入促進事業」を継続的に進めていくことや、交通空白地を解消する移動手段の確保・導入の事業とも合わせて、タクシー車両やタクシー事業者を活かした移動手段の確保・導入などの検討を行う。

【性別, 年代別, 地区別の回答数】

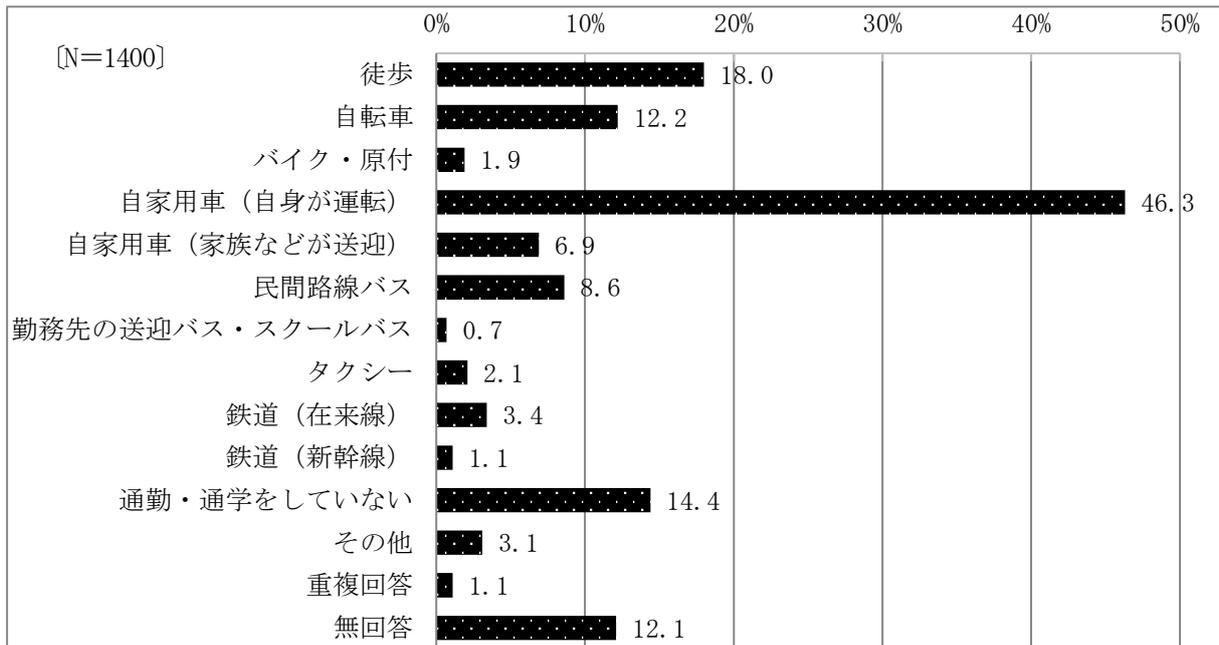
			不便だから	バス路線が近くに無いから	費用が経済的ではないから	時間がかかるから	身体に負担がかかる・大変だから	不安・危険だから	利用の仕方がわからないから	外出する機会・用事が少ないから	鉄道・バスで共通に使える定期券やカードがないから	交通系ICカードが使えないから	その他	無回答
	全体	1228	299	150	96	251	78	36	25	338	28	54	430	50
地区	河北	366	77	31	32	73	22	11	7	112	8	16	133	11
	河南	175	39	23	10	33	7	5	7	45	5	7	63	9
	盛南	184	57	27	9	44	16	8	4	46	4	9	54	11
	厨川	262	45	16	16	42	13	7	4	85	6	8	107	10
	都南	208	72	41	26	54	17	5	2	44	5	13	65	8
	玉山	33	9	12	3	5	3	0	1	6	0	1	8	1
性別	男	545	132	68	46	114	26	10	15	139	13	34	195	22
	女	683	167	82	50	137	52	26	10	199	15	20	235	28
年齢	18～19歳	16	4	2	4	4	0	0	1	4	2	2	5	0
	20～29歳	107	27	15	7	22	5	4	1	28	3	14	28	2
	30～39歳	153	47	26	17	46	7	4	3	29	4	10	57	6
	40～49歳	185	53	24	18	49	4	3	5	39	8	13	65	4
	50～59歳	185	57	19	11	42	5	6	4	37	3	5	74	3
	60～69歳	238	65	29	29	52	14	7	6	62	2	6	92	6
	70歳以上	344	46	35	10	36	43	12	5	139	6	4	109	29

**問18** 通勤・通学に利用している交通手段について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 徒歩            | 7 勤務先の送迎バス・スクールバス |
| 2 自転車           | 8 タクシー            |
| 3 バイク・原付        | 9 鉄道（在来線※）        |
| 4 自家用車（自身が運転）   | 10 鉄道（新幹線）        |
| 5 自家用車（家族などが送迎） | 11 通勤・通学をしていない    |
| 6 民間路線バス        | 12 その他            |

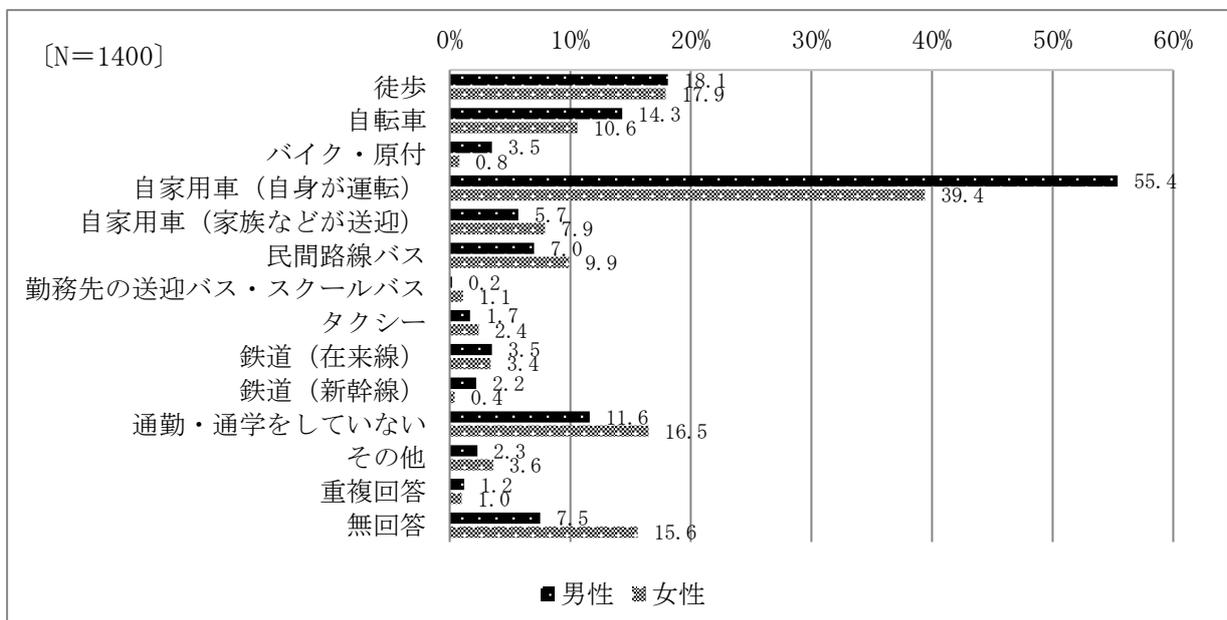
※ JR東北本線、JR田沢湖線、JR山田線、JR花輪線、IGRいわて銀河鉄道線のこと。

**【全体】**



46.3%の人が自家用車を利用しており、公共交通機関を通勤・通学に利用する人はいずれも10%を下回っている。利活用意識の喚起のためモビリティマネジメントの実施や、市民・地元企業・行政によるノーマイカーデーの取組など、公共交通利用促進への協働の取組を推進し、通勤・通学時の渋滞緩和を図り、通勤・通学の手段を自家用車から公共交通機関へスムーズに移行することを目指す。

**【性別】**



男女とも「自家用車（自身が運転）」と回答した人が多く、また男性が女性を大きく上回っている。

平成30年5月に株式会社プラネットが公表した「車に関する意識調査」において、「自分の車を利用している」と回答した男性の数値（66.1%）が女性を大きく上回り33.4ポイント差になっている。一方で、「家族の車を利用している」と回答したのは女性（36.4%）の方が25.0ポイント高くなっている。この結果より、この意識調査では「男性は自分の所有する車に乗り、女性は配偶者・パートナーや親など、おそらく男性が所有する車を利用している人が多いと考えられる」と分析している。

このことから、男性の方が自家用車を自由に使用できる状況にあると考えられることから、個人の意識に働きかけて自発的な行動の転換を促していくモビリティマネジメントに取り組む。実施にあたっては、利用者層や利用環境、条件が異なる職場や地区単位別など、ターゲットを明確にし、公共交通の利用に関する情報の提供を行いながら、移動や交通手段の選択について考え、実際の行動につながるようモビリティマネジメント施策の展開について検討を行う。

【性別、年代別、地区別の回答数】①

		徒歩	自転車	バイク・原付	自家用車（自身が運転）	自家用車（家族などが送迎）	民間路線バス	勤務先の送迎バス・スクールバス	タクシー	
	全体	1400	252	171	27	648	97	121	10	29
地区	河北	427	98	52	8	167	31	45	8	11
	河南	207	46	34	5	79	24	25	0	6
	盛南	198	30	23	5	112	13	12	0	4
	厨川	306	53	42	7	141	13	29	1	5
	都南	227	20	19	2	131	16	9	0	2
	玉山	35	5	1	0	18	0	1	1	1
性別	男	601	109	86	21	333	34	42	1	10
	女	799	143	85	6	315	63	79	9	19
年齢	18～19歳	18	7	10	0	4	6	5	3	0
	20～29歳	127	48	39	3	64	15	21	3	3
	30～39歳	167	36	27	0	109	9	15	0	3
	40～49歳	212	49	22	4	143	11	24	0	4
	50～59歳	208	47	26	9	124	9	19	1	1
	60～69歳	265	37	31	6	125	21	26	1	5
	70歳以上	403	28	16	5	79	26	11	2	13

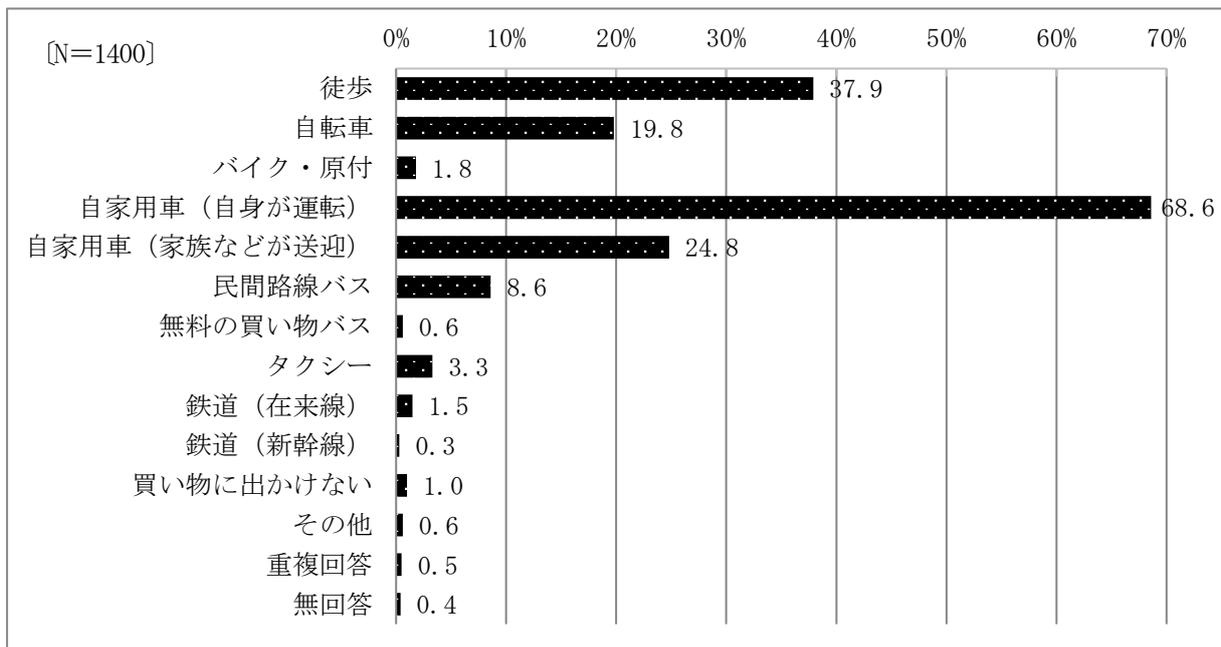
【性別，年代別，地区別の回答数】②

			鉄道 (在来線)	鉄道 (新幹線)	通勤・通学をしていない	その他	重複回答	無回答
	全体	1400	48	16	202	43	15	170
地区	河北	427	8	3	60	16	4	61
	河南	207	1	2	28	6	2	23
	盛南	198	5	3	33	4	2	18
	尉川	306	25	7	40	9	5	37
	都南	227	8	1	37	3	2	26
	玉山	35	1	0	4	5	0	5
性別	男	601	21	13	70	14	7	45
	女	799	27	3	132	29	8	125
年齢	18～19歳	18	4	1	1	0	0	0
	20～29歳	127	12	1	5	3	1	1
	30～39歳	167	5	3	11	1	0	2
	40～49歳	212	4	2	19	1	1	2
	50～59歳	208	11	5	23	3	0	0
	60～69歳	265	6	1	52	5	2	25
	70歳以上	403	6	3	91	30	11	140

**問 19** 普段の買い物の際に利用している交通手段について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

1 徒歩	7 無料の買い物バス
2 自転車	8 タクシー
3 バイク・原付	9 鉄道（在来線）
4 自家用車（自身が運転）	10 鉄道（新幹線）
5 自家用車（家族などが送迎）	11 買い物に出かけない
6 民間路線バス	12 その他

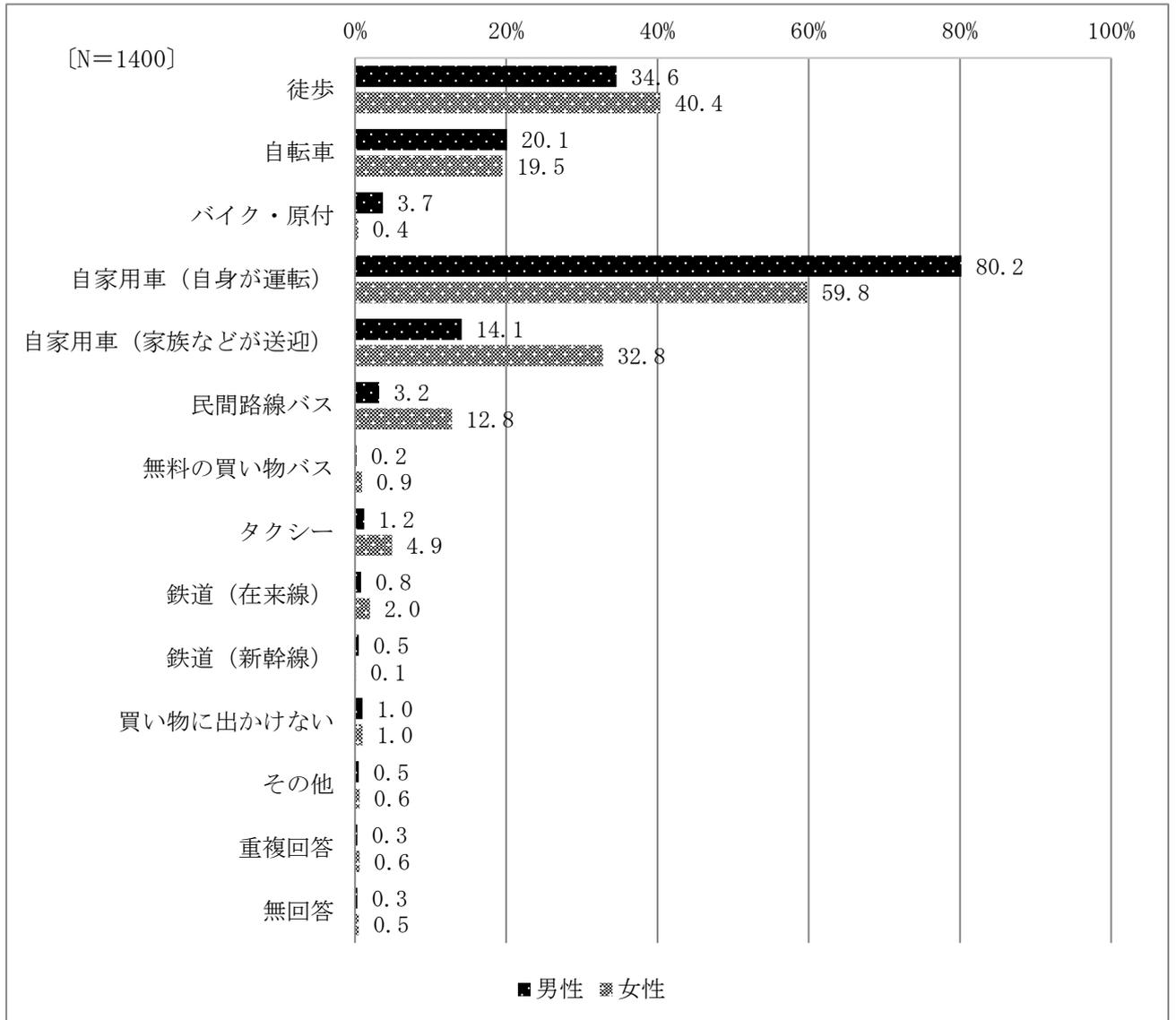
**【全体】**



「自家用車(自身が運転)」の回答が68.6%と一番高く、「通勤・通学」や「定期的な通院」での自家用車利用を上回っている。これは自家用車を利用する時間が他の目的より自由に設定できるためと推察される。

そのため、自家用車から公共交通機関への利用転換は、他の目的と比較するとより難しいと考えられるが、市民が暮らしの中で自発的に公共交通を選択して利活用することを目標に、「バスの日まつりの開催」や「利用体験会などの開催」、「イベント開催時における公共交通利用の働きかけ」などを実施し、公共交通への関心・理解の向上、利活用意識の喚起を図るとともに、利便性を高めるサービスの改善として、「交通系ICカード」の普及促進、「バスロケーションシステムの更新整備」、「バス停上屋整備や周辺の駐輪場整備」、「まちなか・おでかけバスの継続実施」などの各種施策に取り組んでいく。

【性別】



「自家用車（自身が運転）」の回答が男性で 80.2%となっており、女性の 59.8%より高くなっている。また「自家用車（家族などが送迎）」の割合が、男性が 14.1%であるのに対して、女性が 32.8%となっており、家族単位では男性が運転する役割の場合が多いと考えられる。誰もが利用しやすい交通環境の構築を図るため、交通系 IC カードの導入やバスロケーションシステムの更新、ノンステップバス導入の施策を進め、利用者の利便性向上を図る。

【性別，年代別，地区別の回答数】①

			徒歩	自転車	バイク・原付	自家用車 (自身が運転)	自家用車 (家族などが送迎)	民間路線バス	無料の買い物バス	タクシー
	全体	1400	531	277	25	960	347	121	8	46
地区	河北	427	203	75	9	269	100	52	3	21
	河南	207	83	46	2	132	60	26	2	9
	盛南	198	64	37	3	148	55	6	0	5
	厨川	306	124	82	9	212	64	25	2	5
	都南	227	51	34	2	174	55	9	1	5
	玉山	35	6	3	0	25	13	3	0	1
性別	男	601	208	121	22	482	85	19	1	7
	女	799	323	156	3	478	262	102	7	39
年齢	18～19歳	18	11	10	0	8	9	4	0	1
	20～29歳	127	54	36	4	82	41	10	1	2
	30～39歳	167	52	22	2	135	40	7	0	1
	40～49歳	212	76	37	3	185	42	14	2	3
	50～59歳	208	80	49	6	166	36	16	2	2
	60～69歳	265	87	51	3	203	56	19	0	3
	70歳以上	403	171	72	7	181	123	51	3	34

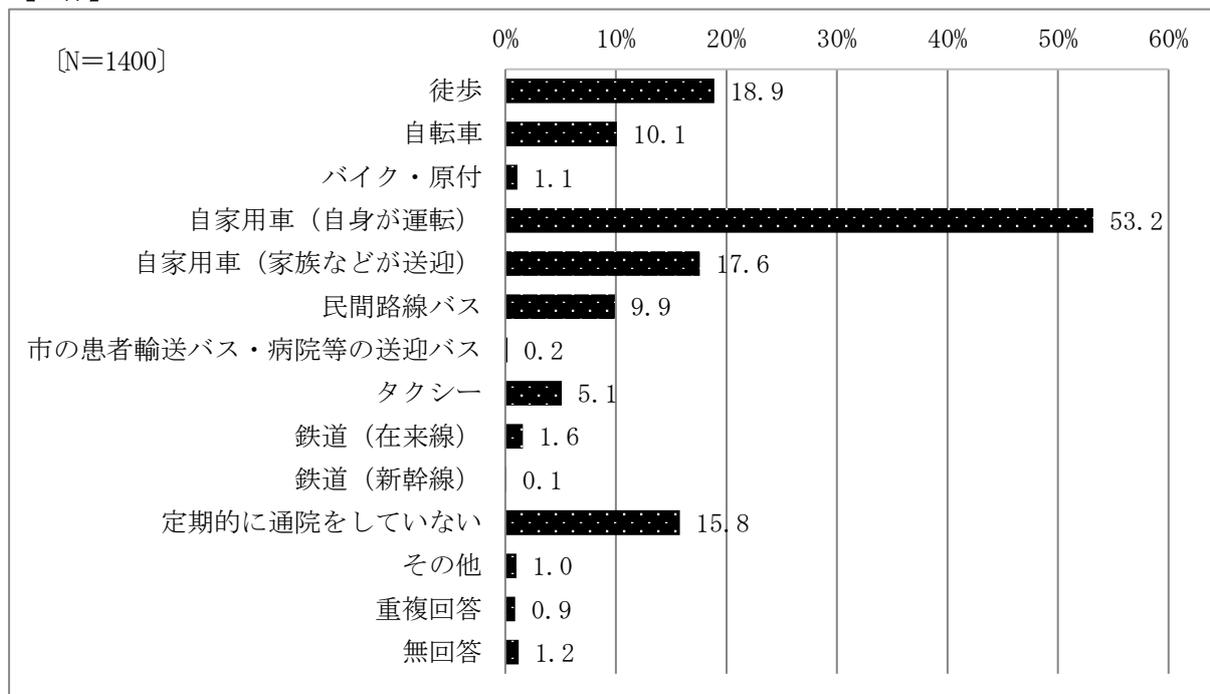
【性別，年代別，地区別の回答数】②

			鉄道 (在来線)	鉄道 (新幹線)	買い物に出かけない	その他	重複回答	無回答
	全体	1400	21	4	14	8	7	6
地区	河北	427	3	3	4	1	4	1
	河南	207	2	1	3	1	0	1
	盛南	198	0	0	1	3	0	3
	厨川	306	9	0	3	2	1	0
	都南	227	4	0	1	1	2	1
	玉山	35	3	0	2	0	0	0
性別	男	601	5	3	6	3	2	2
	女	799	16	1	8	5	5	4
年齢	18～19歳	18	3	0	0	0	0	0
	20～29歳	127	1	1	0	1	0	1
	30～39歳	167	2	0	0	0	0	1
	40～49歳	212	2	0	0	0	0	0
	50～59歳	208	4	1	0	0	0	0
	60～69歳	265	3	0	2	0	0	0
	70歳以上	403	6	2	12	7	7	4

**問 20** 定期的な通院に利用している交通手段について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

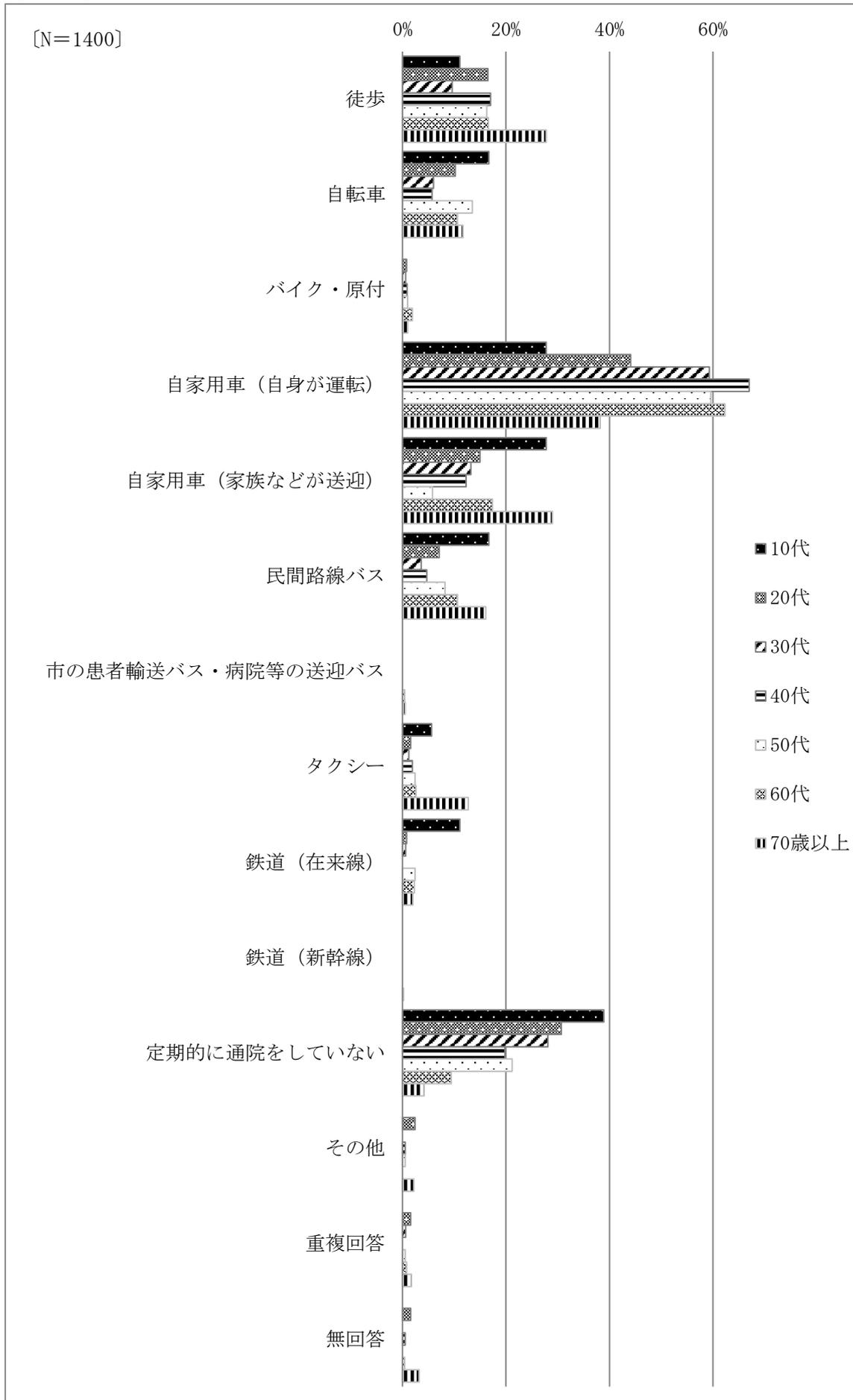
- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 徒歩            | 7 市の患者輸送バス・病院等の送迎バス |
| 2 自転車           | 8 タクシー              |
| 3 バイク・原付        | 9 鉄道（在来線）           |
| 4 自家用車（自身が運転）   | 10 鉄道（新幹線）          |
| 5 自家用車（家族などが送迎） | 11 定期的に通院をしていない     |
| 6 民間路線バス        | 12 その他              |

**【全体】**



通勤・通学、普段の買い物と同様に「自家用車（自身が運転）」が 53.2%と高くなっている。一方、バス・タクシーの利用について、通勤・通学、普段の買い物と比較して一定の利用があるため、公共交通網の再編や利便性を高める必要があると考える。

【年代別】



民間路線バスの利用について、70歳以上が16.1%と他の年代より割合が高くなっている。70歳以上を対象に実施している「まちなか・おでかけパス」事業により通院している人も多くいることから、今後も同事業の継続実施に取り組んでいく。

【性別、年代別、地区別の回答数】①

			徒歩	自転車	バイク・原付	自家用車 (自身が運転)	自家用車 (家族などが送迎)	民間路線バス	市の患者輸送バス・病院等の送迎バス	タクシー
	全体	1400	265	141	15	745	247	138	3	72
地区	河北	427	113	40	4	207	65	51	1	24
	河南	207	51	31	3	96	41	25	0	14
	盛南	198	25	14	2	116	36	8	0	10
	厨川	306	51	36	6	161	48	35	1	15
	都南	227	19	18	0	146	44	15	1	8
	玉山	35	6	2	0	19	13	4	0	1
性別	男	601	106	64	13	372	68	30	1	21
	女	799	159	77	2	373	179	108	2	51
年齢	18～19歳	18	2	3	0	5	5	3	0	1
	20～29歳	127	21	13	1	56	19	9	0	2
	30～39歳	167	16	10	1	99	22	6	0	2
	40～49歳	212	36	12	2	142	26	10	0	4
	50～59歳	208	34	28	2	124	12	17	0	5
	60～69歳	265	44	28	5	165	46	28	1	7
	70歳以上	403	112	47	4	154	117	65	2	51

【性別，年代別，地区別の回答数】②

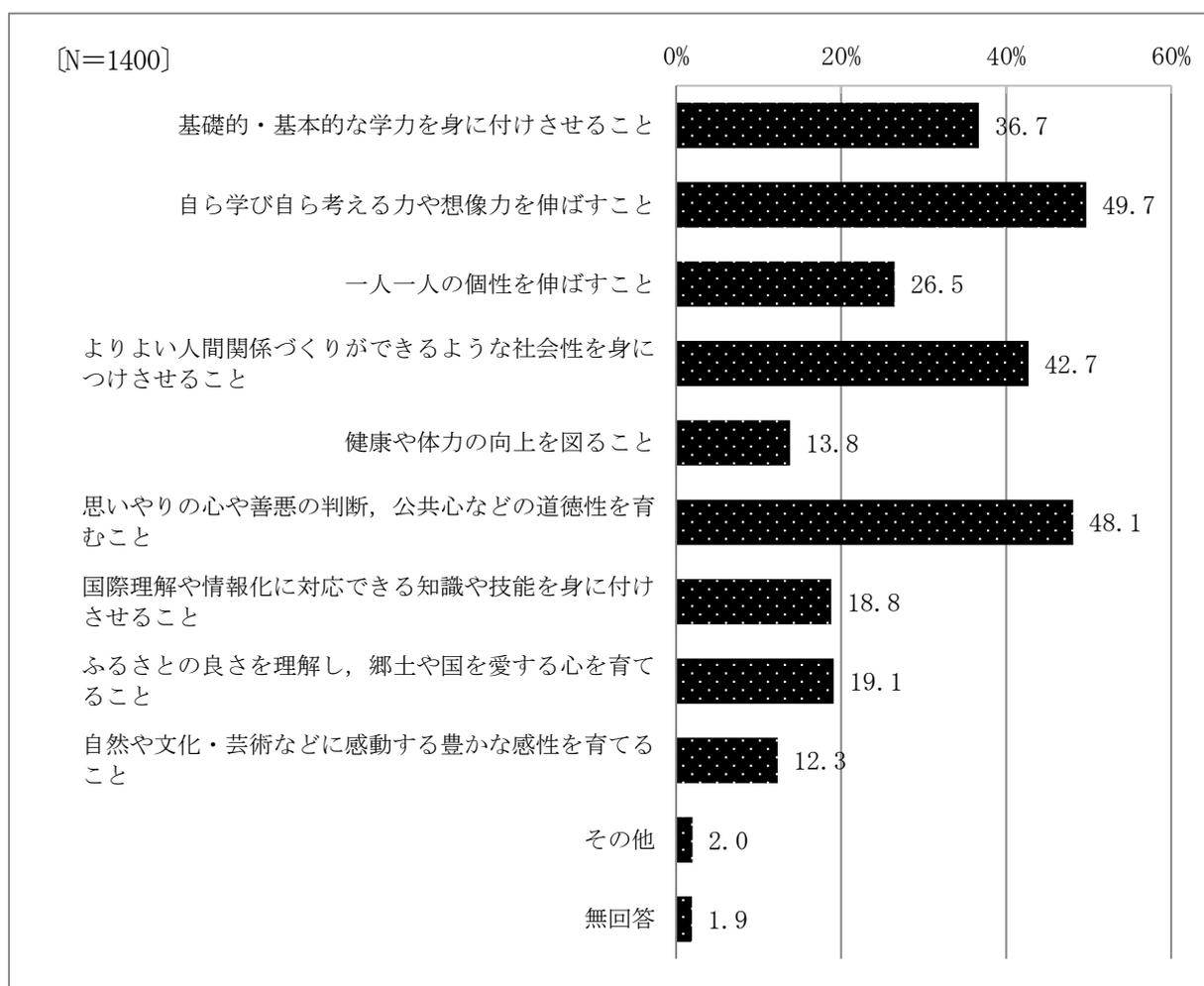
			鉄道 (在来線)	鉄道 (新幹線)	定期的に通院をしていない	その他	重複回答	無回答
	全体	1400	23	1	221	14	13	17
地区	河北	427	4	1	70	4	3	6
	河南	207	3	0	32	0	4	0
	盛南	198	1	0	34	2	2	4
	厨川	306	9	0	50	4	2	4
	都南	227	4	0	29	4	2	3
	玉山	35	2	0	6	0	0	0
性別	男	601	5	0	105	7	6	7
	女	799	18	1	116	7	7	10
年齢	18～19歳	18	2	0	7	0	0	0
	20～29歳	127	1	0	39	3	2	2
	30～39歳	167	1	0	47	0	1	0
	40～49歳	212	0	0	42	1	0	1
	50～59歳	208	5	0	44	1	1	0
	60～69歳	265	6	0	25	0	2	1
	70歳以上	403	8	1	17	9	7	13

《テーマ4 教育について》

**問 21** これからの盛岡を担う人材を育成するため、教育ではどのようなことを大切にすべきと考えますか。最も当てはまるものに**3つまで○**を付けてください。

- 1 基礎的・基本的な学力を身に付けさせること
- 2 自ら学び自ら考える力や創造力を伸ばすこと
- 3 一人一人の個性を伸ばすこと
- 4 よりよい人間関係づくりができるような社会性を身に付けさせること
- 5 健康や体力の向上を図ること
- 6 思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと
- 7 国際理解や情報化に対応できる知識や技能を身に付けさせること
- 8 ふるさとの良さを理解し、郷土や国を愛する心を育てること
- 9 自然や文化・芸術などに感動する豊かな感性を育てること
- 10 その他

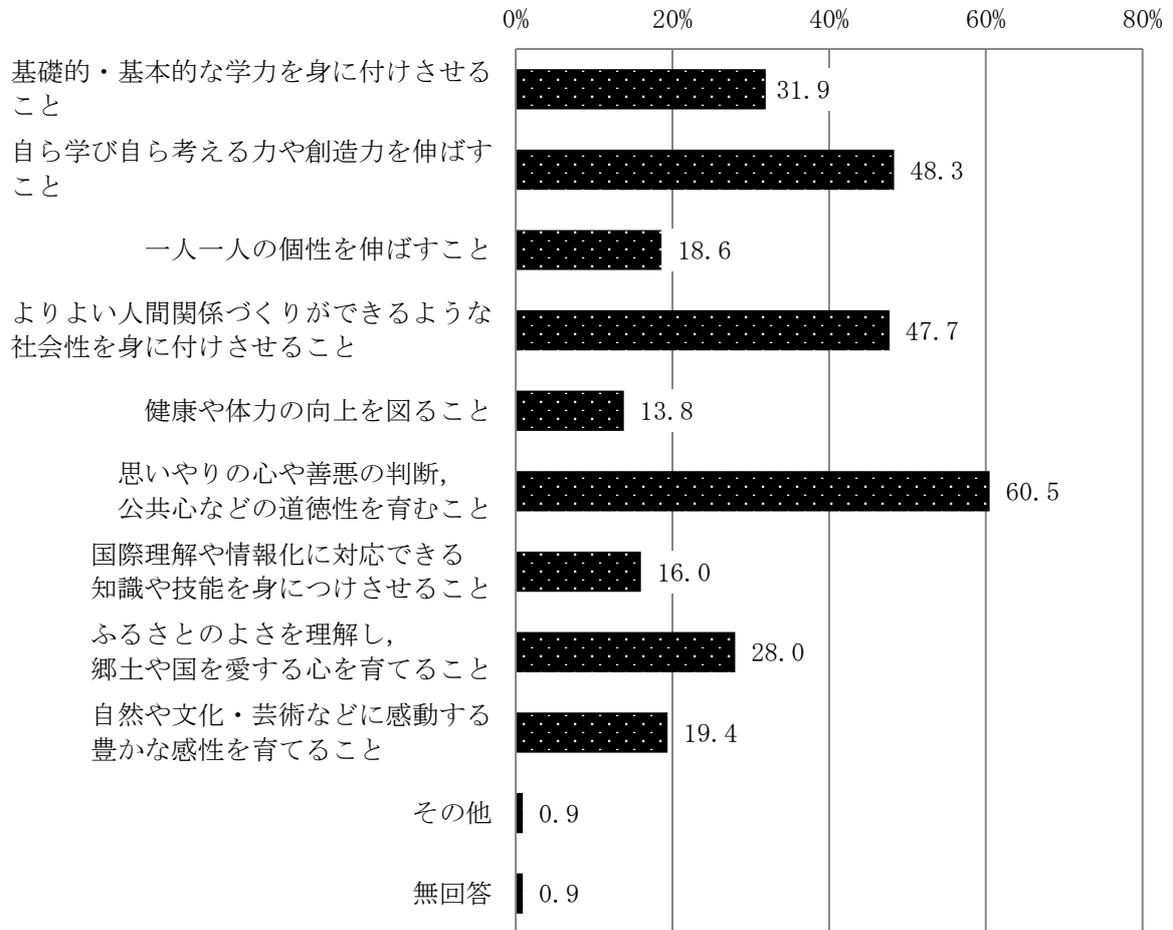
**【全体】**



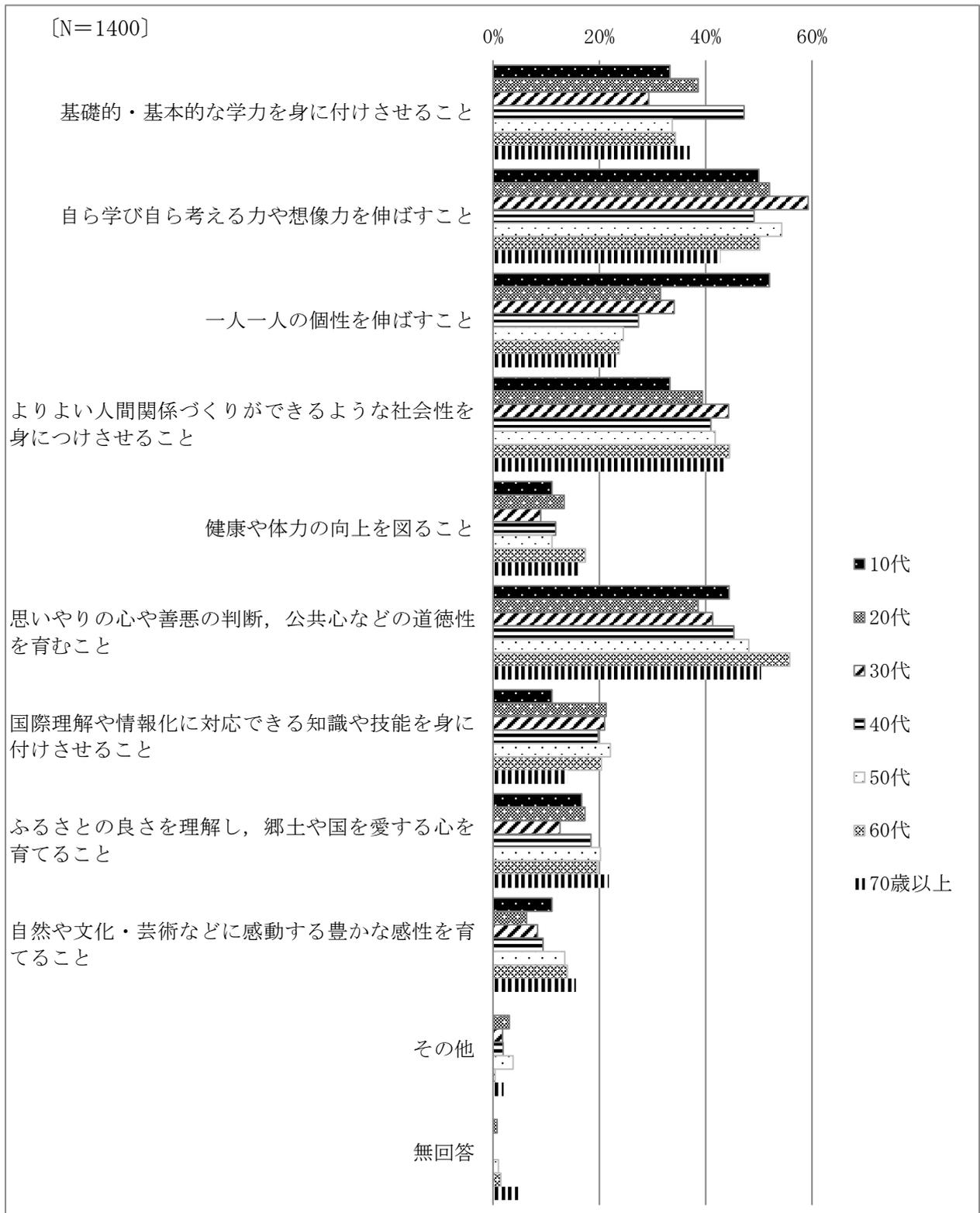
平成 25 年度の市民意識調査では、「思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと」が 60.5%と最も高かったが、今回は「自ら学び自ら考える力や想像力を伸ばすこと」が 49.7%で最も高かった。このことから、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視して授業を改善し、思考力や想像力を育むとともに、自分ごととして「考え、議論する」授業を通して道徳性を育むことができるような取組が求められていると考えられる。

(参考) 平成 25 年度市民意識調査

[N=2099]



【年代別】



10代の回答では、個性や考える力、想像力を伸ばす教育を重視していることが分かり、50.0%と最も高かった。40代は47.2%の人が基礎的な学力を重視しており、他世代よりも10~20ポイント程度高く、60代以上は道徳性を重視していることが分かった。

実際に教育を受ける子どもと親、それ以外の世代では重要視する項目が違うことが考えられる。施策の実施に当たっては、一人一人の個性を大切に、自ら学び考える力や想像力を伸ばす教育に取り組みながらも、基礎的な学力は落とさないよう、バランスの取れた教育を行う必要があると考えられる。

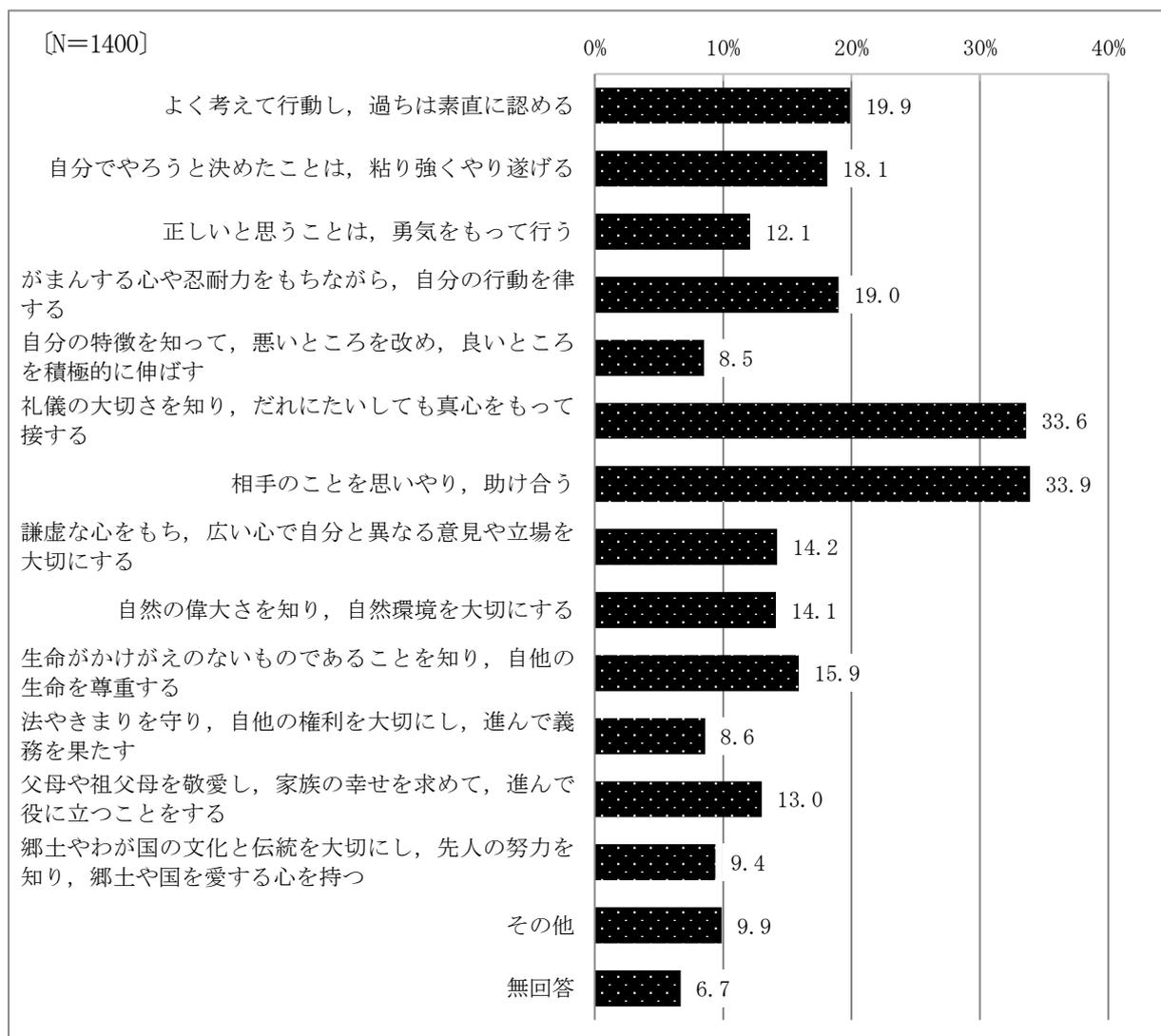
【性別，年代別，地区別の回答数】

			基礎的・基本的な学力を身に付けさせること	自ら学び自ら考える力や想像力を伸ばすこと	一人一人の個性を伸ばすこと	よりよい人間関係づくりができるような社会性を身につけさせること	健康や体力の向上を図ること	思いやりの心や善悪の判断，公共心などの道徳性を育むこと	国際理解や情報化に対応できる知識や技能を身に付けさせること	ふるさとの良さを理解し，郷土や国を愛する心を育てること	自然や文化・芸術などに感動する豊かな感性を育てること	その他	無回答
	全体	1400	514	696	371	598	193	673	263	267	172	28	26
地区	河北	427	153	210	121	194	55	203	81	80	70	12	7
	河南	207	78	107	41	87	28	99	41	32	25	4	5
	盛南	198	64	100	40	82	28	94	36	41	18	5	6
	厨川	306	111	150	91	127	46	147	60	55	36	5	5
	都南	227	99	109	66	95	30	114	37	47	20	2	3
	玉山	35	9	20	12	13	6	16	8	12	3	0	0
性別	男	601	215	306	163	243	77	269	123	134	68	12	9
	女	799	299	390	208	355	116	404	140	133	104	16	17
年齢	18～19歳	18	6	9	9	6	2	8	2	3	2	0	0
	20～29歳	127	49	66	40	50	17	49	27	22	8	4	1
	30～39歳	167	49	99	57	74	15	69	35	21	14	3	0
	40～49歳	212	100	104	58	87	25	96	42	39	20	4	0
	50～59歳	208	70	113	51	87	23	100	46	42	28	8	2
	60～69歳	265	91	133	63	118	46	148	54	52	37	1	4
	70歳以上	403	149	172	93	176	65	203	57	88	63	8	19

**問22** 子どもの「心の教育」について、盛岡の子どもたちのよいと思われる点は何ですか。最も当てはまるものに3つまで○を付けてください。

- 1 よく考えて行動し、過ちは素直に認める
- 2 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる
- 3 正しいと思うことは、勇気をもって行う
- 4 がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する
- 5 自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす
- 6 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する
- 7 相手のことを思いやり、助け合う
- 8 謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする
- 9 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする
- 10 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する
- 11 法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす
- 12 父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする
- 13 郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ
- 14 その他

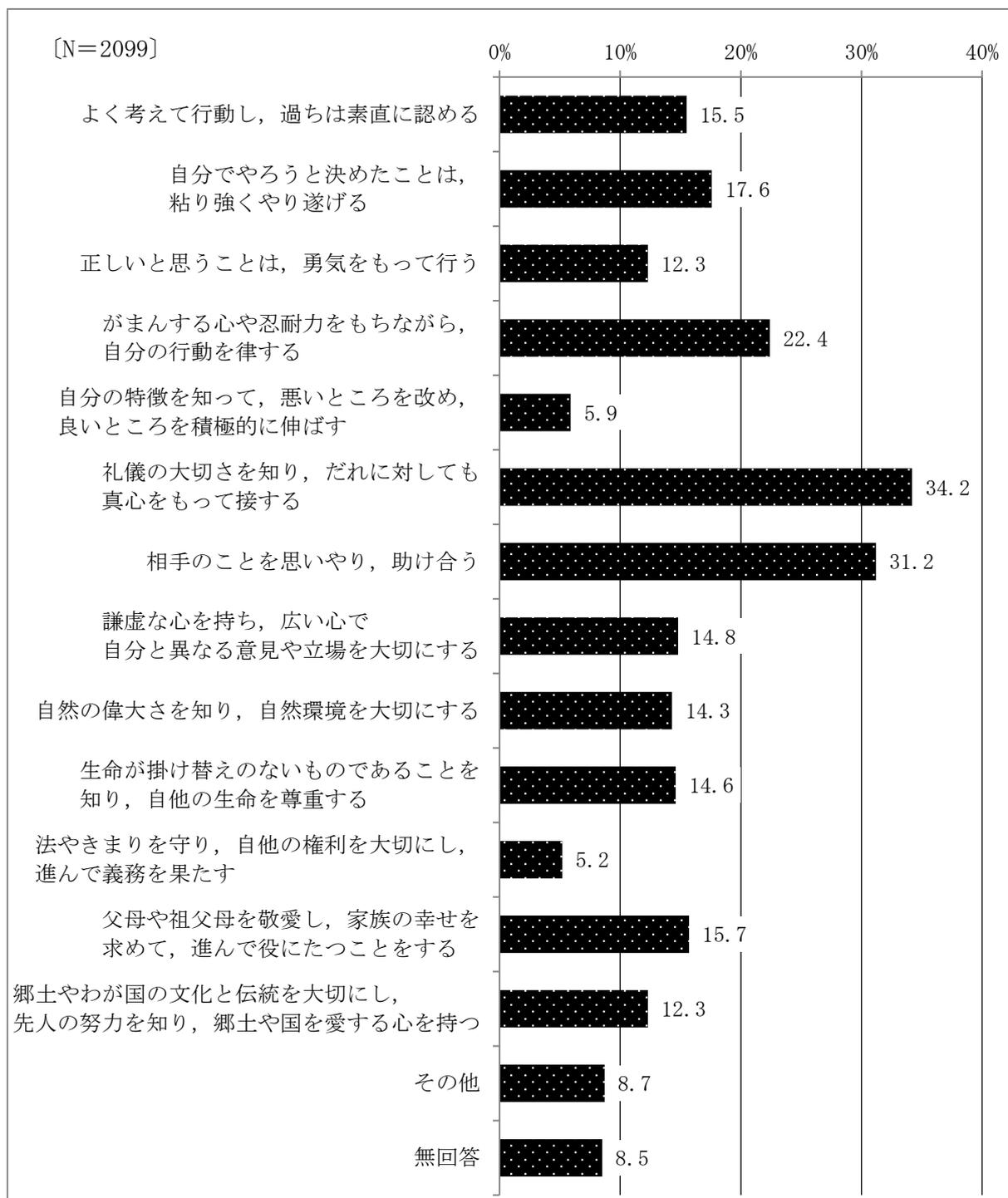
**【全体】**



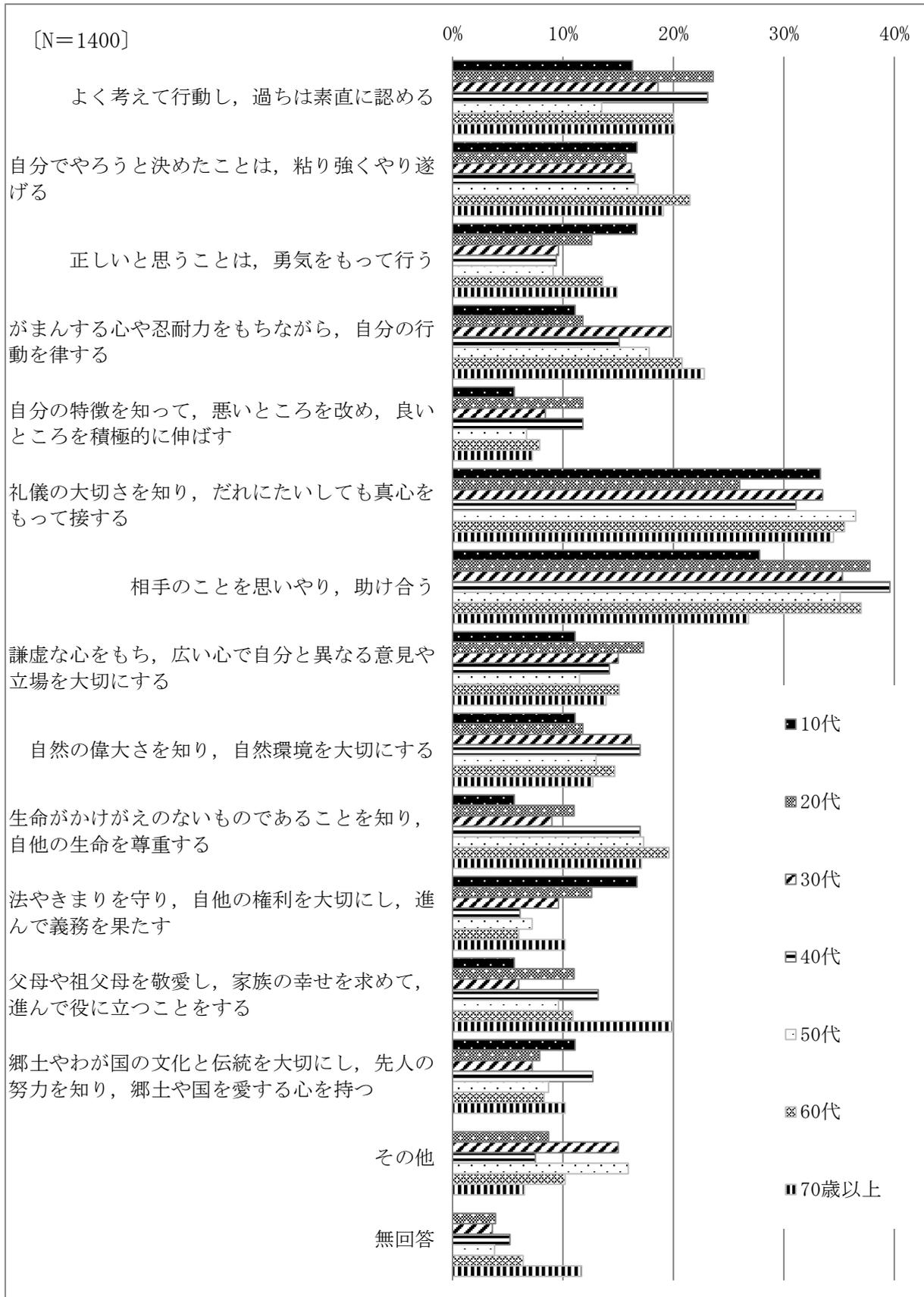
「相手のことを思いやり，助け合う」が33.9%と最も高く，次いで「礼儀の大切さを知り，だれにたいしても真心をもって接する」が33.6%，「よく考えて行動し，過ちは素直に認める」が19.9%であった。

平成25年度の市民意識調査では，「礼儀の大切さを知り，誰に対しても真心をもって接する」が34.2%，次いで「相手のことを思いやり，助け合う」が31.2%と，今回の調査と似たような結果となっており，他者との関わり方に関する項目が，盛岡の子どもたちのよいところと認識されている。

(参考) 平成25年度市民意識調査



【年代別】



全ての年代で、「礼儀の大切さを知り、だれにたいしても真心をもって接する」と「相手のことを思いやり、助け合う」の割合が高く、世代を問わず、礼儀正しさや他者への思いやりが盛岡の子どもたちのよさと認識されている。

【性別, 年代別, 地区別の回答数】①

			よく考えて行動し、過ちは素直に認める	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる	正しいと思うことは、勇気をもって行う	がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する	自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす	礼儀の大切さを知り、だれにたいしても真心をもって接する	相手のことを思いやり、助け合う
	全体	1400	278	254	170	266	119	470	475
地区	河北	427	73	80	52	83	42	132	147
	河南	207	45	41	24	39	19	72	72
	盛南	198	39	26	17	38	12	60	63
	厨川	306	63	60	39	57	23	119	108
	都南	227	52	37	35	41	19	79	77
	玉山	35	6	10	3	8	4	8	8
性別	男	601	129	124	74	124	53	220	194
	女	799	149	130	96	142	66	250	281
年齢	18～19歳	18	6	3	3	2	1	6	5
	20～29歳	127	30	20	16	15	15	33	48
	30～39歳	167	31	27	16	33	14	56	59
	40～49歳	212	49	35	20	32	25	66	84
	50～59歳	208	28	35	19	37	14	76	73
	60～69歳	265	53	57	36	55	21	94	98
	70歳以上	403	81	77	60	92	29	139	108

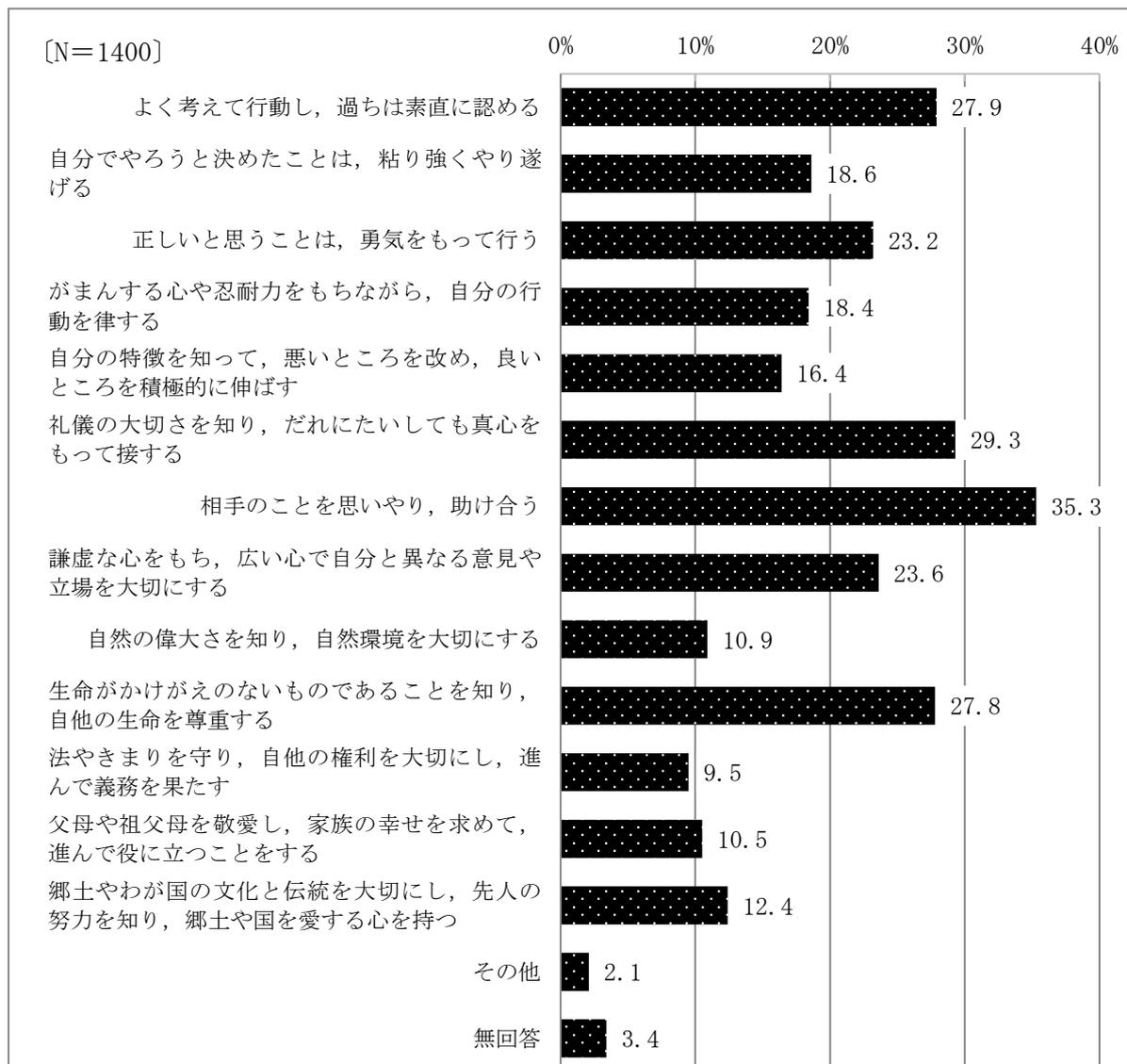
【性別、年代別、地区別の回答数】②

			謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に する	自然の偉大さを知り、自然環境を大切に する	生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重 する	法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果 たす	父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立 つことをする	郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷 土や国を愛する心を持つ	その他	無回答
	全体	1400	199	197	223	120	182	132	138	94
地区	河北	427	61	60	58	38	58	42	42	38
	河南	207	31	32	34	17	23	27	18	12
	盛南	198	29	25	42	18	27	15	20	16
	厨川	306	44	41	50	28	45	27	31	13
	都南	227	27	30	35	19	25	19	23	12
	玉山	35	7	9	4	0	4	2	4	3
性別	男	601	92	79	76	73	92	62	49	26
	女	799	107	118	147	47	90	70	89	68
年齢	18～19歳	18	2	2	1	3	1	2	0	0
	20～29歳	127	22	15	14	16	14	10	11	5
	30～39歳	167	25	27	15	16	10	12	25	6
	40～49歳	212	30	36	36	13	28	27	16	11
	50～59歳	208	24	27	36	15	20	18	33	8
	60～69歳	265	40	39	52	16	29	22	27	17
	70歳以上	403	56	51	69	41	80	41	26	47

**問 23** 盛岡の子どもたちに身に付けさせたいと思われる点は何ですか。最も当てはまるものに3つまで○を付けてください。

- 1 よく考えて行動し、過ちは素直に認める
- 2 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる
- 3 正しいと思うことは、勇気をもって行う
- 4 がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する
- 5 自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす
- 6 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する
- 7 相手のことを思いやり、助け合う
- 8 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする
- 9 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする
- 10 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する
- 11 法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす
- 12 父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする
- 13 郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ
- 14 その他

**【全体】**

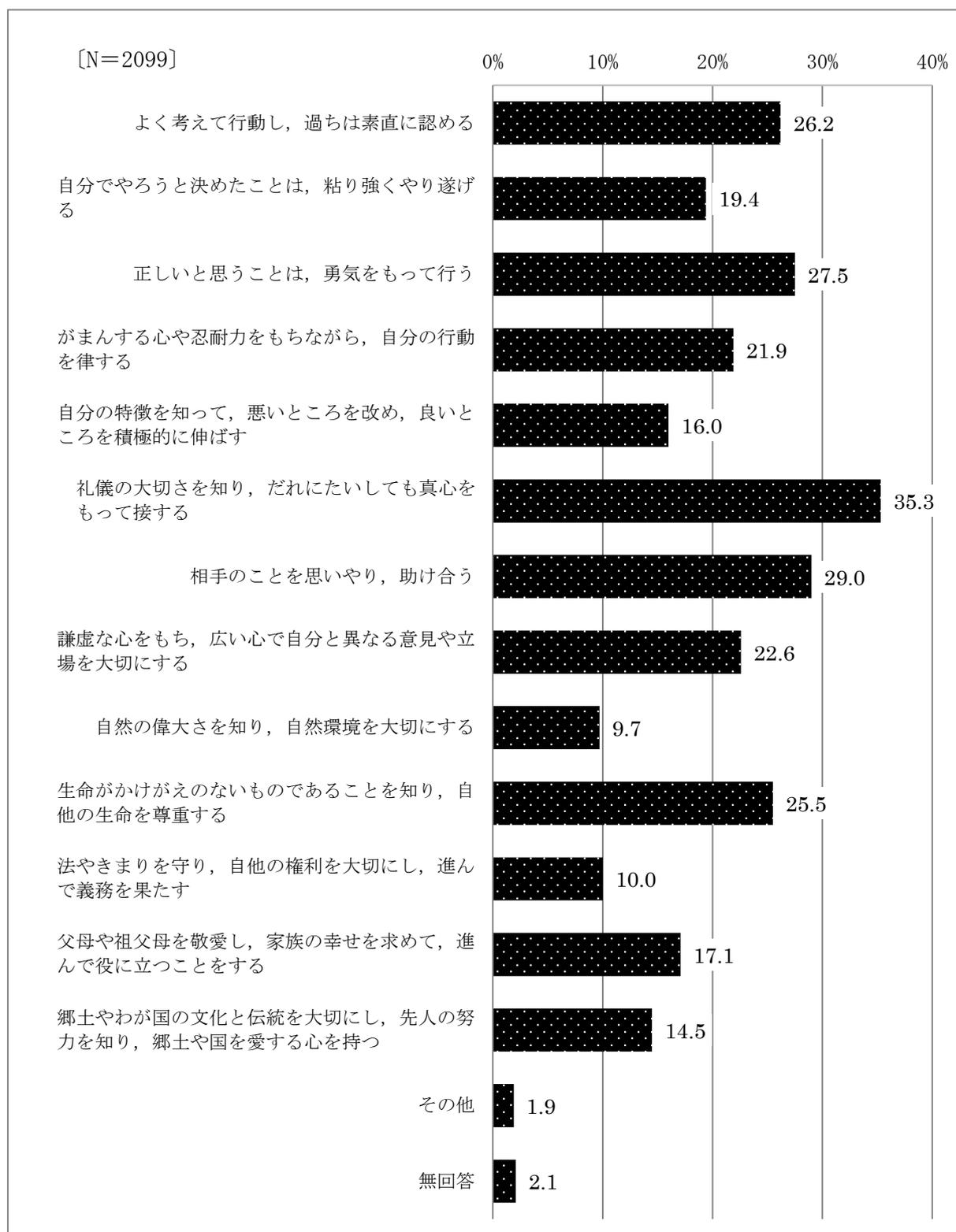


「相手のことを思いやり，助け合う」が35.3%と最も高く，次いで「礼儀の大切さを知り，だれにたいしても真心をもって接する」が29.3%，「よく考えて行動し，過ちは素直に認める」が27.9%であった。

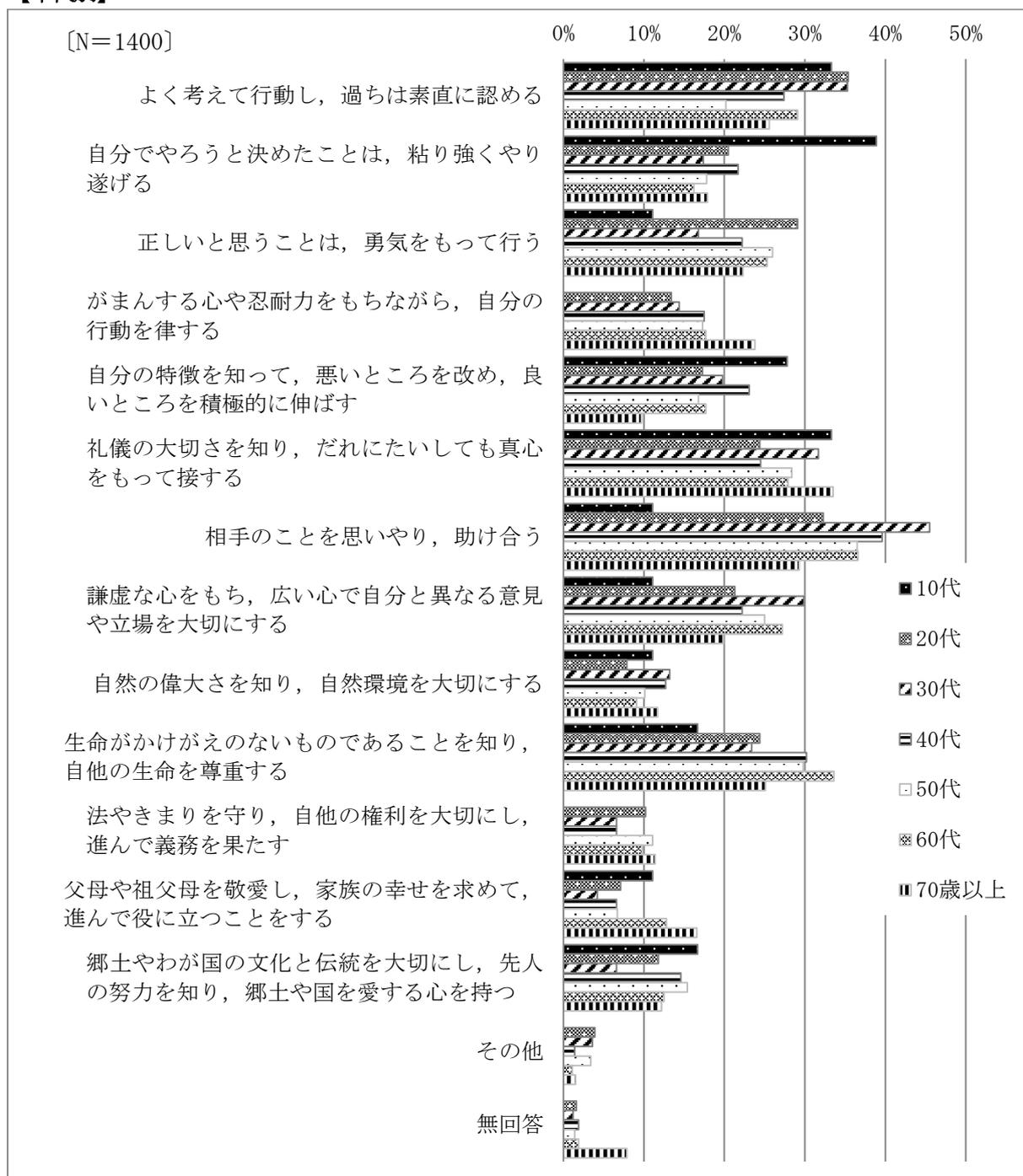
これは，設問22の盛岡の子どもたちのよいと思われる点の上位3つと一致しており，盛岡の子どもたちのよいところを好意的に捉えていると考えられる。

なお，平成25年度の市民意識調査では「礼儀の大切さを知り，だれに対しても真心をもって接する」が35.3%と最も高く，次いで，「相手のことを思いやり，助け合う」が29.0%と順位は違うものの，同様の項目が上位に入っていた。

(参考) 平成25年度市民意識調査



【年代別】



20代から60代では、全体の回答分布と同様の傾向が見られた。一方、10代では、「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる」が38.9%で最も高く、70代では「礼儀の大切さを知り、だれにたいしても真心をもって接する」が33.5%で最も高かった。

「相手のことを思いやり、助け合う力」や、「礼儀の大切さを知り、だれにたいしても真心をもって接する力」を身につけさせる取組と併せて、子どもたちの「自分でやろうと決めたことを粘り強くやり遂げる力」を伸ばすことが出来るような取組も必要と考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】①

			よく考えて行動し、過ちは素直に認める	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる	正しいと思うことは、勇気をもって行う	がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する	自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす	礼儀の大切さを知り、だれにたいしても真心をもって接する	相手のことを思いやり、助け合う
	全体	1400	390	260	325	257	230	410	494
地区	河北	427	120	70	85	76	67	137	143
	河南	207	60	40	53	36	37	54	74
	盛南	198	46	40	54	33	32	51	67
	厨川	306	77	49	69	59	51	92	117
	都南	227	81	51	58	46	36	64	85
	玉山	35	6	10	6	7	7	12	8
性別	男	601	186	132	144	120	87	207	201
	女	799	204	128	181	137	143	203	293
年齢	18～19歳	18	6	7	2	0	5	6	2
	20～29歳	127	45	26	37	17	22	31	41
	30～39歳	167	59	29	28	24	33	53	76
	40～49歳	212	58	46	47	37	49	52	84
	50～59歳	208	42	37	54	36	35	59	76
	60～69歳	265	77	43	67	47	47	74	97
	70歳以上	403	103	72	90	96	39	135	118

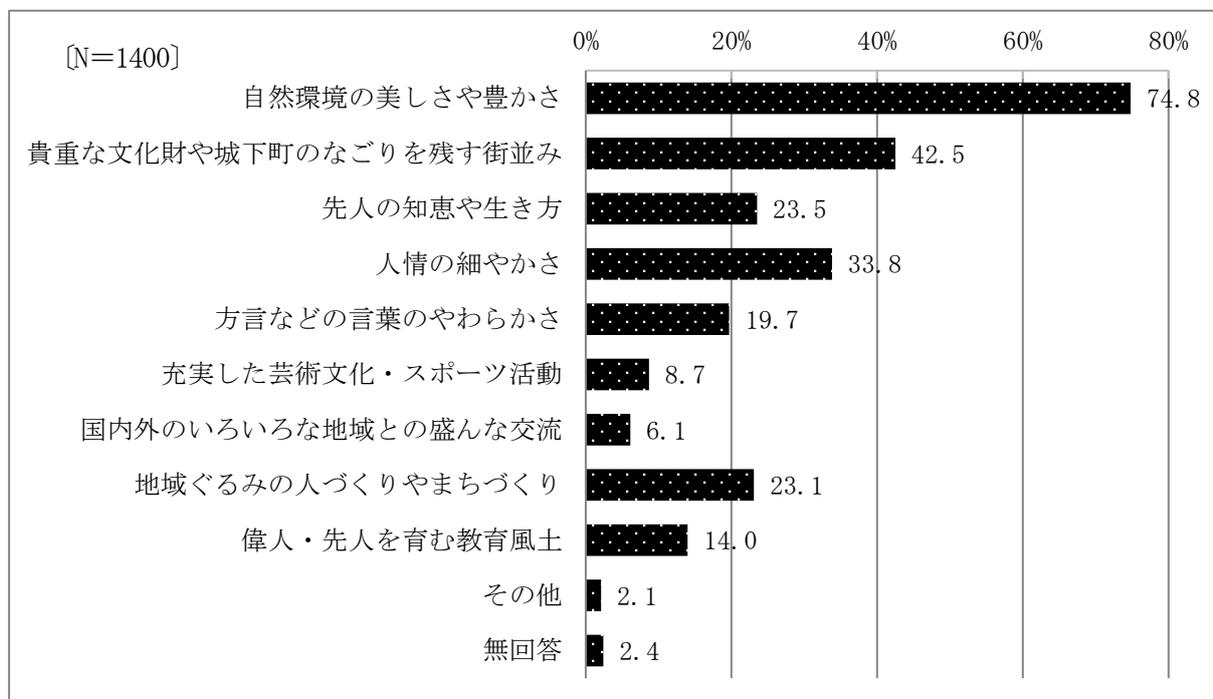
【性別、年代別、地区別の回答数】②

			謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に する	自然の偉大さを知り、自然環境を大切に する	生命がかけがえないものであることを知り、自他の生命を尊重 する	法やきまりを守り、自他の権利を大切に し、進んで義務を果たす	父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立 つことをする	郷土やわが国の文化と伝統を大切に し、先人の努力を知り、郷土や国を愛 する心を持つ	その他	無回答
	全体	1400	330	153	389	133	147	174	30	48
地区	河北	427	108	51	114	45	37	68	11	16
	河南	207	48	26	54	21	23	27	3	6
	盛南	198	41	19	69	15	21	23	5	10
	厨川	306	80	31	81	33	44	36	5	9
	都南	227	47	20	64	14	20	14	5	6
	玉山	35	6	6	7	5	2	6	1	1
性別	男	601	145	49	122	67	62	83	12	14
	女	799	185	104	267	66	85	91	18	34
年齢	18～19歳	18	2	2	3	0	2	3	0	0
	20～29歳	127	27	10	31	13	9	15	5	2
	30～39歳	167	50	22	39	11	7	11	6	2
	40～49歳	212	47	27	64	14	14	31	3	4
	50～59歳	208	52	21	62	23	14	32	7	3
	60～69歳	265	72	24	89	26	34	33	3	5
	70歳以上	403	80	47	101	46	67	49	6	32

**問 24** 子どもに伝えたい「盛岡のよさや誇り」は何ですか。最も当てはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 自然環境の美しさや豊かさ
- 2 貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み
- 3 先人の知恵や生き方
- 4 人情の細やかさ
- 5 方言などの言葉のやわらかさ
- 6 充実した芸術文化・スポーツ活動
- 7 国内外のいろいろな地域との盛んな交流
- 8 地域ぐるみの人づくりやまちづくり
- 9 偉人・先人を育む教育風土
- 10 その他

**【全体】**

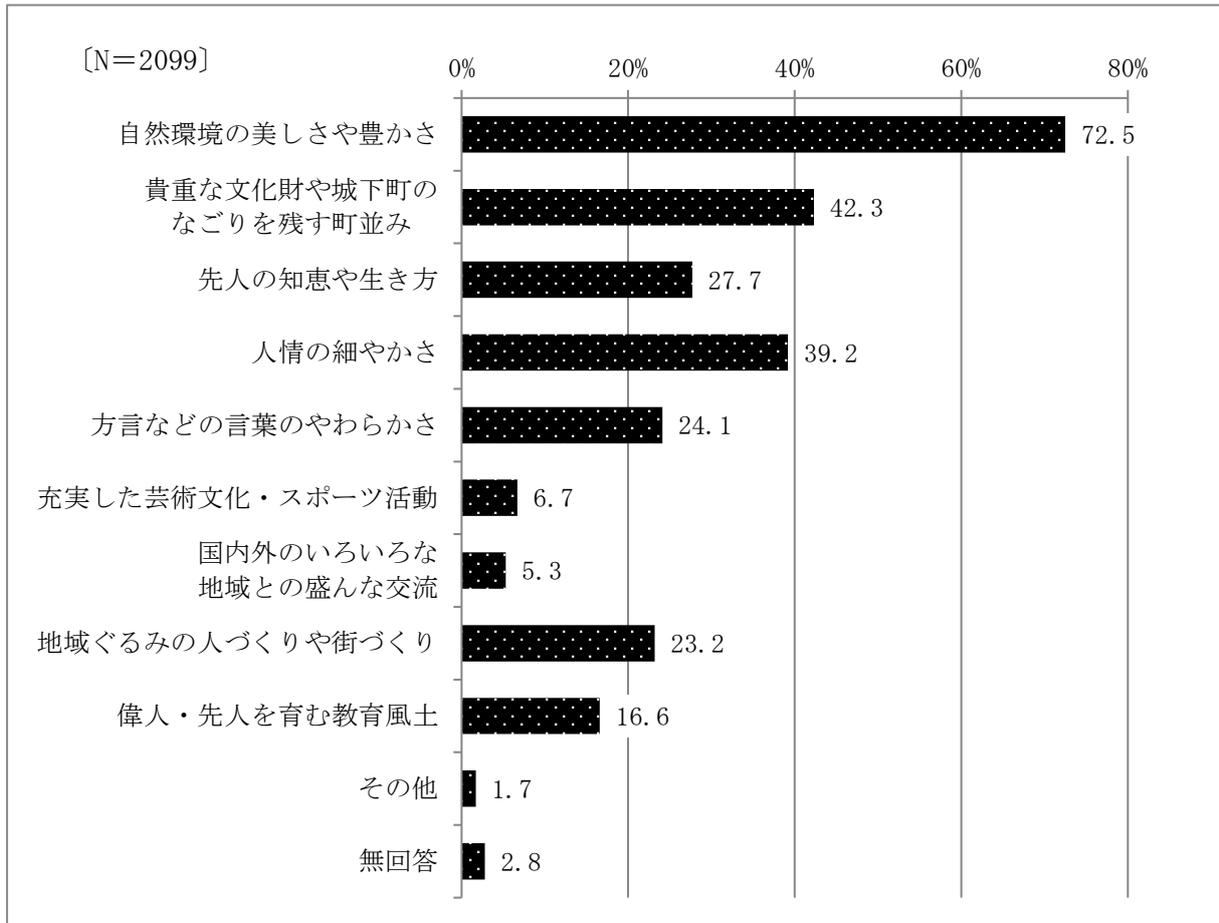


「自然環境の美しさや豊かさ」が74.8%と最も高く、次いで「貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み」が42.5%、「人情の豊かさ」が33.8%であった。

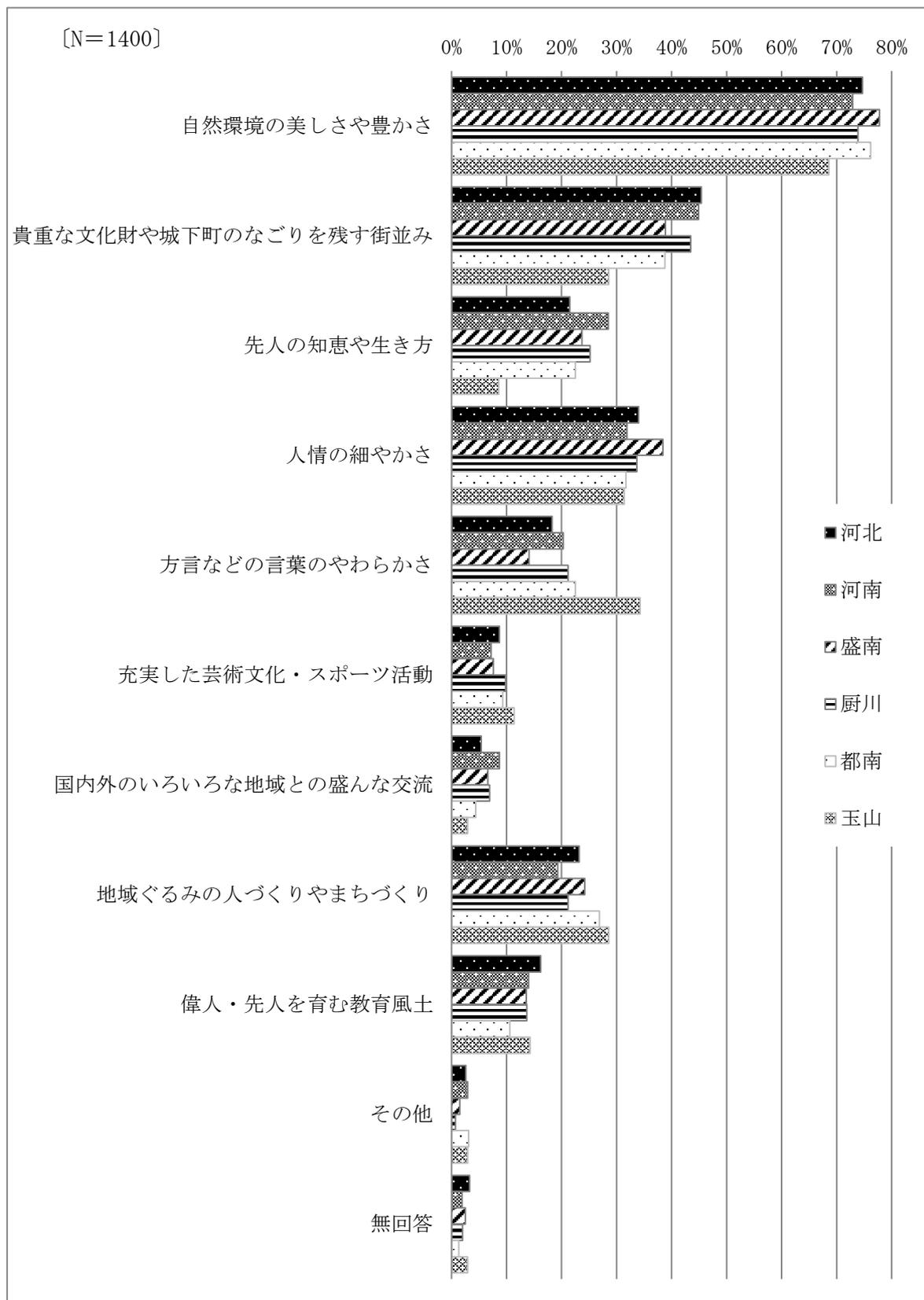
回答者の7割以上が「自然環境の美しさや豊かさ」を伝えたいと感じており、盛岡の自然環境の豊かさを体感できるような環境教育等に、特に重点を置いて取り組む必要があると考えられる。

なお、これは平成25年度の市民意識調査と同様の回答分布であった。

(参考) 平成25年度市民意識調査



【地区別】



「自然環境の美しさや豊かさ」については全ての地域で高い結果となったが、2番目に高い項目は、玉山地区以外では「貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み」、玉山地区では「方言などの言葉のやわらかさ」であり、地区による違いが見られた。

身近な地区の持つよさや魅力を伝える授業により、子どもたちが自分の住む地域に誇りを持てるような取組が求められていると考えられる。

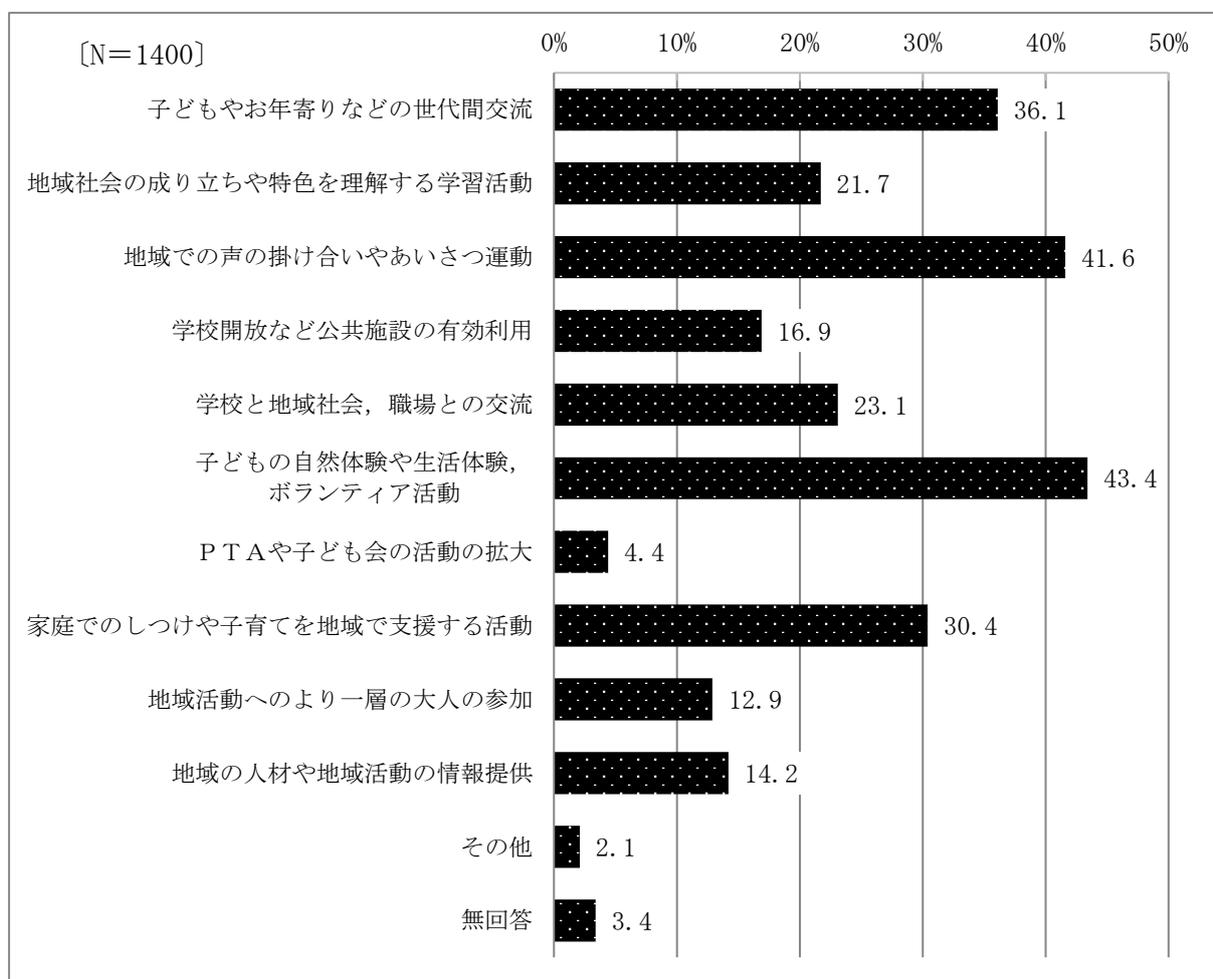
【性別、年代別、地区別の回答数】

			自然環境の美しさや豊かさ	貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み	先人の知恵や生き方	人情の細やかさ	方言などの言葉のやわらかさ	充実した芸術文化・スポーツ活動	国内外のいろいろな地域との盛んな交流	地域ぐるみの人づくりやまちづくり	偉人・先人を育む教育風土	その他	無回答
	全体	1400	1047	595	329	473	276	122	86	323	196	30	33
地区	河北	427	319	194	92	145	78	37	23	99	69	11	14
	河南	207	151	93	59	66	42	15	18	40	29	6	4
	盛南	198	154	77	47	76	28	15	13	48	27	3	5
	厨川	306	226	133	77	103	65	30	21	65	42	2	6
	都南	227	173	88	51	72	51	21	10	61	24	7	3
	玉山	35	24	10	3	11	12	4	1	10	5	1	1
性別	男	601	440	250	140	210	117	57	39	139	87	15	10
	女	799	607	345	189	263	159	65	47	184	109	15	23
年齢	18～19歳	18	14	4	4	3	5	2	2	0	3	0	0
	20～29歳	127	89	58	20	37	18	12	7	36	8	6	3
	30～39歳	167	123	75	27	58	31	18	11	29	10	5	1
	40～49歳	212	177	95	43	62	44	12	7	39	29	4	3
	50～59歳	208	161	94	51	79	41	9	9	32	19	5	3
	60～69歳	265	205	110	74	100	58	22	11	70	45	6	3
	70歳以上	403	278	159	110	134	79	47	39	117	82	4	20

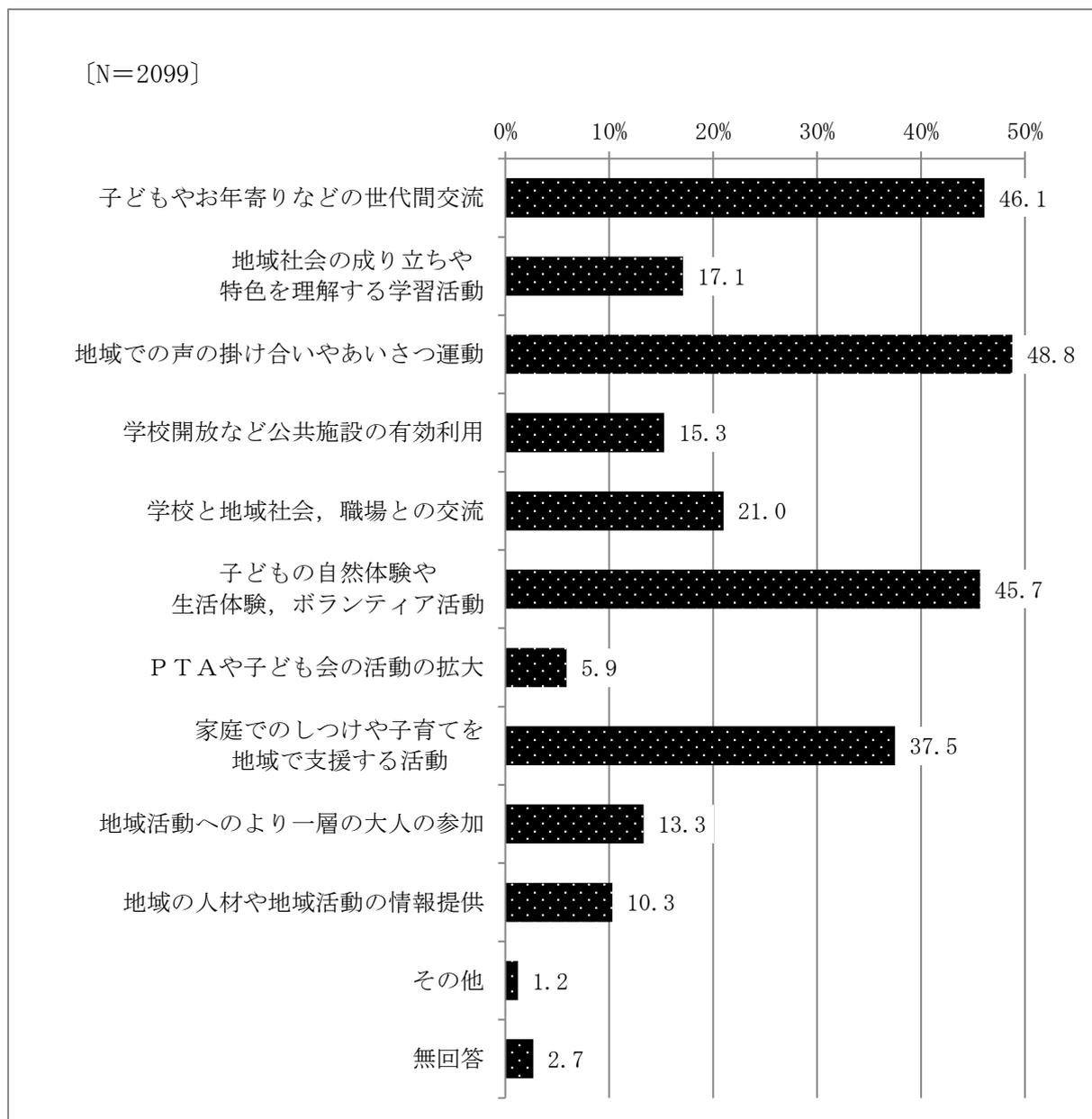
**問 25** 地域と学校との結び付きや、地域での子育て支援などがますます大切になっています。地域の教育力を高めていくため、今後、取組が必要だと思うことは何ですか。最も当てはまるものに3つまで○を付けてください。

- 1 子どもやお年寄りなどの世代間交流
- 2 地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動
- 3 地域での声の掛け合いやあいさつ運動
- 4 学校開放など公共施設の有効利用
- 5 学校と地域社会、職場との交流
- 6 子どもの自然体験や生活体験，ボランティア活動
- 7 PTAや子ども会の活動の拡大
- 8 家庭でのしつけや子育てを地域で支援する活動
- 9 地域活動へのより一層の大人の参加
- 10 地域の人材や地域活動の情報提供
- 11 その他

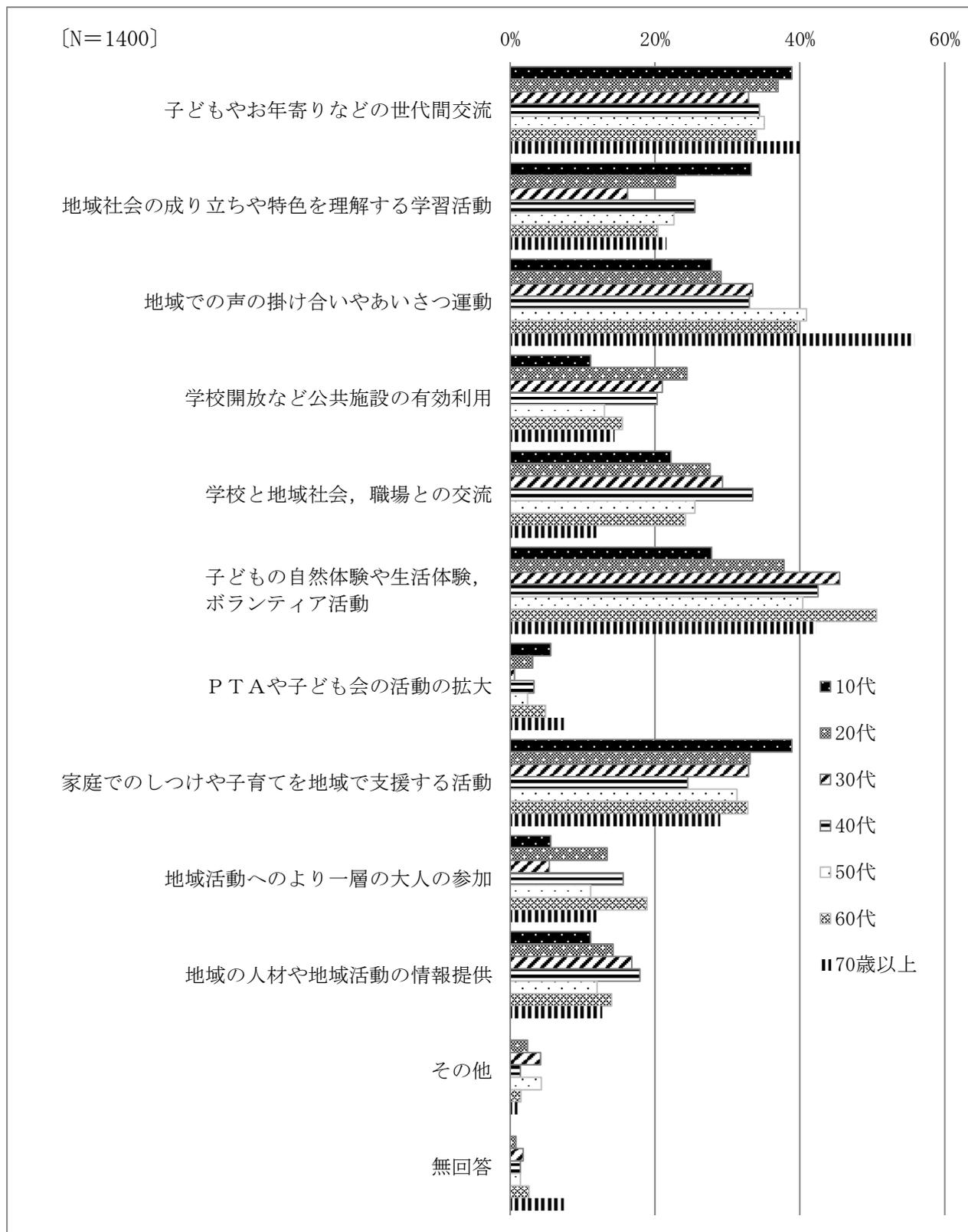
**【全体】**



「子どもの自然体験や生活体験，ボランティア活動」や「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」が必要と捉えられている。今後も、教育振興運動や今後導入予定の学校運営に地域の声を反映させるコミュニティ・スクール等を通じて、体験活動や読書活動を充実させたり、子どもたちに情報メディアとの付き合い方を考えさせたりするなど、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていくよう取り組む。



【年代別】



「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」に関しては、年代が高くなるほど割合が高くなっており、特に70歳以上では55.8%と突出している。一方、「家庭でのしつけや子育てを地域で支援する活動」については、若い世代での回答割合が若干高くなっていた。

世代間で認識の違いの大きい項目があることから、どのような取組が必要とされており、実際地域としてどのような取組ができるのか、さらに検討する必要があると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

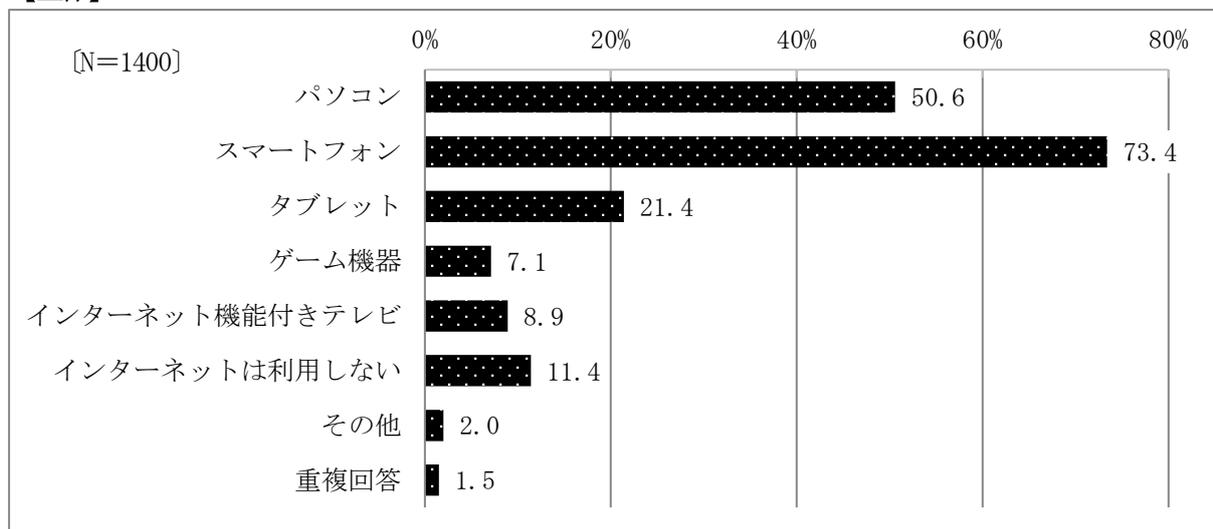
			子どもやお年寄りなどの世代間交流	地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動	地域での声の掛け合いやあいさつ運動	学校開放など公共施設の有効利用	学校と地域社会、職場との交流	子どもの自然体験や生活体験、ボランティア活動	PTAや子ども会の活動の拡大	家庭でのしつけや子育てを地域で支援する活動	地域活動へのより一層の大人の参加	地域の人材や地域活動の情報提供	その他	無回答
	全体	1400	506	304	583	237	324	607	61	425	181	199	30	47
地区	河北	427	151	95	180	77	97	185	18	138	57	66	10	17
	河南	207	75	45	75	32	53	87	8	57	24	38	6	9
	盛南	198	69	39	87	29	39	82	7	63	24	32	6	7
	厨川	306	113	69	124	56	67	138	11	98	39	33	6	8
	都南	227	83	51	100	38	61	99	14	57	32	26	2	5
	玉山	35	15	5	17	5	7	16	3	12	5	4	0	1
性別	男	601	208	149	249	119	172	237	29	168	91	95	16	15
	女	799	298	155	334	118	152	370	32	257	90	104	14	32
年齢	18～19歳	18	7	6	5	2	4	5	1	7	1	2	0	0
	20～29歳	127	47	29	37	31	35	48	4	42	17	18	3	1
	30～39歳	167	55	27	56	35	49	76	1	55	9	28	7	3
	40～49歳	212	73	54	70	43	71	90	7	52	33	38	3	3
	50～59歳	208	73	47	85	27	53	84	5	65	23	25	9	3
	60～69歳	265	90	54	105	41	64	134	13	87	50	37	4	7
	70歳以上	403	161	87	225	58	48	170	30	117	48	51	4	30

《テーマ5 盛岡市役所のデジタル化について》

**問 26** 日常生活でインターネットを利用する時に使う端末について、当てはまるもの全てに○をつけてください

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1 パソコン    | 5 インターネット機能付きテレビ |
| 2 スマートフォン | 6 インターネットは利用しない  |
| 3 タブレット   | 7 その他            |
| 4 ゲーム機器   |                  |

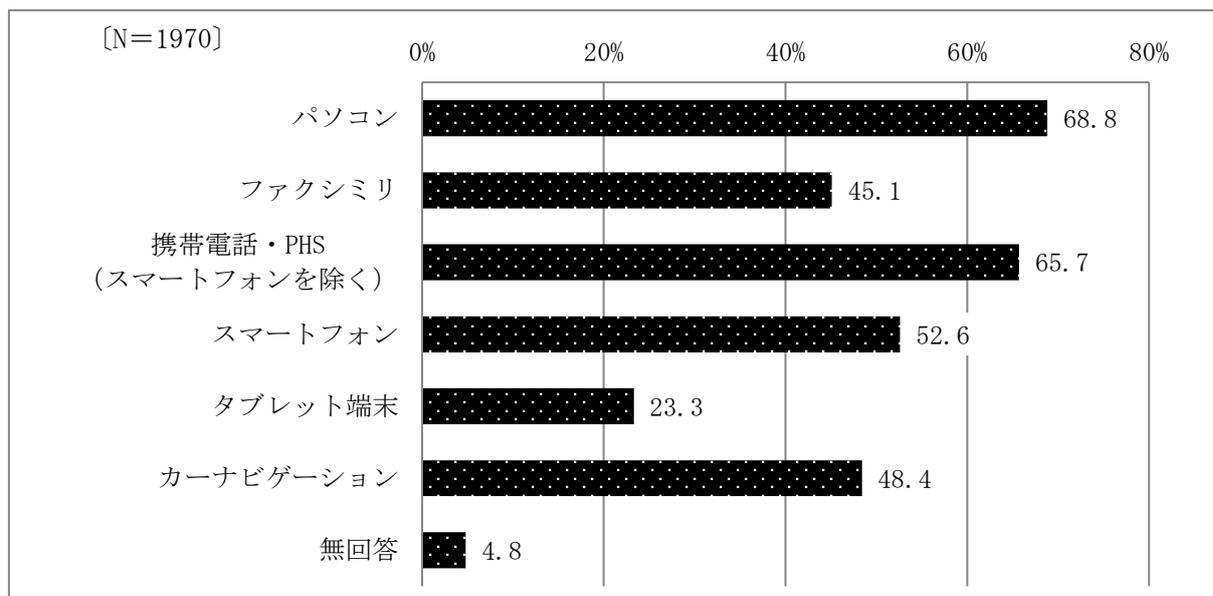
**【全体】**



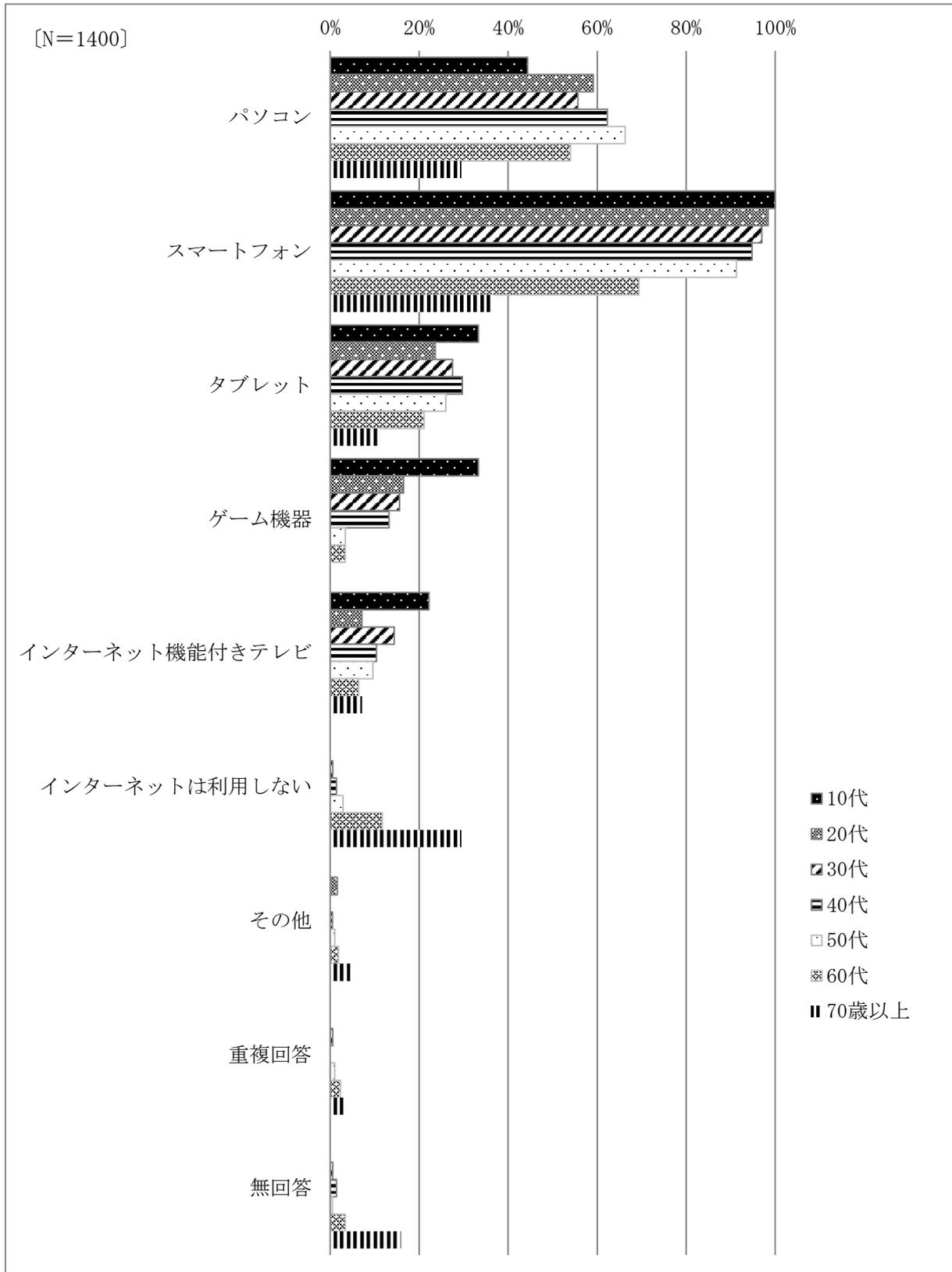
「スマートフォン」が73.4%で最も高く、次に「パソコン」が50.6%、「タブレット」が21.4%と続いた。家庭にある情報通信端末について聞いた平成27年の第21回市民意識調査では、「パソコン」が68.8%と最も高く、「携帯電話・PHS」が45.1%、「スマートフォン」が52.6%だったことから、スマートフォンの普及が拡大していることがうかがえる。

市がインターネットを通じた情報発信や行政手続きのオンライン化を行う際には、スマートフォンでの利用を意識し、より簡便な方法を検討していく必要があると考えられる。

(参考) 平成27年度市民意識調査



【年代別】



「スマートフォン」は10代が100.0%と最も高く、20代が98.4%、以降も60代まで60%を超え、広い年代で使われていることが分かる。インターネットを「パソコン」で使う年代としては50代が66.3%と最も高いが、スマートフォンを使う60代の69.4%よりも低い割合となり、市からの情報発信やサービスの実施は、年代を問わずにスマートフォンが有効であることがうかがえる。

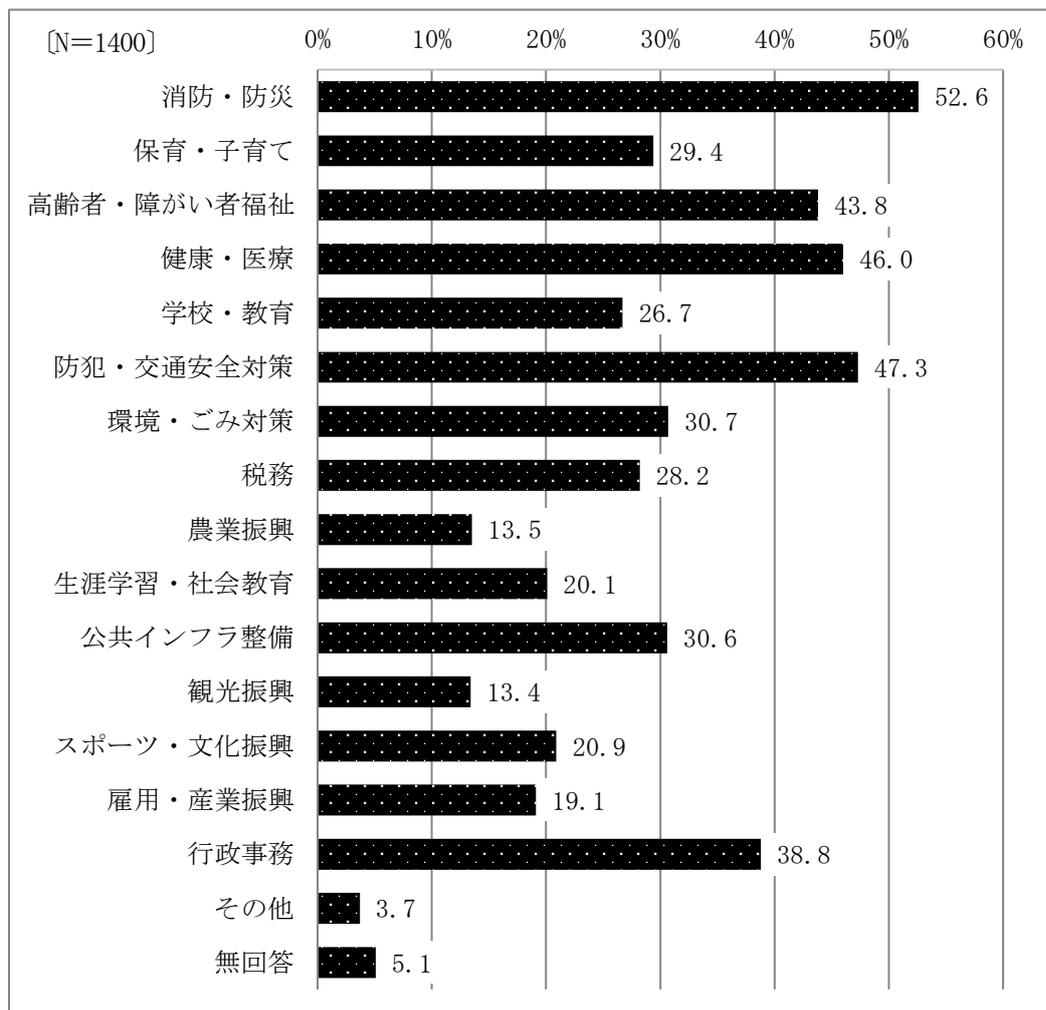
【性別，年代別，地区別の回答数】

			パソコン	スマートフォン	タブレット	ゲーム機器	インターネット機能付きテレビ	インターネットは利用しない	その他	重複回答	無回答
	全体	1400	708	1027	300	99	125	160	28	21	78
地区	河北	427	226	293	90	28	35	53	7	11	24
	河南	207	108	159	48	12	27	17	2	5	12
	盛南	198	94	149	46	14	14	22	6	3	13
	厨川	306	146	225	59	15	23	37	8	1	16
	都南	227	120	178	52	28	25	24	4	1	11
	玉山	35	14	23	5	2	1	7	1	0	2
性別	男	601	365	456	154	52	62	54	9	8	26
	女	799	343	571	146	47	63	106	19	13	52
年齢	18～19歳	18	8	18	6	6	4	0	0	0	0
	20～29歳	127	75	125	30	21	9	0	2	0	0
	30～39歳	167	93	162	46	26	24	1	0	1	1
	40～49歳	212	132	201	63	28	22	3	1	0	3
	50～59歳	208	138	190	54	7	20	6	2	2	1
	60～69歳	265	143	184	56	9	17	31	5	6	9
	70歳以上	403	119	147	45	2	29	119	18	12	64

**問 27** 市の施策として、次のうちどの分野のデジタル化が進むと暮らしやすくなると思いますか。  
 当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 消防・防災関連（例：避難誘導情報のリアルタイム配信等）
- 2 保育・子育て関連（例：子の年齢や妊娠週数に合わせた役立ち情報の配信等）
- 3 高齢者・障がい者福祉関連（例：介護支援ロボットや見守りセンサーの活用等）
- 4 健康・医療関連（例：健康状態のA I 管理やオンライン診療等）
- 5 学校・教育関連（例：オンライン授業、デジタル教科書等）
- 6 防犯・交通安全対策関連（例：防犯カメラの設置等）
- 7 環境・ごみ対策関連（例：省エネやリサイクルにつながる先端技術の導入等）
- 8 税務関連（例：電子申告・電子納税の推進、税務相談の自動化等）
- 9 農業振興関連（例：ドローン活用や温度管理の自動化等）
- 10 生涯学習・社会教育関連（例：インターネット上での学習機会やコミュニティ形成等）
- 11 公共インフラ整備関連（例：路面状況のリアルタイム配信等）
- 12 観光振興関連（例：オンラインツアーやデジタルマップの充実等）
- 13 スポーツ・文化振興関連（例：施設のオンライン予約、芸術文化活動のライブ配信等）
- 14 雇用・産業振興関連（例：企業のリモートワークやI C T化支援等）
- 15 行政事務関連（例：行政手続きのオンライン化等）
- 16 その他

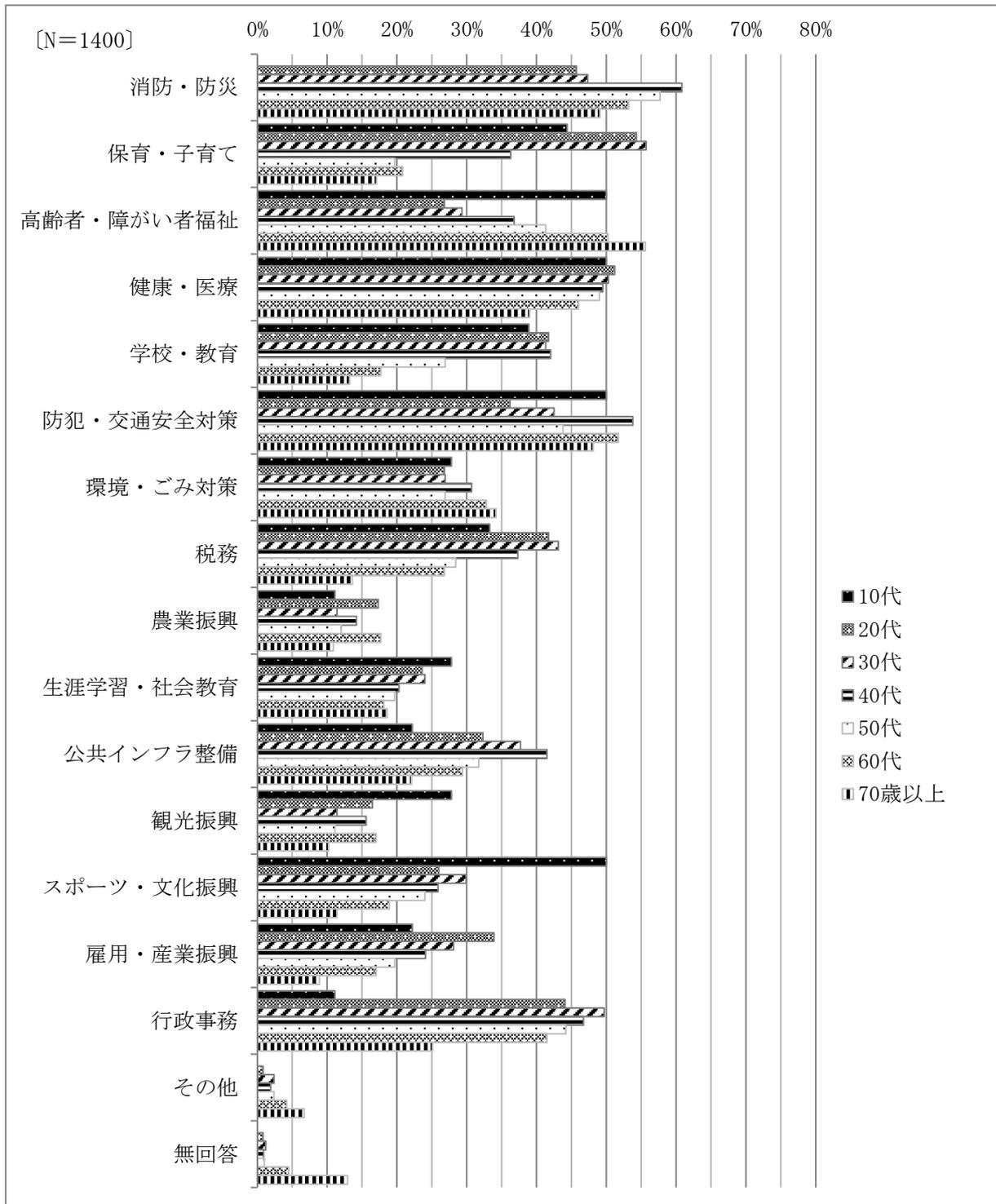
**【全体】**



「消防・防災関連」が52.6%で最も高く、次に「防犯・交通安全対策関連」が47.3%と続き、生活の安心・

安全面でのデジタル化が進むと暮らしやすくなると思っている人が多いことがうかがえる。また、「健康・医療関連」が46.0%、「高齢者・障がい者福祉関連」が43.8%、「行政事務関連」が38.8%と続いた。日常生活を送るために欠かせない分野におけるデジタル化が求められていることがうかがえる。

【年代別】



「高齢者・障がい者福祉関連」のデジタル化を求めるのは70歳以上が55.6%と最も高く、また、「保育・子育て関連」では20代・30代が54.3%、55.7%と高く、各々の世代で密接する分野のデジタル化を選ぶ傾向がみられた。一方で、10代については、「消防・防災関連」や「高齢者・障がい者福祉関連」、「スポーツ・文化振興関連」等で、他の若年層よりも高く、幅広い分野のデジタル化への関心の高さがうかがえた。

【性別、年代別、地区別の回答数】

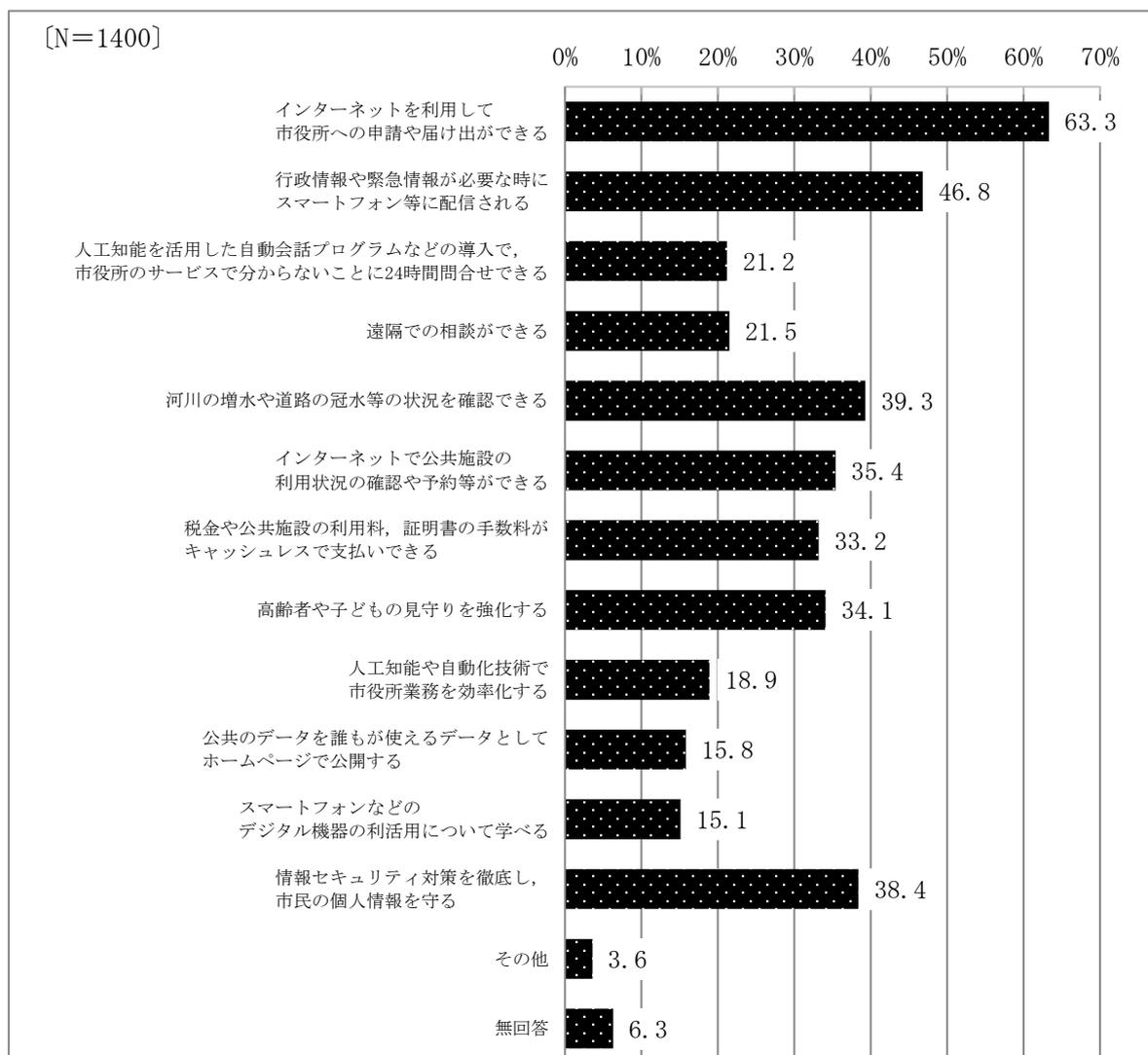
			消防・防災	保育・子育て	高齢者・障がい者福祉	健康・医療	学校・教育	防犯・交通安全対策	環境・ごみ対策	税務	農業振興
	全体	1400	736	412	613	644	374	662	430	395	189
地区	河北	427	226	121	193	207	117	204	147	121	58
	河南	207	117	67	85	94	54	90	64	55	32
	盛南	198	98	61	82	85	51	90	58	64	23
	厨川	306	172	78	143	135	71	145	95	85	35
	都南	227	113	72	98	106	72	116	59	60	37
	玉山	35	10	13	12	17	9	17	7	10	4
性別	男	601	321	172	247	304	179	287	195	201	89
	女	799	415	240	366	340	195	375	235	194	100
年齢	18～19歳	18	11	8	9	9	7	9	5	6	2
	20～29歳	127	58	69	34	65	53	46	34	53	22
	30～39歳	167	79	93	49	84	69	71	45	72	19
	40～49歳	212	129	77	78	105	89	114	65	79	30
	50～59歳	208	120	41	86	102	56	91	56	59	25
	60～69歳	265	141	55	133	122	47	137	87	71	47
	70歳以上	403	198	69	224	157	53	194	138	55	44

			生涯学習・社会教育	公共インフラ整備	観光振興	スポーツ・文化振興	雇用・産業振興	行政事務	その他	無回答
	全体	1400	282	429	187	293	267	543	52	71
地区	河北	427	97	141	57	99	81	181	18	21
	河南	207	42	63	32	52	51	78	10	13
	盛南	198	29	55	26	38	36	74	6	14
	厨川	306	65	106	35	58	46	115	7	16
	都南	227	47	58	33	38	45	82	10	5
	玉山	35	2	6	4	8	8	13	1	2
性別	男	601	130	216	91	147	129	263	24	21
	女	799	152	213	96	146	138	280	28	50
年齢	18～19歳	18	5	4	5	9	4	2	0	0
	20～29歳	127	30	41	21	33	43	56	1	1
	30～39歳	167	40	63	19	50	47	83	4	2
	40～49歳	212	43	88	33	55	51	99	4	2
	50～59歳	208	41	66	23	50	41	92	5	2
	60～69歳	265	48	78	45	50	45	110	11	12
	70歳以上	403	75	89	41	46	36	101	27	52

**問 28** 今後、行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、期待することはどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

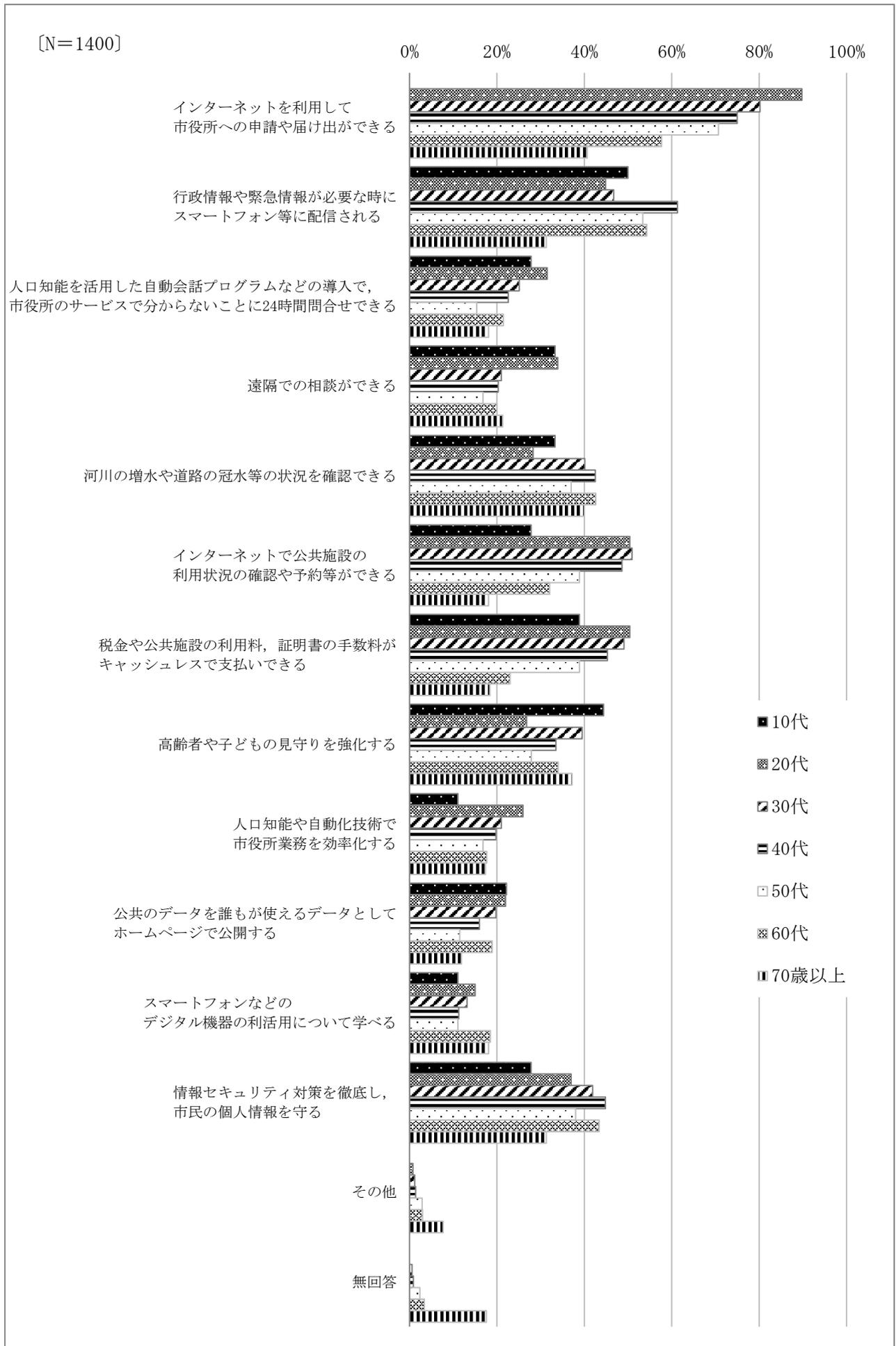
- 1 インターネットを利用して市役所への申請や届け出ができる
- 2 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される
- 3 人工知能を活用した自動会話プログラムなどの導入で、市役所のサービスで分からないことに24時間問い合わせできる
- 4 遠隔での相談ができる
- 5 河川の増水や道路の冠水等の状況を確認できる
- 6 インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる
- 7 税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払うことができる
- 8 高齢者や子どもの見守りを強化する
- 9 人工知能や自動化技術で市役所業務を効率化する
- 10 公共のデータを誰もが使えるデータとしてホームページで公開する
- 11 スマートフォンなどデジタル機器の利活用について学べる
- 12 情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る
- 13 その他

**【全体】**



スマートフォン等の機器の普及により、インターネットを活用した、場所や時間に捉われない行政サービスの提供が求められている。行政手続きのオンライン化や、必要な人への必要な情報の配信などにさらに取り組む必要がある。

【年代別】



【性別、年代別、地区別の回答数】

			インターネットを利用して市役所への申請や届け出ができる	行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	人口知能を活用した自動会話プログラムなどの導入で、市役所のサービスで分からないことに24時間問合せができる	遠隔での相談ができる	河川の増水や道路の冠水等の状況を確認できる	インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払うことができる	高齢者や子どもの見守りを強化する
	全体	1400	886	655	297	301	550	496	465	477
地区	河北	427	269	205	107	101	158	154	141	141
	河南	207	132	96	38	48	84	87	76	74
	盛南	198	128	84	35	31	80	63	66	57
	厨川	306	195	152	63	67	113	106	103	115
	都南	227	140	106	51	45	101	72	71	76
	玉山	35	22	12	3	9	14	14	8	14
性別	男	601	422	278	135	125	235	224	220	195
	女	799	464	377	162	176	315	272	245	282
年齢	18～19歳	18	15	9	5	6	6	5	7	8
	20～29歳	127	114	57	40	43	36	64	64	34
	30～39歳	167	134	78	42	35	67	85	82	66
	40～49歳	212	159	130	48	43	90	103	96	71
	50～59歳	208	147	111	32	35	77	81	81	58
	60～69歳	265	153	144	57	53	113	85	61	90
	70歳以上	403	164	126	73	86	161	73	74	150

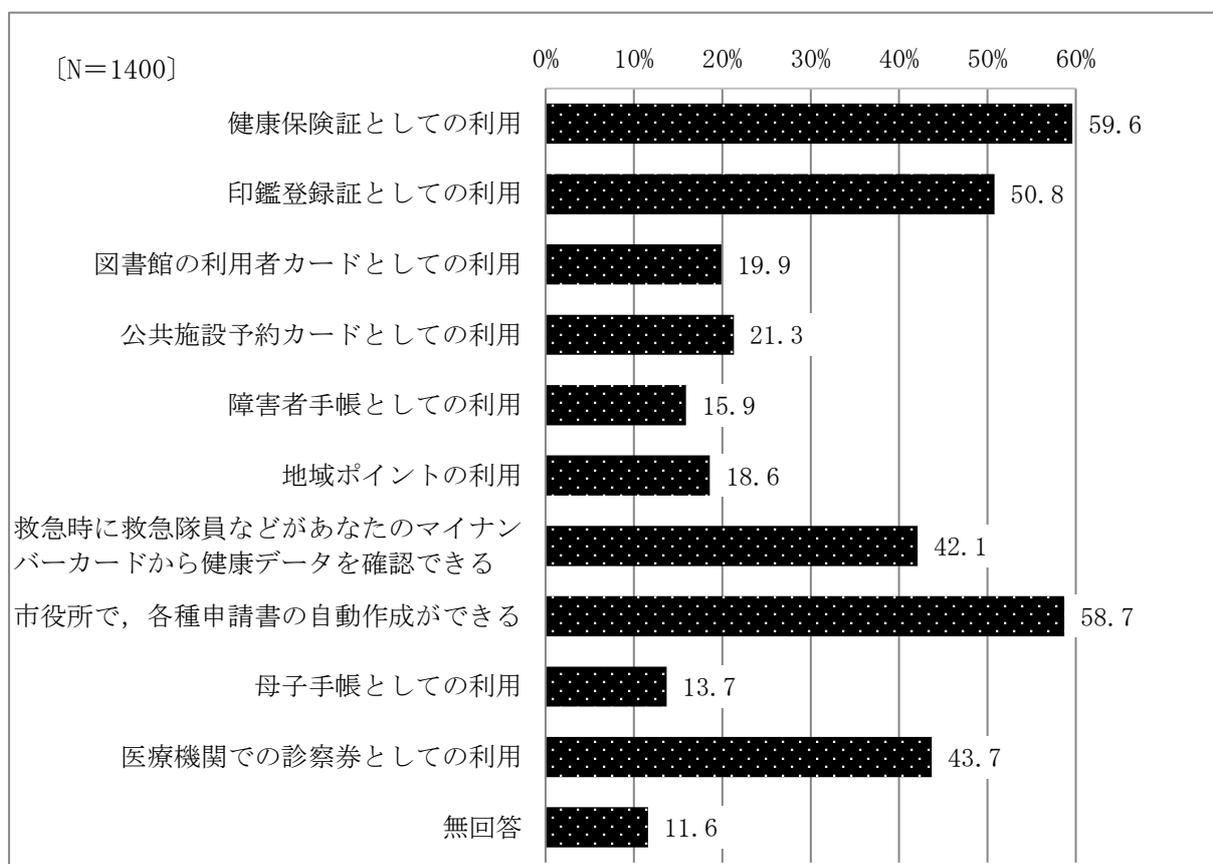
			人口知能や自動化技術で市役所業務を効率化する	公共のデータを誰もが使えるデータとしてホームページで公開する	スマートフォンなどのデジタル機器の活用について学べる	情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る	その他	無回答
	全体	1400	264	221	212	537	51	88
地区	河北	427	92	79	71	180	19	32
	河南	207	46	35	34	84	7	13
	盛南	198	29	23	27	60	8	14
	厨川	306	58	41	35	123	8	18
	都南	227	36	40	41	81	7	10
	玉山	35	3	3	4	9	2	1
性別	男	601	143	126	104	230	22	35
	女	799	121	95	108	307	29	53
年齢	18～19歳	18	2	4	2	5	0	0
	20～29歳	127	33	28	19	47	1	0
	30～39歳	167	35	33	22	70	2	1
	40～49歳	212	42	34	24	95	3	2
	50～59歳	208	35	24	23	79	6	5
	60～69歳	265	47	50	49	115	8	9
	70歳以上	403	70	48	73	126	31	71

**問29** あなたは、マイナンバーカードでできることに何を期待しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 健康保険証としての利用
- 2 印鑑登録証としての利用
- 3 図書館の利用者カードとしての利用
- 4 公共施設予約カードとしての利用
- 5 障害者手帳としての利用
- 6 地域ポイント（※）の利用
- 7 救急時に救急隊員などがあなたのマイナンバーカードから健康データを確認できる
- 8 市役所で、各種申請書の自動作成ができる
- 9 母子手帳としての利用
- 10 医療機関での診察券としての利用

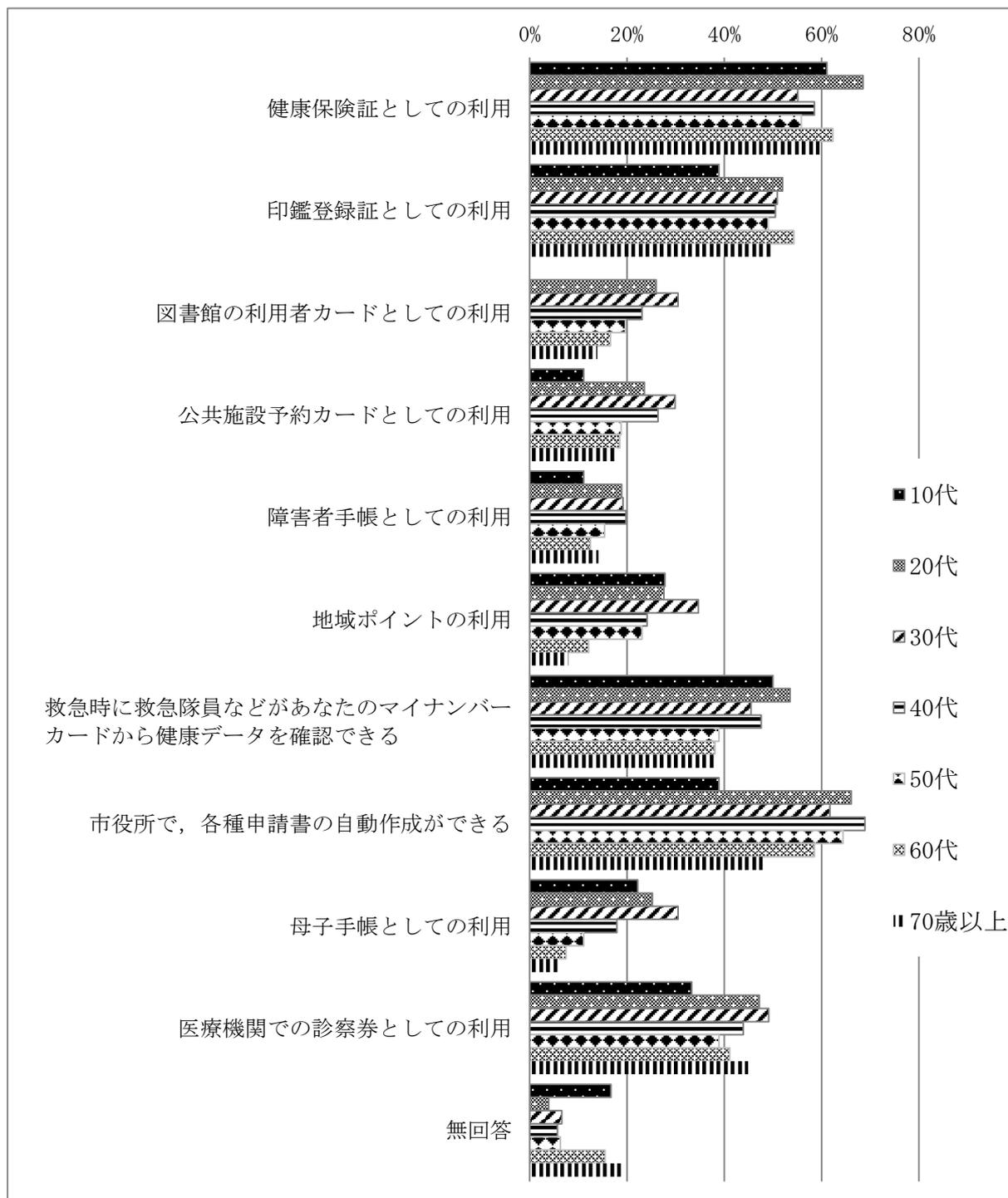
※ ある一定のエリア内で発行され、支払いに利用できるポイントサービスのこと。

**【全体】**



「健康保険証としての利用」が59.6%と最も高く、次に「市役所で各種申請書の自動作成ができる」が58.7%、「印鑑登録証」としての利用が50.8%と続くことから、公的な場面での用途が期待されていると考えられる。

【年代別】



「地域ポイントの利用」について、50代までは20%以上であるのに対し、60代は12.1%、70歳以上は7.9%と、全体を引き下げている。地域ポイントや電子マネー等を施策で活用する場合は、高齢者への配慮が必要と考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

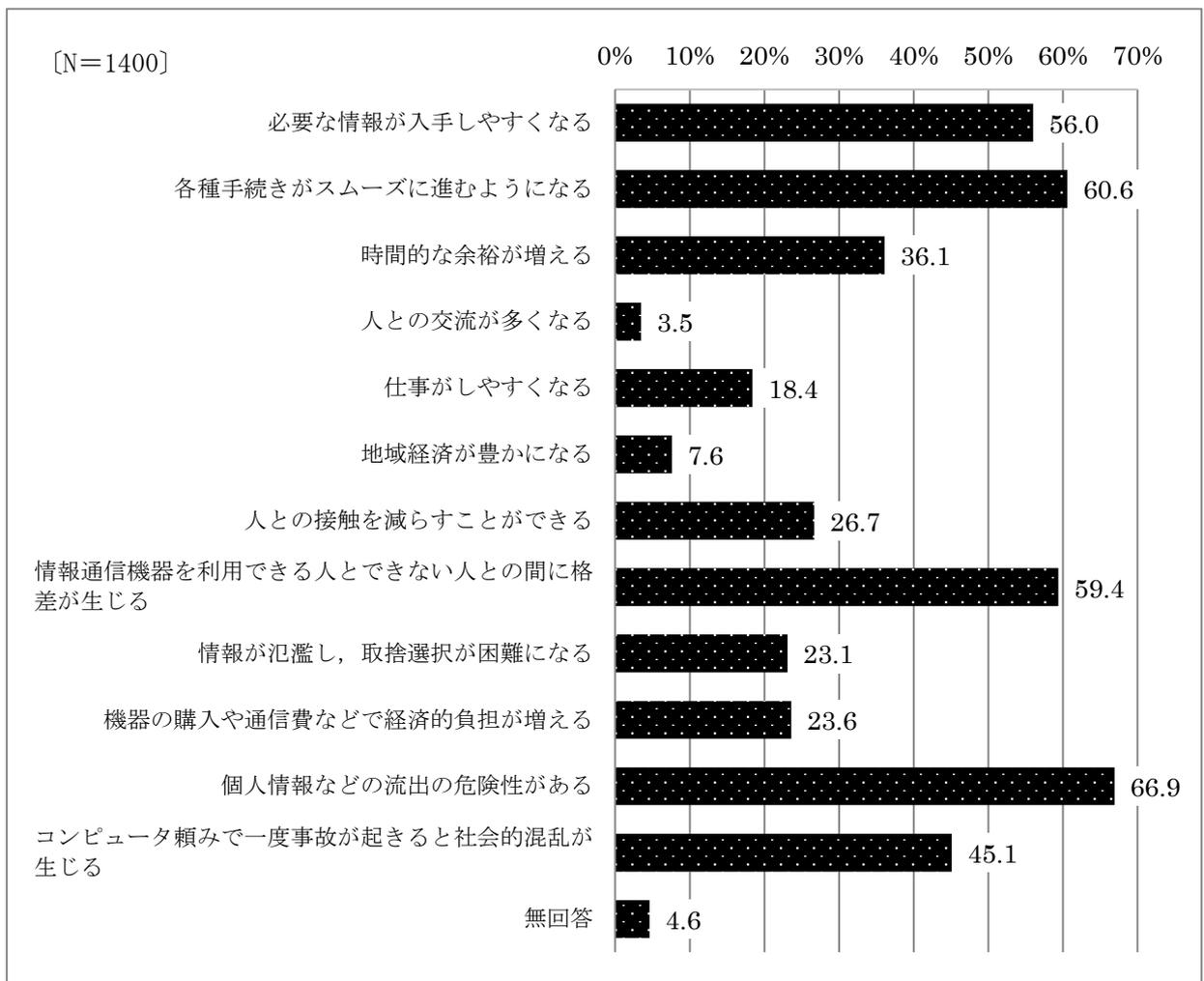
			健康保険証としての利用	印鑑登録証としての利用	図書館の利用者カードとしての利用	公共施設予約カードとしての利用	障害者手帳としての利用	地域ポイントの利用	健康データを確認できる	救急時に救急隊員などがあなたのマイナンバーカードから	市役所で、各種申請書の自動作成ができる
	全体	1400	835	711	278	298	222	261	590	822	
地区	河北	427	247	217	88	92	60	69	171	255	
	河南	207	121	89	44	41	39	46	91	122	
	盛南	198	111	106	32	42	34	32	80	111	
	厨川	306	199	163	62	67	51	58	140	185	
	都南	227	138	123	51	52	37	48	97	131	
	玉山	35	19	13	1	4	1	8	11	18	
性別	男	601	408	342	137	150	127	129	263	368	
	女	799	427	369	141	148	95	132	327	454	
年齢	18～19歳	18	11	7	4	2	2	5	9	7	
	20～29歳	127	87	66	33	30	24	35	68	84	
	30～39歳	167	92	85	51	50	32	58	76	103	
	40～49歳	212	124	107	49	56	42	51	101	146	
	50～59歳	208	116	102	41	39	32	48	81	134	
	60～69歳	265	165	144	44	49	33	32	101	155	
	70歳以上	403	240	200	56	72	57	32	154	193	

			母子手帳としての利用	医療機関での診察券としての利用	無回答
	全体	1400	192	612	163
地区	河北	427	57	182	53
	河南	207	33	91	30
	盛南	198	26	82	29
	厨川	306	42	150	29
	都南	227	28	96	18
	玉山	35	6	11	4
性別	男	601	99	298	57
	女	799	93	314	106
年齢	18～19歳	18	4	6	3
	20～29歳	127	32	60	5
	30～39歳	167	51	82	11
	40～49歳	212	38	93	12
	50～59歳	208	23	81	13
	60～69歳	265	20	109	41
	70歳以上	403	24	181	78

**問30** あなたは、デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

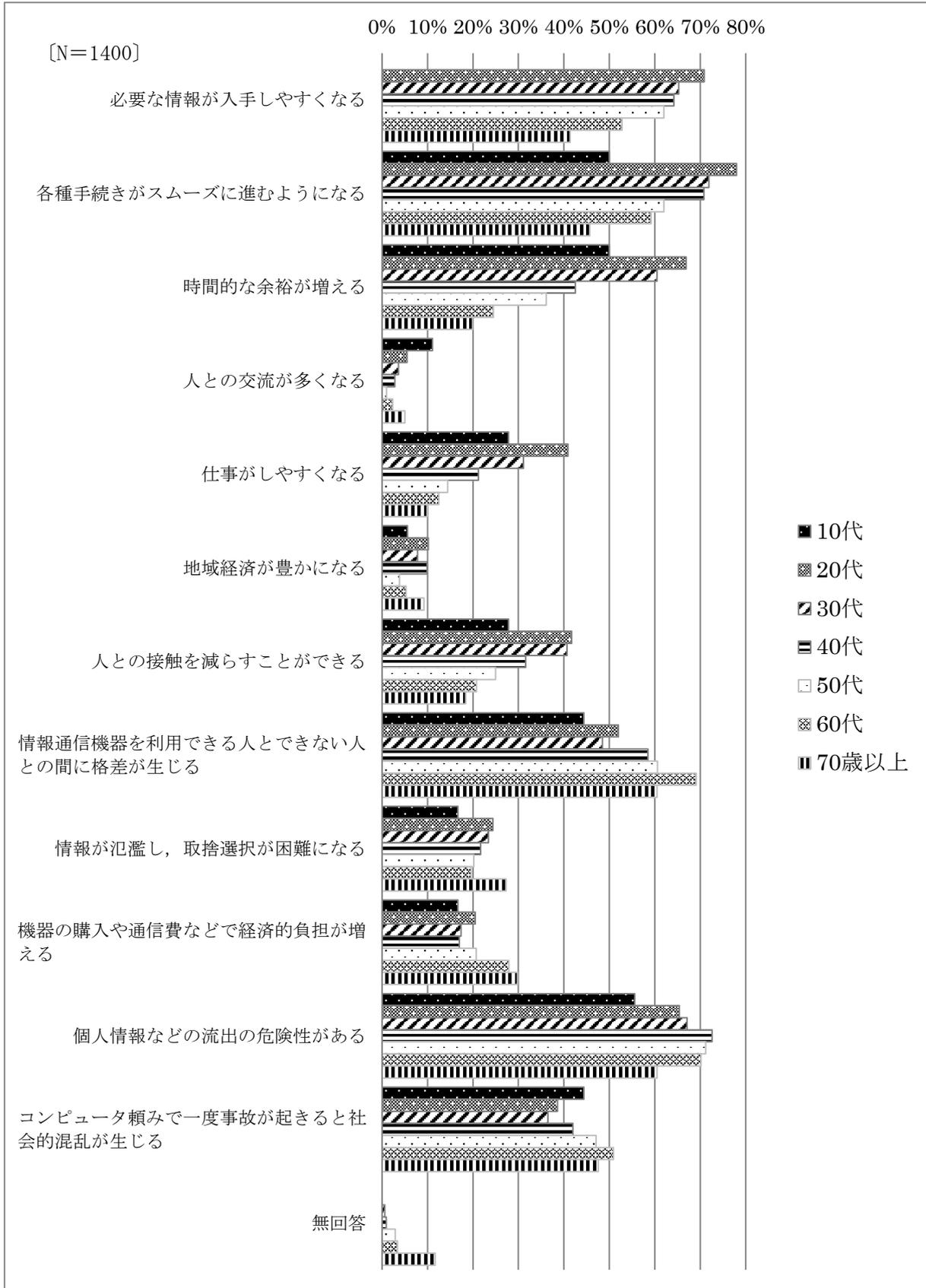
- 1 必要な情報が入手しやすくなる
- 2 各種手続きがスムーズに進むようになる
- 3 時間的な余裕が増える
- 4 人との交流が多くなる
- 5 仕事がしやすくなる
- 6 地域経済が豊かになる
- 7 人との接触を減らすことができる
- 8 情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる
- 9 情報が氾濫し、取捨選択が困難になる
- 10 機器の購入や通信費などで経済的負担が増える
- 11 個人情報などの流出の危険性がある
- 12 コンピュータ頼みで一度事故が起きると社会的混乱が生じる

**【全体】**



50%を超えた項目が4つあり、デジタル化の進展への期待と不安が入り混じる結果となった。デジタル化を進めるに当たっては、個人情報保護や情報格差の是正に力を入れ、市民の皆さんが安心して利用できる環境の整備に取り組む。

【年代別】



「時間的な余裕が増える」といった、デジタル化に前向きな回答項目については若年層の割合が高く、逆に、デジタル化に消極的な項目では高齢層の割合が大きくなることから、デジタル化を進める上では、対象となる年齢層に応じた働き掛けが必要であると考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

			必要な情報が入手しやすくなる	各種手続きがスムーズに進むようになる	時間的な余裕が増える	人との交流が多くなる	仕事やしやすくなる	地域経済が豊かになる	人との接触を減らすことができる	情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる
	全体	1400	784	848	505	49	257	107	374	832
地区	河北	427	239	266	158	21	75	40	120	256
	河南	207	116	120	71	8	42	17	53	129
	盛南	198	105	117	64	2	37	7	53	112
	厨川	306	181	187	118	7	56	21	80	181
	都南	227	129	137	88	10	41	20	57	135
	玉山	35	14	21	6	1	6	2	11	19
性別	男	601	381	379	233	30	143	63	164	348
	女	799	403	469	272	19	114	44	210	484
年齢	18～19歳	18	13	9	9	2	5	1	5	8
	20～29歳	127	90	99	85	7	52	13	53	66
	30～39歳	167	109	120	101	6	52	13	68	81
	40～49歳	212	136	150	90	6	45	21	67	124
	50～59歳	208	129	129	75	2	30	8	52	126
	60～69歳	265	140	157	65	6	33	14	55	183
	70歳以上	403	167	184	80	20	40	37	74	244

			情報が氾濫し、取捨選択が困難になる	機器の購入や通信費などで経済的負担が増える	個人情報などの流出の危険性がある	コンピュータ頼みで一度事故が起きると社会的混乱が生じる	無回答
	全体	1400	323	331	937	632	65
地区	河北	427	104	98	293	190	22
	河南	207	51	47	133	102	11
	盛南	198	33	38	135	82	10
	厨川	306	79	80	201	150	15
	都南	227	49	59	156	94	5
	玉山	35	7	9	19	14	2
性別	男	601	129	153	377	267	23
	女	799	194	178	560	365	42
年齢	18～19歳	18	3	3	10	8	0
	20～29歳	127	31	26	83	49	0
	30～39歳	167	39	29	112	61	1
	40～49歳	212	46	36	154	89	2
	50～59歳	208	42	43	148	98	6
	60～69歳	265	52	74	186	135	9
	70歳以上	403	110	120	244	192	47

令和3年度市民アンケート調査結果報告書  
令和4年2月発行

〈発行・編集〉

盛岡市市長公室広聴広報課  
〒020-8530 盛岡市内丸12番2号  
電話 (019) 626-7517 (直通)

〈調査結果の考察担当〉

- ・交流推進部スポーツ推進課
- ・保健所健康増進課
- ・建設部交通政策課
- ・教育委員会事務局総務課
- ・総務部情報企画課

この報告書は再生紙を使用しています。